

ダウンロード
Minja

ユーザーズマニュアル

目次

1. はじめに	8
1.1 マニュアルの表記について	8
1.1.1 マウス操作の表記	8
1.1.2 キーの表記	8
1.1.3 マニュアルの画面例	8
1.1.4 メニューの表記	9
1.1.5 ツールボタンの表記	9
1.1.6 その他の表現	9
2. ダウンロード Ninja のアンインストール	10
3. ダウンロード Ninja の機能	11
3.1 動画の検索、ダウンロード、変換について	11
3.1.1 動画を検索してダウンロードする	11
3.1.2 動画を自動取り込みでダウンロードする	12
3.1.3 コメント付動画をコメント付で保存し、再生させる	13
3.1.4 取り込んだ動画を変換する	14
3.2 ダウンロード中 / 後に表示されるダイアログ	16
3.2.1 ダウンロード中のダイアログについて	16
3.2.1.1 「ダウンロード中！」ダイアログを小さくする	17
3.2.1.2 「ダウンロード中！」ダイアログが長時間消えないとき	17
3.2.1.3 分割ダウンロードとダウンロードの中止	18
3.2.2 「ダウンロード結果表示」ダイアログ	18
3.3 Ninja プロキシについて	19
3.3.1 Ninja プロキシの動作	19
3.3.2 Ninja プロキシの設定方法	20
3.3.2.1 「組み込み」タブ	20
3.3.2.2 「アドレス」タブ	21
3.3.2.3 「キャッシュ」タブ	22
3.4 ディスクなどからの取り込み	23
3.4.1 エクスプローラを使った取り込み	23
3.4.2 他のアプリケーションとのドラッグ・アンド・ドロップ	24
3.5 ダウンロードに関する注意	25
3.5.1 取込めないページやデータ	25
3.5.2 途中で失敗したデータの再取り込み	26
3.5.3 未保存ファイル	26
3.6 部品について	27
3.6.1 部品と解釈させるために	29

3.7 データベースファイル	30
3.7.1 ファイルを保存する.....	30
3.8 取り込んだデータの分類	32
3.8.1 ブックを使った分類.....	32
3.8.1.1 子ブックの作成.....	32
3.8.1.2 ブック間のファイルの移動.....	33
3.8.1.3 ブックの名前の変更.....	33
3.8.1.4 ブックの削除.....	34
3.8.1.5 ブック「すべて」について.....	34
3.8.2 コメントを使った分類.....	34
3.9 Ninja バー	36
3.9.1 リンクの一覧.....	37
4. ダウンロード Ninja コマンドリファレンス	39
4.1 ファイル (F) メニュー	39
4.1.1 新規作成 (N).....	39
4.1.2 開く (O).....	39
4.1.3 閉じる (C).....	39
4.1.4 上書き保存 (S).....	39
4.1.5 名前を付けて保存 (A).....	40
4.1.6 パスワード (W).....	41
4.1.7 CD-R/RW へバックアップ (R).....	41
4.1.8 印刷 (P).....	42
4.1.8.1 アイコンウィンドウの一覧画面を印刷する.....	42
4.1.8.2 画像を印刷する.....	42
4.1.9 印刷プレビュー (V).....	43
4.1.9.1 アイコンウィンドウの一覧をプレビューする.....	43
4.1.9.2 画像ウィンドウをプレビューする.....	44
4.1.10 最近開いたファイル.....	45
4.1.11 アプリケーションの終了 (X).....	45
4.2 編集 (E) メニュー	46
4.2.1 元に戻す (U).....	46
4.2.2 やり直し (R).....	46
4.2.3 切り取り (T).....	46
4.2.4 コピー (C).....	46
4.2.5 貼り付け (P).....	46
4.2.6 すべて選択 (A).....	46
4.2.7 選択の反転 (V).....	46
4.2.8 検索 (F).....	46
4.2.8.1 次を検索、前を検索.....	46
4.2.8.2 絞り込み検索.....	47
4.2.8.3 絞り込み検索 (Web 表示).....	47
4.2.8.4 検索条件の設定.....	47
4.2.8.4.1 文字列 (S).....	47

4.2.8.4.2 日付 (D).....	48
4.2.8.4.3 サイズ (Z).....	48
4.2.8.4.4 マーク (M).....	48
4.2.8.4.5 特別 (X).....	48
4.2.8.4.6 その他の設定項目.....	49
4.2.9 結果の反転 (I).....	49
4.2.10 並べ替え (S).....	49
4.2.11 削除 (D).....	49
4.2.12 ブック (B).....	50
4.2.12.1 ブック作成 (O).....	50
4.2.12.2 子ブック作成 (I).....	50
4.2.12.3 ブック削除 (B).....	50
4.2.13 コメント編集 (M).....	50
4.3 表示 (V) メニュー.....	51
4.3.1 ツールバー (T).....	51
4.3.1.1 標準バー (1).....	51
4.3.1.2 ダウンロードバー (2).....	51
4.3.2 ステータスバー (U).....	51
4.3.3 表示バー (V).....	51
4.3.4 ダウンロードコントローラ (R).....	51
4.3.5 カードウィンドウ (C) / アイコンウィンドウ (I) / レポートウィンドウ (W).....	51
4.3.6 ブックツリー表示 (B) / リンクツリー表示 (L) / 日付けツリー表示 (D).....	51
4.3.7 アイコンウィンドウ表示形式 (S).....	51
4.3.8 サムネイル変更 (X).....	53
4.3.9 部品を表示する (P).....	55
4.3.10 レポートウィンドウの表示項目編集 (H).....	55
4.3.11 情報ウィンドウ (F).....	55
4.3.12 ダウンロードログ (G).....	56
4.3.12.1 ログウィンドウから実行できる機能.....	57
4.3.13 前回のダウンロードの結果 (E).....	57
4.4 ダウンロード (D) メニュー.....	58
4.4.1 ダウンロードウィザード (W).....	58
4.4.1.1 第1 ページ.....	58
4.4.1.2 第2 ページ.....	59
4.4.1.3 第3 ページ.....	61
4.4.1.4 第4 ページ.....	62
4.4.1.5 第5 ページ.....	63
4.4.1.6 第6 ページ.....	63
4.4.1.7 第7 ページ.....	64
4.4.1.8 第8 ページ.....	64
4.4.1.9 第9 ページ.....	65
4.4.2 「ダウンロードの設定」ダイアログ.....	66
4.4.2.1 「概要」タブ.....	66
4.4.2.2 「場所」タブ.....	68
4.4.2.3 「制限」タブ.....	70

4.4.2.4 「データ」 タブ.....	71
4.4.2.5 「方法」 タブ.....	72
4.4.2.6 「先頭」 タブ.....	73
4.4.2.7 「ダウンロード先」 タブ.....	74
4.4.2.8 「予約」 タブ.....	75
4.4.2.9 「認証」 タブ.....	76
4.4.3 ブラウザが表示中のページをダウンロード (B).....	77
4.4.4 選択中ページとリンク先をダウンロード (L).....	77
4.4.5 ユーザー定義の編集 (E).....	77
4.4.5.1 ユーザー定義の設定.....	78
4.4.6 動画を検索してダウンロード (Q).....	79
4.4.7 再実行 (V).....	79
4.4.8 ダウンロードの一時停止 (P).....	80
4.4.9 自動ダウンロード (A).....	80
4.4.10 ブラウザのコピーに同期 (Y).....	80
4.4.11 連番ダウンロード.....	81
4.4.12 連続ダウンロード.....	82
4.4.13 ランダムサーフ.....	84
4.4.14 サーチエンジンを使って検索.....	85
4.4.15 サーチエンジン結果からダウンロード (S).....	89
4.4.16 キャッシュからファイルを取込.....	90
4.4.16.1 一覧から選択について.....	91
4.5 ツール (T) メニュー.....	94
4.5.1 ムービーレコーダ (V).....	94
4.5.1.1 ムービーレコーダの設定.....	94
4.5.1.1.1 「一般」 タブ.....	95
4.5.1.1.2 「ビデオ入力の設定」 タブ.....	95
4.5.1.1.3 「オーディオ入力の設定」 タブ.....	96
4.5.1.1.4 「出力の設定」 タブ.....	96
4.5.1.1.5 「クイックタイマー」 タブ.....	98
4.5.2 稲妻サーチ (I).....	98
4.5.2.1 Web 上の検索エンジンから.....	99
4.5.2.2 取り込んだブックから.....	101
4.5.2.3 キャッシュから.....	102
4.5.2.4 ダウンロードしながら.....	102
4.5.2.5 検索コントローラ.....	103
4.5.2.5.1 表示設定.....	104
4.5.2.5.2 内容で絞込.....	104
4.5.2.5.3 URL で絞込.....	105
4.5.2.5.4 検索内容の並べ替え.....	105
4.5.3 動画を変換 (X).....	106
4.5.4 動画の展開 (P).....	107
4.5.4.1 展開作業について.....	108
4.5.4.2 サムネイルだけ展開したデータについて.....	109
4.5.5 mpeg ファイルの結合 (C).....	110
4.5.6 スクリーンキャプチャ (M).....	110

4.5.7 連結して表示 (A)	111
4.5.8 連結してテキストで表示 (T)	111
4.5.9 Web アーカイブを作成 (W)	111
4.5.10 Web アーカイブを展開 (E)	112
4.5.11 お気に入りのチェック (J)	112
4.5.12 お気に入りの整理 (K)	113
4.5.12.1 お気に入りの削除 (D)	113
4.5.12.2 お気に入りの移動	113
4.5.12.3 リンク先の変更 (C)	114
4.5.13 ブラウザの履歴の一覧 (H)	114
4.6 機能 (O) メニュー	115
4.6.1 表示 (V)	115
4.6.2 アプリケーションで開く (O)	115
4.6.3 URL に接続 (U)	115
4.6.4 ブラウザの起動 (B)	115
4.6.5 最新の情報に更新 (F)	115
4.6.6 ファイルを取込 (G)	116
4.6.7 ファイルを移動 (M)	116
4.6.8 ファイルを集める (C)	116
4.6.9 登録されていないファイルを検出 (K)	117
4.6.10 ショートカットに変換 (S)	118
4.6.11 ダウンロードされていないリンクをショートカット化 (L)	118
4.6.12 ダイアルアップ接続 (I)	120
4.6.13 ダウンロード予約 (D)	120
4.6.13.1 タイマー予約 (T)	120
4.6.13.2 予約ウィザード (W)	120
4.6.13.3 リスト編集 (E)	120
4.6.13.3 予約実行 (X)	121
4.6.14 壁紙に設定 (W)	121
4.6.14.1 中央に表示 (C)	121
4.6.14.2 並べて表示 (T)	121
4.6.14.3 引き伸ばして表示 (E)	121
4.6.15 スライドショー開始 (N)	121
4.6.16 ブラウザで前を表示 (R) / ブラウザで次を表示 (E)	122
4.7 設定 (C) メニュー	123
4.7.1 ブラウザ選択 (W)	123
4.7.2 スライドショー設定 (S)	123
4.7.3 自動ダウンロード設定 (A)	124
4.7.4 クイックサーバ設定 (H)	124
4.7.4.1 「アクセス」タブ	126
4.7.4.2 「表」タブ	128
4.7.4.3 「内容」タブ	128
4.7.4.4 「色」タブ	129
4.7.5 フィルタの設定 (F)	129

4.7.6	スクリーンキャプチャの設定 (P)	131
4.7.7	ツールバーのカスタマイズ (T) / 標準バー (1) / ダウンロードバー (2)	131
4.7.8	キー割り当て (K)	132
4.7.9	画面の配色 (C)	133
4.7.10	一般設定 (R)	134
4.7.10.1	「一般」タブ	134
4.7.10.2	「表示」タブ	135
4.7.10.3	「ファイル」タブ	136
4.7.10.4	「接続」タブ	137
4.7.10.5	「認証」タブ	138
4.7.10.6	「オプション 1」タブ	139
4.7.10.7	「オプション 2」タブ	141
4.8	ウィンドウ (W) メニュー	143
4.8.1	もう 1 つウィンドウを開く (N)	143
4.8.2	重ねて表示 (C)	143
4.8.3	上下に並べて表示 (T)	143
4.8.4	左右に並べて表示 (V)	144
4.8.5	現在開いているウィンドウ	144
4.9	ヘルプ (H) メニュー	145
4.9.1	バージョン情報 (A)	145
4.9.2	使用許諾 (C)	145
4.9.3	イーフロントィアホームページへ (I)	145
4.9.4	ダウンロード Ninja オンラインユーザー登録 (U)	145
5.	ヒント	146
5.1	機能的なご注意と使用時のヒント	146

1. はじめに

「ダウンロードNinja」をお買い求めいただきましてありがとうございます。

1.1 マニュアルの表記について

本マニュアルでは各種の機能やキー操作の説明に、次のような用語、略号、記号を使用します。なお、本マニュアルの画面は解説の便宜上、実際のものとは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

1.1.1 マウス操作の表記

マウスの操作について、以下のように表記しています。

■クリック

マウスのボタンを押して、すぐに離す動作を指します。
通常は左ボタンを押します。右ボタンを押す場合は、右クリックと表記します。

■ダブルクリック

マウスの左ボタンをすばやく 2 回クリックする動作を指します。

■ドラッグ・アンド・ドロップ

動かしたい物の上でマウスボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離す動作を指します。この操作を略して「ドロップ」と表記する場合があります。

■ショートカットメニュー

マウスの右ボタンをクリックすると表示されるメニューを指します。

1.1.2 キーの表記

プラス記号 (+) は、キー操作の組み合わせを表します。
例えば、「Alt + C」は、「Alt」キーを押しながら、「C」のキーを押すことを表します。
矢印キー（「↑」「↓」「←」「→」）は、それぞれキーボードの矢印キーを表します。

1.1.3 マニュアルの画面例

本マニュアルでの解説画面は、Windows XP を使用しています。
その他のバージョンの Windows で本商品をお使いの場合、Windows の細部のデザインに違いがある場合があります。
特に配慮が必要な場合を除き、本マニュアルではこれらの差異については記述しません。

1.1.4 メニューの表記

本マニュアルでは、煩雑さを避けるため、コマンド選択手順を以下のように記述することがあります。

ショートカットメニュー：<アプリケーションの登録 (A) >

これは、マウスの右ボタンをクリックすると表示されるショートカットメニューから<アプリケーションの登録 (A) >を選ぶ、という操作を示します。

1.1.5 ツールボタンの表記

本マニュアルでは、ツールバーのボタンを以下のように記述することがあります。

ツールバー：[環境] ボタン

これはツールバーの [環境] ボタンをクリックする、という操作を示しています。

1.1.6 その他の表現

本マニュアルでは、次のような表現を用いています。

■インターネットからのデータ取り込み

インターネットからデータをダウンロードすることを、ダウンロード Ninja では「取り込み」と呼びます。

■デフォルト

ダウンロードNinjaの設定のうち、出荷時に設定されているものを「デフォルト」と呼びます。

2. ダウンロード Ninja のアンインストール

ダウンロード Ninja のアンインストールは、通常の Windows アプリケーションと同様、「コントロールパネル」にある「プログラムの追加と削除」から行ないます。

アンインストールする前に、ダウンロード Ninja と Web ブラウザを終了させておいてください。
なお、ダウンロード Ninja をアンインストールしても、収集したデータは削除しません。

1. Windows の<スタート>メニューから「コントロールパネル」を開きます。
2. 「プログラムの追加と削除」を実行します。
「プログラムの追加と削除」ダイアログが表示されます。
3. リストから「ダウンロードNinja」を選び、<変更と削除>を選択します。
「アプリケーションの削除」ダイアログが表示されます。
4. 本当に削除する場合は、<削除>を選択します。
5. アンインストールが開始されます。
アンインストールが完了すると、メッセージが表示されます。
6. <完了>を選択して、アンインストールを完了します。

3. ダウンロード Ninja の機能

ここではスタートマニュアルで触れることができなかった、様々な機能について解説します。

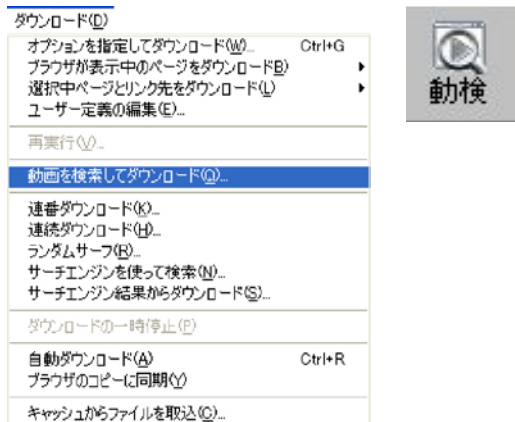
3.1 動画の検索、ダウンロード、変換について

ダウンロード Ninja では、動画のダウンロード保存が可能です。また保存した動画を iPod や iPhone、PSP 用への変換を行うこともできます。

3.1.1 動画を検索してダウンロードする

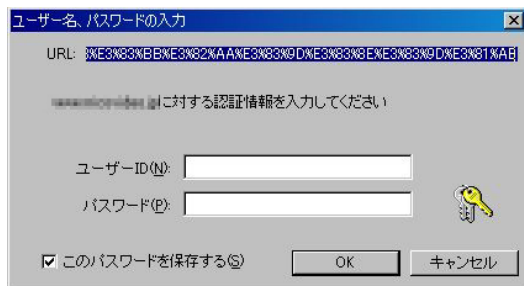
ダウンロード Ninja では、様々な動画サイトから、動画をキーワード検索をし、キーワードを含む動画を自動的に取り込んでいきます。

1. ダウンロード Ninja の <ダウンロード (D) >メニューから <動画を検索してダウンロード (Q) >を選ぶか、または、ツールバーの <動画検索ダウンロードボタン>を押します。

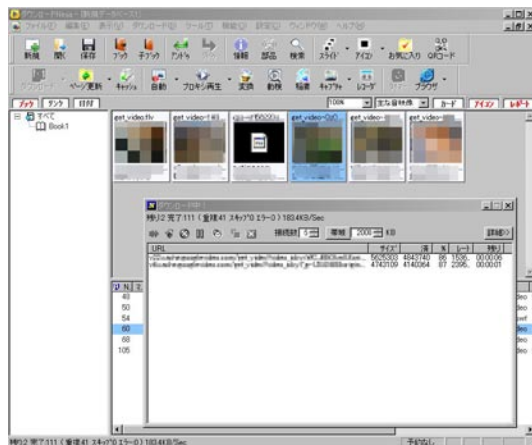


2. 検索したいキーワードを入力し、動画サイトにチェックを入れて OK を押します。ダウンロード Ninja に、キーワードを含む動画が自動的に取り込まれていきます。

※動画サイトによっては、ログインするための ID とパスワードを要求されることがあります。



3. 取り込まれた動画は「主な音映像」で絞り込んで表示させることができます。また、動画の拡張子、.flv や .mp4、.wmv など判断することができます。



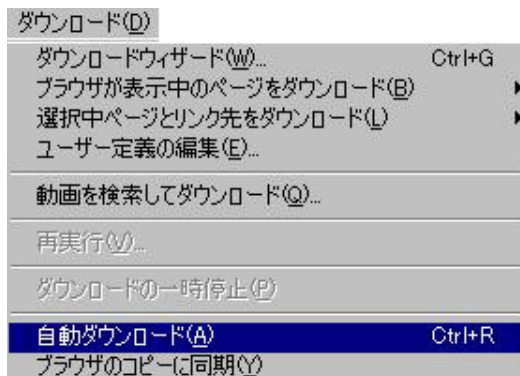
4. 取り込まれた動画が flv 動画であれば、動画をダブルクリックして再生することができます。wmv 動画は Windows Media Player がインストールされていれば、再生することができます。

5. ツールバーの「保存」ボタンをクリックして、取り込んだデータを保存します。通常は<マイドキュメント>→< dNinja >の中の任意のフォルダの中に保存されます。

3.1.2 動画を自動取り込みでダウンロードする

「動画検索ダウンロード」機能で対応していない動画サイトからのダウンロードは、自動ダウンロード機能を使って取り込むことができます。

1. ダウンロード Ninja の<ダウンロード (D) >メニューから<自動ダウンロード (A) >を選ぶか、または、ツールバーの<自動ダウンロードボタン>を押します。自動ダウンロードボタンが押されると、表示させるウェブサイトの全てが自動的にダウンロードされます。



2. ブラウザを起動させて、見たい動画サイトの動画を再生させます。

※表示させたウェブサイトは全て自動的に取り込まれています。

3. 再生させた動画は、他の部品（表示させたウェブサイトで掲載されている画像データや html データなど）と一緒に自動的に取り込まれます。取り込まれたら、自動ダウンロードをオフにします。

4. 取り込まれた動画は表示バーの「主な音映像」で絞り込んで表示させることができます。また、動画の拡張子、「.flv」や「.mp4」、「.wmv」、「.mpg」などで判断することができます。

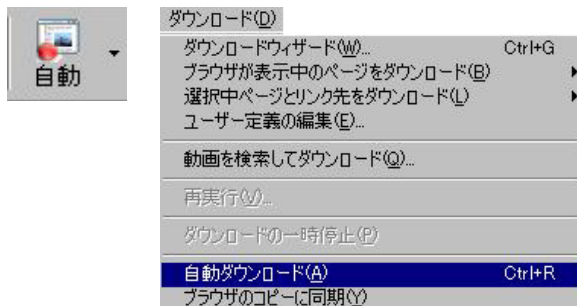
5. 取り込まれた動画が flv 動画であれば、動画をダブルクリックして再生することができます。wmv 動画は Windows Media Player がインストールされていれば、再生することができます。

6. ツールバーの「保存」ボタンをクリックして、取り込んだデータを保存します。通常は<マイドキュメント>→<dNinja >の中の任意のフォルダの中に保存されます。

3.1.3 コメント付動画をコメント付で保存し、再生させる

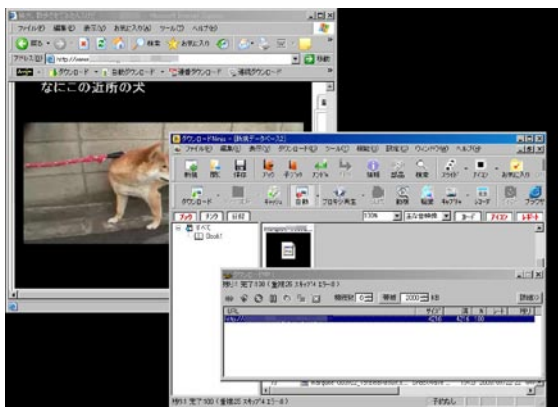
コメント付動画サイトの動画は、動画が表示されるウェブサイト全体を取り込んで、再表示することで再生されます。

1. ダウンロード Ninja の<ダウンロード (D) >メニューから<自動ダウンロード (A) >を選ぶか、または、ツールバーの<自動ダウンロードボタン>を押します。自動ダウンロードボタンが押されると、表示させるウェブサイトの全てが自動的にダウンロードされます。取り込まれたら、自動ダウンロードをオフにします。



2. ブラウザを起動させて、コメント付動画サイトの動画を再生させます。

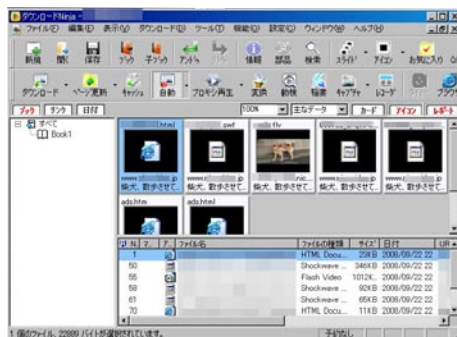
※表示させたウェブサイトは全て自動的に取り込まれています。



3 再生させた動画は、他の部品(表示させたウェブサイトで掲載されている画像データやhtml データなど)と一緒に自動的に取り込まれます。

4. 取り込まれた動画は表示バーの「主な音映像」で絞り込んで表示させることができます。また、動画の拡張子、「.flv」や「.mp4」、「.wmv」、「.mpg」などで判断することができます。

5. 動画をコメント付で再生させるには、表示バーの「主なデータ」を表示させ、「.html」の拡張子のアイコンをダブルクリックします。ブラウザが立ち上がり、コメント付で動画が再生されます。



※コメントなしで動画のみを再生させる場合は、取り込まれた動画が flv 動画であれば、動画をダブルクリックして再生することができます。wmv 動画は Windows Media Player がインストールされていれば、再生することができます。

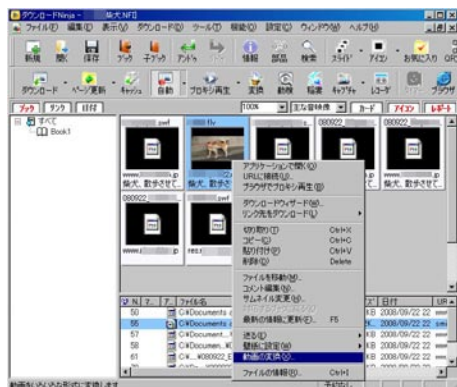
6. ツールバーの「保存」ボタンをクリックして、取り込んだデータを保存します。通常は<マイドキュメント>→<dNinja >の中の任意のフォルダの中に保存されます。

3.1.4 取り込んだ動画を変換する

取り込んだ flv 動画を変換します。iPod、iPhone、PSP の再生用に変換することができます。変換できる動画は flv 動画のみです。他のファイル形式には対応していません。

1. 取り込んだ動画をアイコンウィンドウに表示させます。

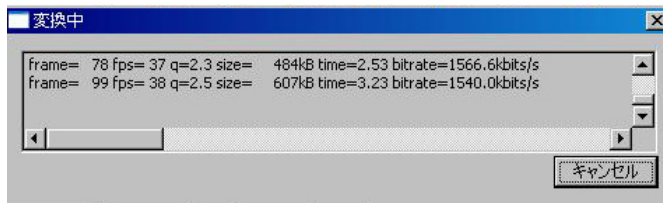
2.flv の動画アイコンを選択します。選択した flv 動画のアイコンを右クリックするか、<ツール (T) >メニューから<動画の変換 (X) >を選びます。





3. 動画変換メニューから、変換したい形式を選び、開始ボタンをクリックします。

4. 変換が終了すると、以下のようなメッセージが表示されます。選択した変換形式の動画ファイルがアイコンウィンドウに追加されます。



※ iPod、iPhone、PSP 用の変換は mp4 形式に変換されます。

5. ツールバーの「保存」ボタンをクリックして、取り込んだデータを保存します。通常は<マイドキュメント>→<dNinja >の中の任意のフォルダの中に保存されます。

3.2 ダウンロード中 / 後に表示されるダイアログ

ダウンロード Ninja では、ファイルのダウンロード中とダウンロード後にダイアログを表示します。

3.2.1 ダウンロード中のダイアログについて

ダウンロード Ninja がダウンロードを始めると、次のような「ダウンロード中！」ダイアログが表示されます。

スキップ
取り込み先に指定された URL に何もデータがないとき、取込先のサーバが混み合っとなかなか取り込みが行えないときなど、取り込みをスキップするときを選びます

中止
取り込み作業をやめる場合を選びます

ログ表示
取り込むデータに関する詳細な情報を得ることができるログウィンドウを表示します

終了後切断
ダイヤルアップで接続しているとき、ダウンロードが終了すると回線の接続を切ります

再試行
一度スキップしたデータの取り込みを再度試みる場合を選びます

一時中止
ダウンロードの一時停止を行ないます。「ブラウザで表示しながら取り込む」オプションを使っているときは、ブラウザ表示の一時停止になります。「ブラウザで表示しながら取り込む」オプションを使っていないときは、ダウンロードの一時停止になります

切断時再接続
ダイヤルアップ接続でダウンロードを実行中、回線が切れたら再接続し、ダウンロードを継続します

アプリケーションの終了
このボタンをオンにしておくと、ダウンロードが終了するとダウンロード Ninja が終了します

URL	サイズ	済	%	レート	残り
http://www.ifour.co.jp/ninja/	15931	13914	87		
http://www.ifour.co.jp/ninja/lcn/index.htm		0			
http://www.ifour.co.jp/style/list.css		0			
www.ifour.co.jp/ninja/mwn/mg/rit_top.gif		0			
www.ifour.co.jp/ninja/mwn/mg/rit_mid.gif		0			

■接続数

同時にダウンロードを行なう数を設定します。

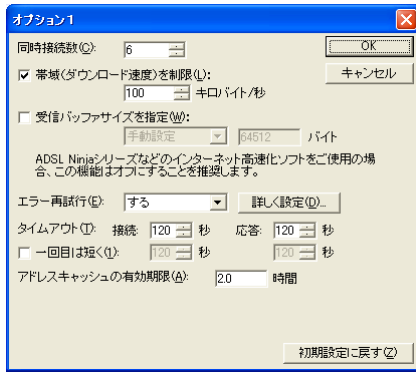
■帯域

ダウンロードに使用する帯域を設定します。

■詳細

ダウンロードに関する詳細設定を行ないます。

設定できる項目については「4.7.10.6「オプション 1」タブ」を参照してください。



■URL

取り込み中のデータの URL を示します。

■サイズ

取り込み中のデータのファイルサイズを示します。

■済

取り込みが終了したファイルサイズを示します。

■%

取り込んだファイルの比率を示します。

■レート

ファイルの転送速度を示します。

■残り

取り込みにかかる残り時間を示します。

3.2.1.1 「ダウンロード中！」ダイアログを小さくする

「ダウンロード中！」ダイアログの[最小化]ボタンを選ぶと、次の図のようにタスクバーに格納されます。元に戻したいときは、タスクバーの「1148/1215 !」のようなダウンロード数をクリックします。



取り込みが終了すると、表示が自動的に消えます。

3.2.1.2 「ダウンロード中！」ダイアログが長時間消えないとき

インターネットにダイヤルアップ接続していて回線が遅い場合や、取り込むファイルが非常に大きなファイルの場合には、ダウンロード Ninja の「ダウンロード中！」ダイアログが長時間消えない場合があります。

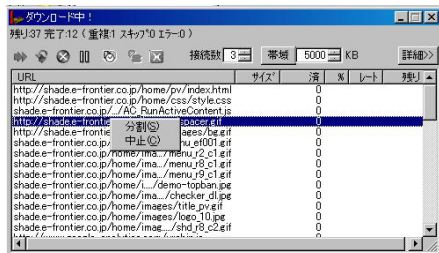
Web ブラウザを経由してダウンロードしている場合は、Web ブラウザの方で、経過を表示していますので、

その表示を参照して本当に取り込みに時間がかかっているような場合には取り込みが終了するまでお待ちください。

ときどき、取り込み対象のURLが存在しないなどの理由で、取り込みが不可能な状態になることがあります。その様な場合には、Web ブラウザ側でエラーメッセージが表示されています。メッセージの< OK >を選択して Web ブラウザの取り込みを中断し、その後で、ダウンロードNinjaの「ダウンロード中!」ダイアログの[スキップ]を選択して次のURLに進むか、[再試行]を選択して取り込みを再試行してください。

3.2.1.3 分割ダウンロードとダウンロードの中止

ダウンロード中のデータを右クリックするとショートカットメニューが表示され、分割ダウンロードまたは、そのデータのダウンロード中止を実行することができます。



■分割 (S)

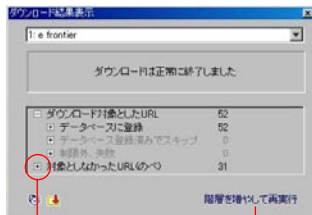
効率よくダウンロードを行うために、ファイルを分割してダウンロードを行います。サイズの大きいファイルをダウンロードする場合に効果的です。サーバへかける負荷が高くなるので、ご利用の際はご注意ください。※サーバにより、分割ダウンロードができないウェブサイトもありますのでご注意ください。

■中止 (C)

選択しているデータのダウンロードを中止します。

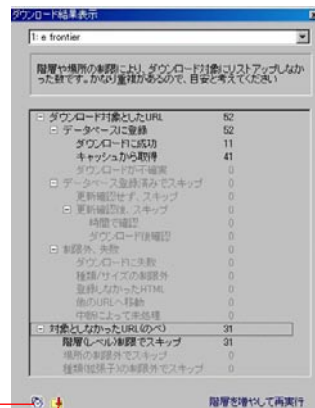
3.2.2 「ダウンロード結果表示」ダイアログ

取込が終わると、「ダウンロード結果表示」ダイアログが表示され、取込んだ URL、ファイルなどの状況がわかります。



状況によってコマンドが変わります

「+」をクリックすると、右の図のようにさらに細かい情報が表示されます



ダウンロードログのウィンドウを表示します

ダウンロードを再実行します

3.3 Ninja プロキシについて

インターネットから送られてきたデータを、高速化などのために一時的に溜めておく仕組みのことを「プロキシ（サーバ）」と呼びます。

ダウンロード Ninja では、JavaScript などのスクリプトを使用したり（Web ブラウザを使った取り込み方法では）フレームを使ったホームページを取り込みできるよう独自のプロキシ機能を用意しています。これを「Ninja プロキシ」と呼びます。

Ninja プロキシが起動しているときは、タスクトレイに次のアイコンが表示されています。



Ninja プロキシのアイコン

Ninja プロキシは、必要に応じて自動制御するよう設計されていますので、初心者の方は以下の解説をお読みになる必要はありません。

3.3.1 Ninja プロキシの動作

ダウンロード Ninja を使用するとき、インターネットからダウンロードする経路は以下のように変更されます。取り込みの手段によって、現実にはもっと複雑な経路をたどります。ここでは説明のために簡略化しています。

■ダウンロード Ninja を使用していないとき

[Web ブラウザ] → インターネット

■ダウンロード Ninja を使用しているとき

[ダウンロード Ninja] → [Web ブラウザ] → [Ninja プロキシ] → インターネット

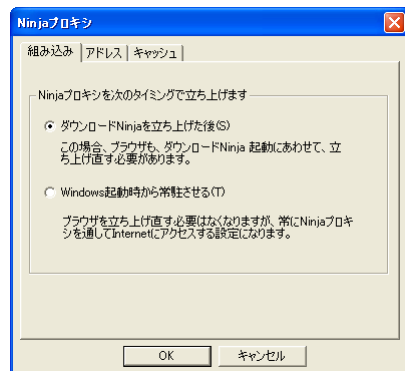
上記の図からわかるように、ダウンロード Ninja を使用するとき、Web ブラウザのデータ参照先を Ninja プロキシに変更する必要があります。ダウンロード Ninja はこの操作を自動的に行いません。

3.3.2 Ninja プロキシの設定方法

Ninja プロキシは、以下の方法でダイアログを呼び出し、設定を変更することができます。

<設定 (C) > - <自動ダウンロード設定 (P) > - [Ninja プロキシの設定 (O)] ボタンを選ぶ
Ninja プロキシアイコンのショートカットメニュー - <プロパティ (P) >

3.3.2.1 「組み込み」タブ



いつ、Ninja プロキシを起動するかを設定します。

■ダウンロード Ninja を立ち上げた後 (S)

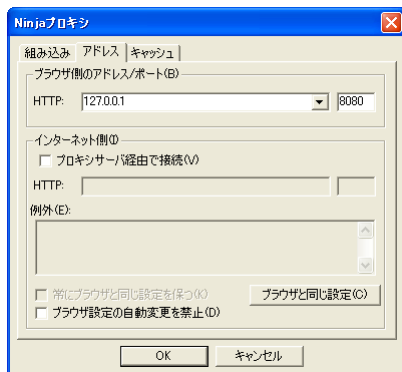
ダウンロード Ninja が起動するタイミングで、Ninja プロキシも起動します。

■Windows 起動時から常駐させる (T)

Windows 起動時に、Ninja プロキシを起動します。

「ダウンロード Ninja を立ち上げた後 (S)」と違って、Web ブラウザの起動のタイミングに煩わされることはなくなりますが、ダウンロード Ninja を使っていないときでも、Web ブラウザは常に Ninja プロキシを通してインターネットにアクセスすることになります。

3.3.2.2 「アドレス」 タブ



Web ブラウザとインターネット接続に関する設定を行いません。

■ブラウザ側のアドレス / ポート (B)

Web ブラウザが Ninja プロキシにアクセスする際の、アドレスとポートを設定します。ダウンロード Ninja はここでの設定に合わせて、Web ブラウザの設定を自動的に変更します。

通常は変更する必要はありませんが、他のソフトウェアと設定が重複してしまうのを避ける場合に使用します。

■プロキシサーバ経由で接続 (V)

社内 LAN やダイヤルアップ接続などで、必ず特定のプロキシサーバを経由してインターネットに接続しなければならない場合に設定します。

通常 Web ブラウザを使用していて、問題なくインターネットに接続できる場合は、<ブラウザと同じ設定 (C) >を押して、自動的に設定しておけば問題ありません。

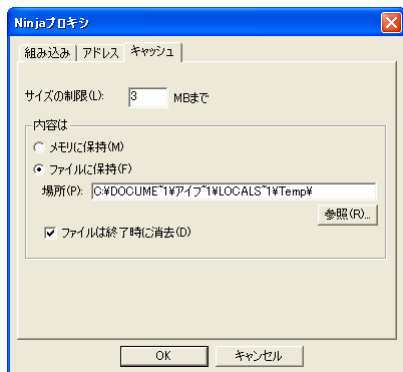
■常にブラウザと同じ設定を保つ (K)

このチェックボックスをオンにしていると、Ninja プロキシが起動するその都度、Web ブラウザの設定を参照します。Internet Explorer を使ってダイヤルアップと LAN 環境を頻繁に切り替えるような場合にお勧めの設定です。

■ブラウザ設定の自動変更を禁止 (D)

Ninja プロキシは起動時に Web ブラウザの設定を変更することがあります。このチェックボックスをオンにしておくと、Ninja プロキシが Web ブラウザの設定を変更することを禁止します。

3.3.2.3 「キャッシュ」 タブ



■サイズの制限 (L)

Ninja プロキシが作成するファイルの最大サイズをここで指定します。ハードディスクの残り容量などの何らかの都合で、ファイルサイズに制限を加えたいときに使用します。

■内容は

キャッシュをメモリに保持するか、ファイルに保存するかを選択します。お使いのコンピュータに搭載されたメモリが少ない場合（例:Windows XP の場合 48MB 以下）、ファイルに保存することをお勧めします。

■ファイルは終了時に消去 (D)

ダウンロード Ninja 終了後に、キャッシュファイルを削除するかどうか設定します。

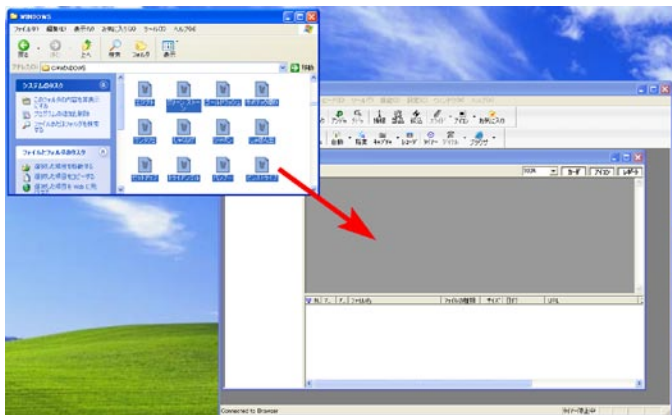
3.4 ディスクなどからの取り込み

ダウンロード Ninja に取り込み管理できるデータは、インターネットからダウンロードしたものに限りません。

ハードディスクや、CD-R、DVD-R などに保存してある画像ファイルなどのサムネイルをダウンロード Ninja で作成し、管理に用いると大変便利です。

3.4.1 エクスプローラを使った取り込み

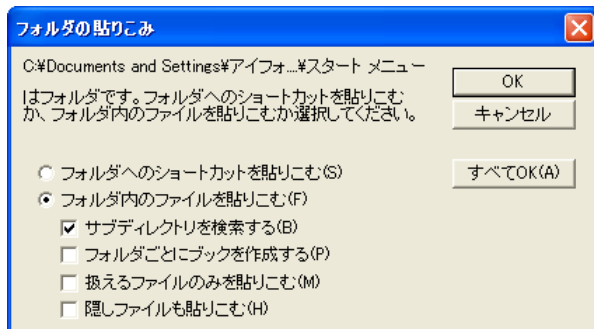
ダウンロード Ninja では、Windows のエクスプローラからファイルをドラッグ・アンド・ドロップで取り込んだり、逆にエクスプローラへファイルをドロップしたりすることができます。



エクスプローラからファイルを取り込む場合は、エクスプローラで、必要なファイルを選択してドラッグし、ダウンロード Ninja のアイコンウィンドウにドロップしてください。ダウンロード Ninja のアイコンウィンドウにファイルのアイコンが追加されます。

また、エクスプローラのフォルダやマイコンピュータのディスクアイコンを、直接 ダウンロード Ninja にドラッグ・アンド・ドロップすることができます。この場合には、ショートカットを作成して貼りこむか、フォルダ内のファイルを貼りこむかを選ぶことができます。

フォルダやディスクのファイルを貼りこむ場合には、ドロップしたときに「フォルダの貼りこみ」ダイアログが表示されます。



■フォルダへのショートカットを貼りこむ (S)

フォルダへのショートカットをダウンロード Ninja に貼りこみます。フォルダの中にあるファイル自体は取り込みません。

■フォルダ内のファイルを貼りこむ (F)

フォルダの中にある、ファイル本体をダウンロード Ninja に取り込みます。

■サブディレクトリを検索する (B)

ドロップされたフォルダやディスクのサブディレクトリをすべて検索して見つかったファイルを取り込みます。

■フォルダごとにブックを作成する (P)

サブディレクトリごとにフォルダ名のブックを作成して、そのフォルダ内のファイルは該当するブックに取り込みます。

■扱えるファイルのみを貼りこむ (M)

HTML ファイルや画像ファイルなど、ダウンロード Ninja が扱うことができるファイルだけを貼り込みます。この場合には、アプリケーションやダイナミックライブラリなどは取り込まれません。

■隠しファイルも貼り込む (H)

隠し属性のファイルも貼り込みます。

この機能を使用すると、CD-R や DVD-R などに保存されている画像ファイルのインデックスを簡単に作成することができます。

3.4.2 他のアプリケーションとのドラッグ・アンド・ドロップ

ダウンロード Ninja のデータベースには、ワードプロセッサなどの他のアプリケーションからテキストなどをドラッグ・アンド・ドロップで登録することができます。

アプリケーション上でテキストをドラッグして、ダウンロード Ninja のアイコンウィンドウにドロップしてください。テキストファイルが作成されて、アイコンが追加されます。

また、多くのグラフィック編集アプリケーションは、ダウンロード Ninja に登録されたアイコンからドラッグ・アンド・ドロップで起動したり、読み込んだりして編集することができます。

そのほかのアプリケーションへ、ダウンロード Ninja に登録されたデータをドラッグ・アンド・ドロップで読み込むことができますが、その場合、相手先のアプリケーションがそのデータに対応している必要があります。

3.5 ダウンロードに関する注意

ここではダウンロードに関する注意をまとめています。

3.5.1 取込めないページやデータ

ダウンロード Ninja では、以下の様なページを、正しいリンク関係で取込むことができません。

LOWSRC= などの、1 命令で複数の URL を扱うタグを使ったページ

ブラウザによっては、画像が正しく表示されないなどの症状が発生します。

リンクがクリックされたときダイナミックに HTML が生成されるページ

このようなページはリンク先のページとして取り込むことはできません。そのページがブラウザに表示された後、「ブラウザが表示中のページをダウンロード」を実行して、個別に取り込んでください。

Java などの Script がアクセスするページ

FORM 文で作られたボタン

HTML 構文が誤っているが、偶然ブラウザでは表示できているもの

GET 以外の Method を使っているもの

■データが重複する場合（取り込もうとしたデータが、すでにデータベース内に取り込み済みの場合）
予約取込を実行してもデータは取り込まれません。また、この場合ブックも作られません。

■指定通りにデータが取り込めない

データの種類の指定して取込んでいるのに、指定外のデータが取込まれてしまう場合があります。

CGI が作り出すカウンタなどのグラフィックデータ

標準のデータ形式ではないとき

■取込み指定をしていないページが取込まれる

隠しタグが付けられたページは、そのページを取り込むと、同時に隠しページも取込まれます。本文として書かれていて、リンクされていないページも設定によっては取込まれます。

■新規データベースにページを取り込んだとき

新規のデータベースにインターネットからデータを取り込んだとき、そのデータベースファイルが保存されるまでは、ページのリンク関係を、取り込んだローカル環境用に書き換えません。このためページ上のリンクは、ローカルディスクではなく、オリジナルの位置を指しています。いったん保存してからご利用ください。

■キャッシュからファイルを収集したとき、「重複しないよう収集」設定で使ったのに、

同じファイルが重複して収集されてしまう

Internet Explorer のキャッシュファイルが破損し、異なる URL が同じファイルを指している可能性があります。この場合、ダウンロード Ninja は重複ファイルを正しく取り除くことができません。

■部品を表示しない設定にしているのに、取込んだページの部品ファイルが表示されてしまう

ダウンロード Ninja が、インターネットからデータを取り込むタイミングによっては、部品であるファ

イルが、部品として扱われない場合があります。この場合は、<機能 (O)>メニューの<最新の情報に更新 (F)>コマンドを使ってみてください。

また、Java などがアクセスしている部品は、部品として判断できません。

3.5.2 途中で失敗したデータの再取り込み

インターネットからデータを取り込む際、通信回線の品質、サーバの混み具合などといった理由で、データを正しく取り込むことができない場合があります。

アイコンウィンドウのサムネイルの中で、「URL サイト」がシアン色で表示されているデータは、取り込み時に何らかの問題が起こり、正しくダウンロードできていないものを示します。このような取り込みに失敗したデータは、絞り検索機能を使って探すこともできます。<編集 (E)> - <絞り込み検索 (Q)> - 「特別」タブの「ダウンロードエラーのあったファイル (E)」をチェックし、絞り込み検索を実行します。

このように取り込みに失敗したデータがある場合、同じ URL を指定してもう一度取り込みを試みると、ダウンロード Ninja は自動的に失敗したところから取り込みを再開します。

実際に取り込みをし直す場合は、

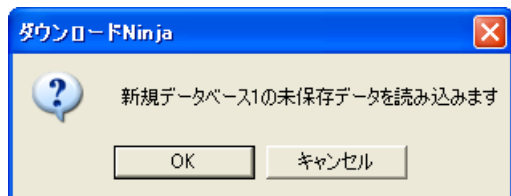
- サムネイルのショートカットメニューから<リンク先をダウンロード (L)>
- <そのページが更新されていたらダウンロード (O)>を選ぶ
- 取込み結果表示ウィンドウにある「取込を再実行」ボタンを押す

などの方法があります。

3.5.3 未保存ファイル

何らかの事情で Windows が強制終了を起こした場合などでも、ダウンロード Ninja を次に起動したときに、直前に扱っていた未保存ファイルを使用することができます。

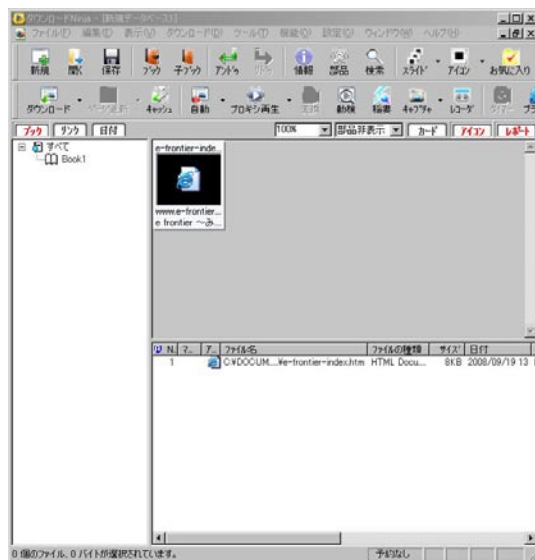
ダウンロード Ninja 起動時に、次のようなダイアログが表示されるので、< OK >を選択してください。



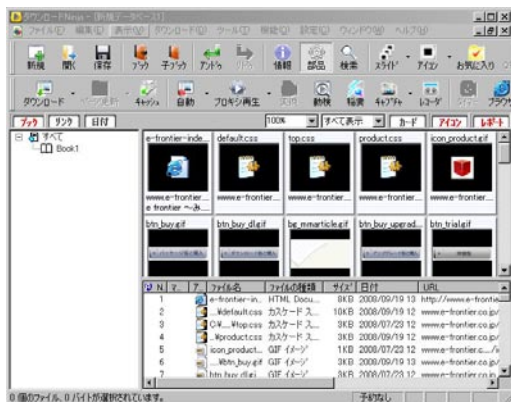
3.6 部品について

ダウンロードNinjaの特徴のひとつが、取り込んだデータを、ホームページに割り付けられた一要素（部品）として管理するのか、独立した1つのデータとして管理するのかを区別できる点です。これについて、解説します。

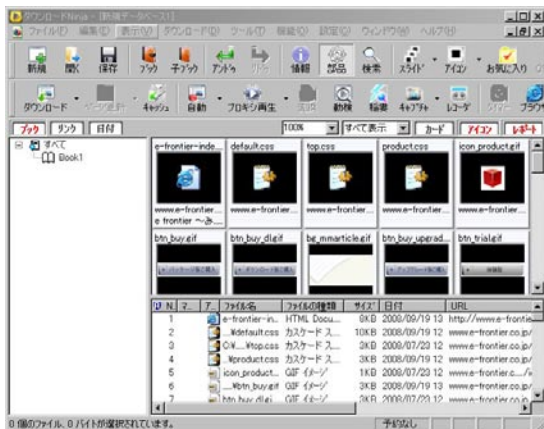
次の図は、弊社のホームページです。このホームページをダウンロードNinjaに取り込んだのが下の図です。表示バーで[部品非表示]の設定にすると、アイコンウィンドウには、取り込んだページを示すアイコンが、1つ登録されています。



ここで、表示バーで「すべて表示」の設定にするか、またはツールバーの[部品] ボタンを押すか、<表示(V)>メニューから<部品を表示する(P)>を選んでみましょう。次の図のように、ホームページのファイルを示すアイコンの他に、取り込んだページに割り付けられていたグラフィックファイルなどのアイコンが現れます。



このアイコンは、部品表示をオンにしてもオフにしても表示されています。このように、ダウンロード Ninja では、取り込んだホームページに設定されているデータと、ユーザーが任意に取り込んだデータ（この場合は最後に単独で取り込んだグラフィックファイル）を区別して扱っています。



従って、部品表示をオフにした状態で、HTML ファイルのアイコンを、他のブックやダウンロード Ninja のファイル、あるいはエクスプローラなどにドラッグ・アンド・ドロップした場合や、切り取り、コピー、削除を実行した場合には、ホームページを構成している部品のファイルがすべて対象となります。

部品としてダウンロード Ninja に取り込んだグラフィックファイルなどのデータを、部品ではなく独立したデータとしたい場合は、次のように操作してください。

1. 新しいデータベースファイルを開きます。
2. 部品を表示し、独立したデータにしたいアイコンを選びます。
3. このアイコンを、新しいデータベースにドラッグ・アンド・ドロップします。

ホームページを丸ごとフロッピーディスクなどにコピーしたいといった場合には、部品表示をオフにしておいてから、HTML のアイコンをエクスプローラのフロッピーディスクアイコンにドラッグ・アンド・ドロップするだけで、ページ全体のファイルをコピーすることができます。

3.6.1 部品と解釈させるために

データを部品として解釈できるのは、次の方法で取り込んだファイルに限ります。

- ページ全体を取り込んだ場合
- キャッシュからページ単位でファイルを収集した場合
- Web ブラウザからページ全体をドロップして取り込んだ場合

3.7 データベースファイル

ダウンロード Ninja での、ファイルの取り扱いについて解説します。

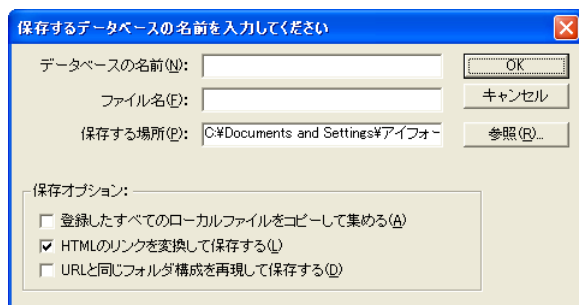
取り込んだデータは、1つのデータベースファイルに登録され、保存されます。1つのファイル内に、複数のブックフォルダを作って分類することも可能です。

新規にデータベースファイルを作成すると、名前を付けて保存するまで、そのウィンドウは「新規データベース 1」のような名前が一時的に使われます。

ダウンロード Ninja は、取り込んだ各ファイル（HTML ファイルや、グラフィックファイル）を、ダウンロード Ninja のデータベースファイルの中に格納することなく、各々の独立したファイルとして扱います。

3.7.1 ファイルを保存する

作成したデータベースファイルを保存する場合は、ツールバーの [保存] ボタンを押すか、<ファイル (F) >メニューから<名前をつけて保存 (A) >を選びます。「保存するデータベースの名前を入力してください」ダイアログが表示されます。



■<登録したすべてのローカルファイルをコピーして集める (A) >

ダウンロード Ninja では、原則として、データベースに取り込んだデータは、データベースファイルと同一のフォルダに集めて管理します。

ところが、これでは不都合が生じる場合があります。

例えば、CD-ROM の内容をカタログのように管理するために、CD-ROM 内の大量のグラフィックファイルをダウンロード Ninja にアイコン登録したとします。このデータベースファイルを、ハードディスク内に保存するわけですが、このとき CD-ROM 上のグラフィックファイルはハードディスクにコピーする必要がありません。

このようなときは、<登録したすべてのローカルファイルをコピーして集める (A) >のチェックボックスをオフにしておきます。

このチェックボックスは、ハードディスク、CD-ROM などローカルに接続されている装置上のファイルに対してのみ有効です。インターネット上のファイルに対しては、常にデータベースフォルダと同一のフォルダに集められます。

一度保存したデータベースファイル（拡張子 .NFI）に変更を加えたものを保存する場合にはツールバーの [保存] ボタンを押すか、<ファイル (F) >メニューから<上書き保存 (S) >コマンドを選択します。（拡張子 .NFI）が変更したファイルにアップデートされて、古いファイルは拡張子に「BAK」を加えた名前に変更されます。

■HTML のリンクを変換して保存する (L)

取り込んだ HTML ファイルのリンクを変換して保存します。

■URL と同じフォルダ構成を再現して保存する (D)

取り込んだ HTML ファイルを解析して、オリジナルと同じフォルダ構成を再現して保存します。

このオプションは新たに保存されるファイルに対してだけ有効です。既に保存されているファイルの位置は変更しません。

このオプションをオンにして保存されたデータベースを表示するには、Ninja クイックサーバを使って表示してください。

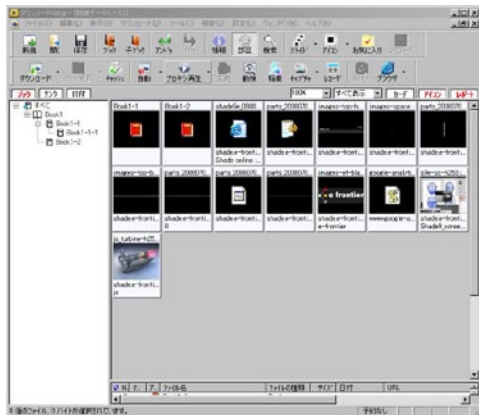
3.8 取り込んだデータの分類

ダウンロード Ninja に取り込んだデータは、ブックを使って分類することができます。ブックはダウンロード Ninja のデータベース内でのみ管理されます。Windows のエクスプローラなどで見ることができるフォルダとは対応関係はありません。

3.8.1 ブックを使った分類

ブックは、ブックウィンドウを使って操作します。

新規にデータベースファイルを作成すると、「Book1」という名前のブックが作られます。このとき、アイコンウィンドウは、その「Book1」の中に収められたデータが表示されます。



ブックをクリックして変更すると、アイコンウィンドウはそれに対応して、変更されたブック内のデータを表示します。

新しくブックを作成したい場合は、以下の操作を行ないます。

ツールバーの [ブック] ボタンを押す

<編集 (E)>メニューの<ブック (B)>から<ブック作成 (O)>を選ぶ

ブックウィンドウでマウス右メニューの<新規ブック作成 (N)>を選ぶ

新しいブック「Book2」が作られます。

3.8.1.1 子ブックの作成

ブックの中にさらにブックを作り、階層構造で管理することもできます。1つのブックの中にあるブックのことを「子ブック」と呼びます。

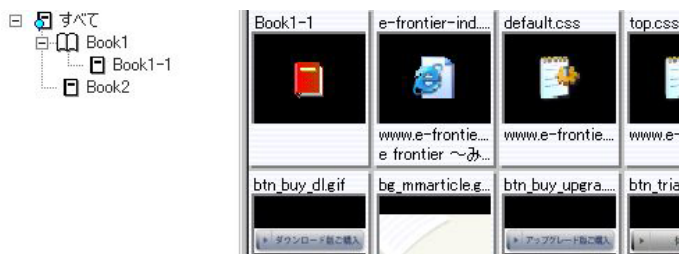
新しく子ブックを作成したい場合は、作りたいブックを選び、以下の操作を行ないます。

ツールバーの [子ブック] ボタンを押す

<編集 (E)>メニューの<ブック (B)>から<子ブック作成 (I)>を選ぶ

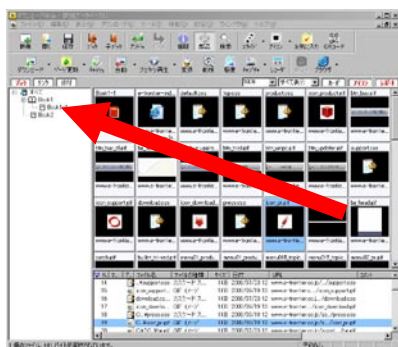
ブックウィンドウでマウス右メニューの<子ブック作成 (C)>を選ぶ

「Book1-1」のような名前の子ブックが新規に作成され、自動的にその子ブックが開かれます。

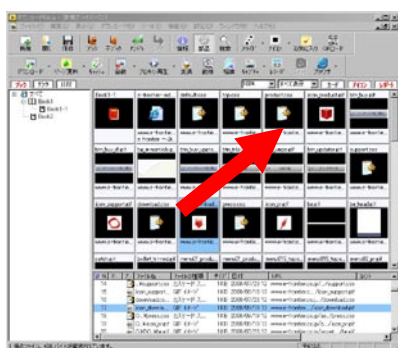


3.8.1.2 ブック間のファイルの移動

ブック間でファイルを移動するには、アイコンウィンドウから別のブックに移動したいファイルを選んでドラッグし、移動先のブックの上でドロップします。ドラッグしたファイルのアイコンが貼り付けられます。



また、同じブック内でアイコンの順序を変える場合はアイコンウィンドウから移動したいアイコンをドラッグして、目的の場所でドロップしてください。アイコンの順序が変わります。<編集(E)>メニューの<並べ替え(S)>コマンドを実行中は目的の場所にドロップできません。



3.8.1.3 ブックの名前の変更

ブックの名前を変更する場合には、名前を変更したいブックでマウスを右クリックして、コンテキストメニューから<名前の変更(E)>を選んでください。キーボードのF2を押しても実行できます。

3.8.1.4 ブックの削除

削除したいブックを選び、以下の操作を行ないます。

- ＜編集 (E)＞メニューの＜ブック削除 (B)＞を選ぶ
- ブックウィンドウでショートカットメニューの＜ブック削除 (D)＞を選ぶ

この際、ブック内に登録したデータも削除されます。ご注意ください。

3.8.1.5 ブック「すべて」について

アルバムが一番上にある「すべて」というアルバムをクリックすると、すべてのブックに登録されているデータを一覧で表示することができます。



なお、子ブックの内容は一覧には表示されません。

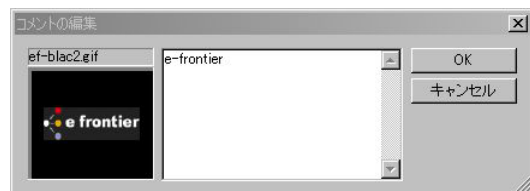
3.8.2 コメントを使った分類

取り込んだデータに、任意のコメントを入力しておくことができます。このコメントを対象に検索を行なうことが可能です。

コメントを新しく入力したり、入力してあるコメントを編集する場合は、以下の操作を行ないます。

- ＜編集 (E)＞メニューの＜コメント編集 (E)＞を選ぶ
- アイコンウィンドウでショートカットメニューの＜コメント編集 (N)＞を選ぶ

次のダイアログが表示されます。ここでコメントを編集します。



これ以外に、以下の方法でコメントを編集することができます。

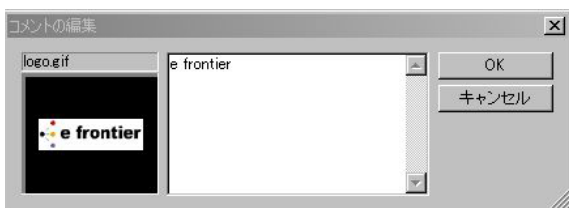
■カードウィンドウを表示し、「コメント (C)」エリアで編集する

この場合、編集を加えたコメントは [更新 (W)] ボタンを選ばないと保存されない点に注意ください。

■アイコンウィンドウでセル内のコメントエリアをダブルクリックする

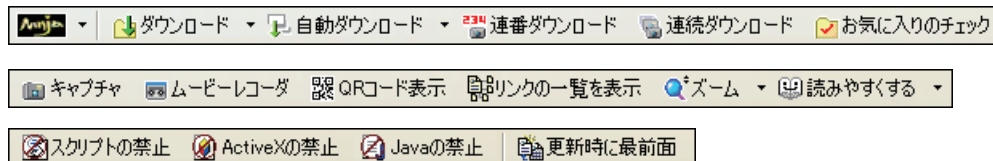


■レポートウィンドウのコメントエリアをダブルクリックする



3.9 Ninja バー

Internet Explorer 5 以上をお使いの場合、ダウンロード Ninja の機能を集めた「Ninja バー」を Internet Explorer のツールバーとして表示することができます。



■ダウンロード

現在、Web ブラウザで表示しているページを取り込みます。

■自動ダウンロード

自動ダウンロードのオン / オフを切り替えます。

■連番ダウンロード

ダウンロード Ninja を起動して、ブラウザで表示中のページに対して、連番ダウンロードを実行します。

■連続ダウンロード

ダウンロード Ninja を起動して、ブラウザで表示中のページに対して、連続ダウンロードを実行します。

■お気に入りのチェック

ダウンロード Ninja を使って、Internet Explorer のお気に入りに登録してある Web ページが有効かどうかをチェックします。詳細については、「4.5.11 お気に入りのチェック」を参照してください。

■キャプチャ

ブラウザで表示中の画面をキャプチャして、ダウンロード Ninja のデータベースに取り込みます。

■ムービーレコーダ

ムービーレコーダを起動します。

■リンクの一覧を表示

ページのリンク一覧を表示して必要なファイルだけを選択して取り込むことができます。詳細については、「3.8.1 リンクの一覧」を参照してください。

■ズーム

ブラウザで表示中の画面を拡大または縮小します。クリックするたびに拡大されていきます。[▼] をクリックして倍率を選択することもできます。

■読みやすくする

色調や背景画像などによって、読みにくいページを読みやすくします。クリックするたびに、効果が加えられ読みやすくなりますが、処理に時間がかかるようになります。元の表示に戻すには、[▼] をクリックして<元に戻す (R)>を選択します。

■スクリプト

Java スクリプトのオン / オフを切り替えます。

■ActiveX

ActiveX のオン / オフを切り替えます。

■Java

Java アプレットのオン / オフを切り替えます。

■サイト間データ

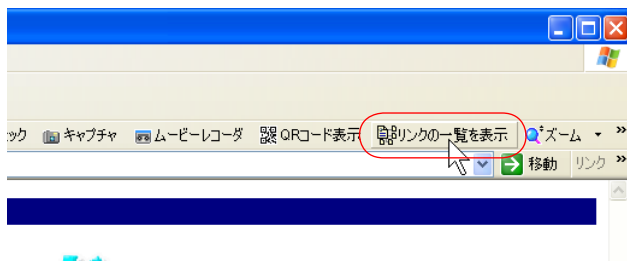
異なるサイト間で、Cookie 情報の受け渡しを禁止します。

■更新時最前面

表示中のページが更新された場合、ウィンドウを最前面に表示します。

3.9.1 リンクの一覧

Ninja バーの [リンクの一覧] ボタンを押すと「リンクの一覧を表示」ダイアログが表示され、ページ内のリンク一覧から必要なリンクのみを選択して取り込むことができます。



また、Internet Explorer 及び Internet Explorer のコンポーネントを利用したタブブラウザなどで、ページ上で右クリックしてショートカットメニューを表示し、[このページをダウンロード Ninja でダウンロード (J)] コマンドを選択しても表示することができます。



すべて解除
すべてのリンク先のチェックマークをはずします

ダウンロード
チェックマークをつけたリンク先をすべて取り込みます

すべて選択
すべてのリンク先にチェックマークを付けます

更新
リンク一覧を更新します

タイトルを優先
リンク先のタイトルがURLと認識できる場合、タイトルを使って取り込みます

本文中のリンク
リンク形式になっていない本文中のURL文字列もリンクとして扱います

リンク先画像を展開
リンク先が画像や動画の場合、そのサムネイルをリンク先イメージに表示します

チェック
取り込むリンク先にチェックマークをつけます

イメージを選択
リンク先が画像や動画のリンク先にチェックマークを付けます

プレビューの透明度
リンク先イメージに表示される画像の濃度を指定します

サムネイルサイズ
リンク先イメージに表示するサムネイルのサイズを指定します

チェック	リンク先イメージ	No.	拡張子	URL	タイトル	プロトコル
<input checked="" type="checkbox"/>		5	jpg	http://www.e-frontier.co.jp/dlninja/practice/images/photo_6.jpg		http
<input checked="" type="checkbox"/>		2	jpg	http://www.e-frontier.co.jp/dlninja/practice/images/photo_3.jpg		http
<input checked="" type="checkbox"/>		1	jpg	http://www.e-frontier.co.jp/dlninja/practice/images/photo_2.jpg		http
<input type="checkbox"/>	?	6	html	http://www.e-frontier.co.jp/dlninja/practice/index.html	ホームページ	http

絞り込み

リンク先の形式を使って、リンク一覧に表示するリンク先を絞り込みます
「アドバンス」タブでは、拡張子、URL、タイトル、サーバー名を使って詳細に絞り込むことが可能です
条件を設定後、<更新 (P)>をクリックすると、絞り込んだ結果が表示されます

リンク先が画像や動画の場合、「リンク先イメージ」欄をダブルクリックすると、リンク先の画像が拡大表示されます。拡大表示を閉じるには、画像以外の部分をクリックします。

4. ダウンロード Ninja コマンドリファレンス

ここからはダウンロード Ninja の各コマンドについて解説していきます。
画面に並んでいるメニューの順番に解説しています。

4.1 ファイル (F) メニュー

<ファイル (F) >メニューには、ダウンロード Ninja のファイルに関するコマンドが用意されています。

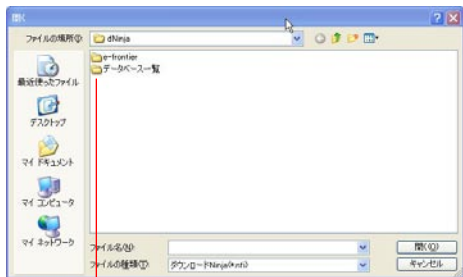
4.1.1 新規作成 (N)

ダウンロード Ninja の新規データベースを作成し、画面に表示します。

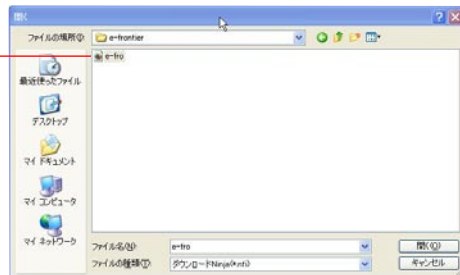
4.1.2 開く (O)

既存のダウンロード Ninja のデータベースファイルを開きます。

1. 保存したデータベースファイル (拡張子 .NFI) を開くにはツールバーの [開く] ボタンを押すか、<ファイル (F) >メニューから<開く (O) >を選択します。
2. デフォルトの保存フォルダに保存されているデータベースフォルダの一覧が表示されるので、目的のフォルダをクリックし、その中にあるデータベースファイルをダブルクリックします。



目的のフォルダを開いてから、その中にあるデータベースファイルを選択します。



4.1.3 閉じる (C)

現在開いている、ダウンロード Ninja のデータベースファイルを閉じます。

4.1.4 上書き保存 (S)

現在開いている、ダウンロード Ninja のデータベースファイルを同一ファイル名で上書き保存します。

4.1.5 名前を付けて保存 (A)

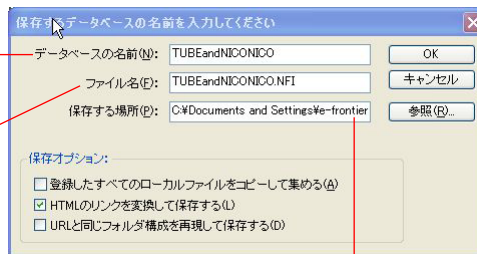
現在開いている、ダウンロード Ninja のデータベースファイルに新しいファイル名を付けて保存します。

データベースの名前 (N)

データベースに付けたい名前を入力します。

ファイル名 (F)

ダウンロード Ninja のデータベースファイル (拡張子は NFI) の名前を設定します。<データベースの名前 (N) >を入力すると、その名前が自動的に入力されます。別の名前に変更したい場合は、自動的に入力された名前を削除して、入力し直してください。



保存する場所 (P)

ダウンロード Ninja では、作成したデータベースファイル (拡張子は NFI) と、そのデータベースに登録した (取り込んだ) データファイルを分けて管理しています。これらのファイルは、同一のフォルダに保存されます。ここで言う「保存する場所」とは、このフォルダを指します。デフォルトの設定では、「マイドキュメント」フォルダの中の「dNinja」フォルダに、指定された「データベースの名前」のフォルダを作成し、保存します。

■登録したすべてのローカルファイルをコピーして集める (A)

ダウンロード Ninja では、原則として、データベースに取り込んだデータは、データベースファイルと同一のフォルダに集めて管理します。

ところが、これでは不都合が生じる場合があります。

例えば、CD-ROM の内容をカタログのように管理するために、CD-ROM 内の大量のグラフィックファイルをダウンロード Ninja にアイコン登録したとします。このデータベースファイルを、ハードディスク内に保存するわけですが、このとき CD-ROM 上のグラフィックファイルはハードディスクにコピーする必要がありません。このようなときは、<登録したすべてのローカルファイルをコピーして集める (A) >のチェックボックスをオフにしておきます。

このチェックボックスは、ハードディスク、CD-ROM など自分のコンピュータに接続されている装置上のファイルに対してのみ有効です。インターネット上のファイルに対しては、常にデータベースフォルダと同一のフォルダに集められます。

一度保存したデータベースファイルに変更を加えたものを保存する場合にはツールバーの [保存] ボタンを押すか、<ファイル (F) >メニューから<上書き保存 (S) >コマンドを選択します。データベースファイルが変更したファイルにアップデートされて、古いファイルは拡張子に「BAK」を加えた名前に変更されます。

■HTML のリンクを変換して保存する (L)

取り込んだ HTML ファイルのリンクを変換して保存します。

■URL と同じフォルダ構成を再現して保存する (D)

取り込んだ HTML ファイルを解析して、オリジナルと同じフォルダ構成を再現して保存します。

このオプションは新たに保存されるファイルに対してだけ有効です。既に保存されているファイルの位置は変更しません。

このオプションをオンにして保存されたデータベースを表示するには、「4.7.4 クイックサーバ設定」を参照してください。

4.1.6 パスワード (W)

データベースファイルにパスワードを設定して、不正なアクセスからファイルを保護することができます。

1. <ファイル (F) >メニューから<パスワード (W) >を選択します。
2. 「パスワードの設定」ダイアログが表示されたら、パスワードを入力してください。パスワードは半角で 30 文字まで入力できます。大文字と小文字も区別しますので、ご注意ください。



3. <新しいパスワード (N) >と<もう一度入力 (F) >にパスワードを入力してください。すでに設定しているパスワードを変更するときには<古いパスワード (O) >にも入力してください。
4. < OK >を選択すると、設定が完了します。

設定したパスワードを解除するには<古いパスワード (O) >に、現在設定されているパスワードを入力して<解除 (C) >を選択してください。この場合、パスワード解除後に NFI ファイルを保存しないと、実際にパスワードを解除したことになりません。

4.1.7 CD-R/RW へバックアップ (R)

お使いのパソコンの Windows が対応している CD-R/RW ドライブをお使いの場合、CD-R/RW にバックアップできます。

1. <ファイル (F) >メニューから< CD-R/RW へバックアップ (R) >を選択します。
2. 「CD-R/RW へのバックアップ」ダイアログが表示されます。設定項目を設定したら、<書き込み(B) >を選択します。



■バックアップ先のフォルダ (F)

バックアップを行なうダウンロード Ninja のデータベース名が自動的に入力されます。特に変更する必要がない場合はこのままデータベース名をフォルダとされることをお勧めします。好きなフォルダ名を入力しても構いません。

■バックアップに使用するドライブ (D)

バックアップに使用するドライブを指定します。

■書き込みが完了したらメディアを取り出す (J)

このチェックボックスをオンにすると CD-R/RW への書き込みが完了後、ディスクをイジェクトします。

3. バックアップが終了したら <終了> を選んでください。

4.1.8 印刷 (P)

ダウンロード Ninja ではアイコンウィンドウの一覧画面と、画像ウィンドウで表示している画像を印刷することができます。

4.1.8.1 アイコンウィンドウの一覧画面を印刷する

ダウンロード Ninja のアイコンウィンドウ一覧画面を印刷します。

1. アイコンウィンドウをマウスでクリックしてハイライト表示 (アクティブに) し、<ファイル (F) >メニューから<印刷 (P) >を選択します。
2. 「印刷」ダイアログが表示されます。設定については、お使いのプリンタのマニュアルを参照してください。

4.1.8.2 画像を印刷する

ダウンロード Ninja で取り込んだ画像を印刷します

1. 印刷する画像のアイコンをダブルクリックして画像ウィンドウを開き、画像ウィンドウをアクティブにします。
2. <ファイル (F) >メニューから<印刷 (P) >を選択します。
3. 「印刷」ダイアログが表示されます。設定については、お使いのプリンタのマニュアルを参照してください。

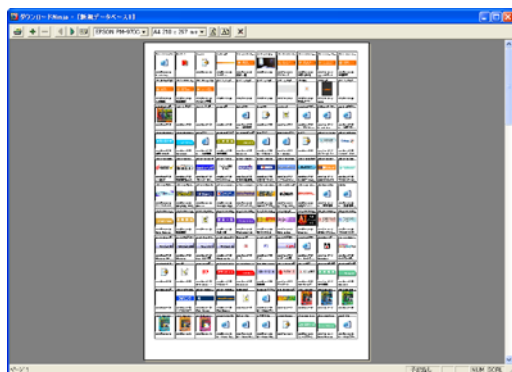
4.1.9 印刷プレビュー (V)

印刷イメージを画面上で確認することができます。

ダウンロード Ninja では、現在どのウィンドウがアクティブになっているかによって、印刷される対象が異なりますので、印刷される前に <印刷プレビュー (V)> で確認してから印刷を実行すると良いでしょう。

4.1.9.1 アイコンウィンドウの一覧をプレビューする

アイコンウィンドウで印刷プレビューを実行すると、次のような画面が表示されます。



ボタンには左から

「印刷」
「ズームイン」
「ズームアウト」
「前ページ」
「次ページ」
「見開き表示」
「プリンタ選択」
「用紙サイズ選択」
「用紙縦長」
「用紙横長」
「終了」

の各機能が割り付けられています

■印刷

印刷を開始します。設定については、お使いのプリンタのマニュアルを参照してください。

■ズームイン / ズームアウト

画面の内容を大きく表示したり、小さく表示します。

■前ページ / 次ページ

印刷イメージが複数ページに及ぶとき、このボタンをクリックしてページを移動します。印刷ページが 1 ページしかないときは選ぶことができません。

■見開き表示

このボタンをクリックして、1 ページだけの表示と見開き表示を切り替えることができます。印刷ページが 1 ページしかないときは選ぶことができません。

■プリンタ選択

印刷に使用するプリンタを選択します。

■用紙選択

印刷に使用する用紙を選択します。

■用紙縦長

このボタンをクリックすると、用紙を縦長方向に使います。画面のプレビューにも反映されます。

■用紙横長

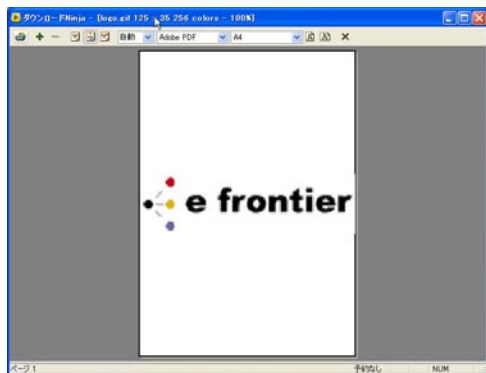
このボタンをクリックすると、用紙を横長方向に使います。画面のプレビューにも反映されます。

■終了

印刷プレビューを終了し、ダウンロード Ninja のメイン画面に戻ります。印刷は行ないません。

4.1.9.2 画像ウィンドウをプレビューする

画像ウィンドウで印刷プレビューを実行すると、次のような画面が表示されます。



ボタンには左から

「印刷」
「ズームイン」
「ズームアウト」
「前ページ」
「次ページ」
「1 ページ表示」
「見開き表示」
「プリンタ選択」
「用紙選択」
「用紙縦長」
「用紙横長」
「終了」

の各機能が割り当てられています

■印刷

印刷を開始します。設定については、お使いのプリンタのマニュアルを参照してください。

■ズームイン / ズームアウト

画面の内容を大きく表示したり、小さく表示します。

■左右中央

画像を紙の上部に寄せ、左右幅の中央位置に印刷します。

■上下左右中央

画像を用紙の中央位置に印刷します。

■左上寄せ

画像を用紙の左上に寄せて印刷します。

■画像の拡大率

デフォルトで<自動>になっています。<自動>の時には印刷する紙のサイズにぴったり合うようにイメージを整数倍に拡大して印刷します。大きさを手動で設定したい場合には、コンボボックスから目的のサイズになる倍率を選んで印刷してください。

■プリンタ選択

印刷に使用するプリンタを選択します。

■用紙選択

印刷に使用する用紙を選択します。

■用紙縦長

このボタンをクリックすると、用紙を縦長方向に使用します。画面のプレビューにも反映されます。

■用紙横長

このボタンをクリックすると、用紙を横長方向に使います。画面のプレビューにも反映されます。

■終了

印刷プレビューを終了し、ダウンロード Ninja のメイン画面に戻ります。印刷は行ないません。

4.1.10 最近開いたファイル

最近開いたファイルのリストが標準で5つまで表示されます。リストに表示されるファイルの数は<設定 (C) > <一般設定 (R) >の「ファイル」タブで設定できます。

ここから、ファイルを選んで開くことができます。

4.1.11 アプリケーションの終了 (X)

ダウンロード Ninja を終了します。

4.2 編集 (E) メニュー

<編集 (E)>メニューにはダウンロード Ninja で行なえる各種編集機能が用意されています。

4.2.1 元に戻す (U)

直前に行なった動作をキャンセルし、元に戻します。

4.2.2 やり直し (R)

直前に行なった「元に戻す」動作を元に戻します。

4.2.3 切り取り (T)

選択範囲を切り取って、クリップボードに保存します。「カット」とも呼ばれます。

4.2.4 コピー (C)

選択範囲をコピーして、クリップボードに保存します。

4.2.5 貼り付け (P)

クリップボードに保存されている内容を貼り付けます。「ペースト」とも呼ばれます。

4.2.6 すべて選択 (A)

現在開いているデータベースファイルの、開いているブックの内容をすべて選択します。

4.2.7 選択の反転 (V)

現在選択しているものと選択していないものを反転し、入れ替えます。

4.2.8 検索 (F)

ブックやデータベースファイルに登録されたアイコン（ファイル）から、検索条件を指定してアイコンを探し出します。「次を検索、前を検索」「絞り込み検索」「結果を Web 表示」の 3 種類の検索機能があります。

4.2.8.1 次を検索、前を検索

ブック上で選択されているアイコンの位置から、上方または下方へ、検索条件に該当するアイコン（ファイル）を探します。ワープロソフトなどで、条件に一致した文字を探し出し、それをハイライト表示させる機能に似ています。

1. <編集 (E)>メニューから<検索 (F)>を選びます。
2. 「検索」ダイアログが表示されますので、検索条件を設定します。
検索条件の設定については、「4.2.8.4 検索条件の設定」を参照してください。
3. <▼次を検索 (N)>または<▲前を検索 (P)>を押します。
4. 押したボタンの方向に該当するものを探し、最初に条件に合致するアイコンがハイライトします。

4.2.8.2 絞り込み検索

ブックやデータベースファイルに登録されているアイコン（ファイル）の内、検索条件に合致するアイコンのみを選び出し、新しく「Search Result」というブックを作成して、その中に表示します。

1. <編集 (E)>メニューから<検索 (F)>を選びます。
2. 「検索」ダイアログが表示されますので、検索条件を設定します。
検索条件の設定については、「4.2.8.4 検索条件の設定」を参照してください。
3. <◆ 絞り込み (Q)>を押します。
4. 検索条件に合致したアイコン（ファイル）が「Search Result」ブックに表示されます。

4.2.8.3 絞り込み検索 (Web 表示)

検索条件に合致するファイルを探し出し、検索結果を稲妻サーチ（「4.5.2 稲妻サーチ (I) を参照」）と同様に Web ページで表示します。合致した部分の内容も表示されるため、文章ファイルの検索に向いています。

1. <編集 (E)>メニューから<検索 (F)>を選びます。
2. 「検索」ダイアログが表示されますので、検索条件を設定します。
検索条件の設定については、「4.2.8.4 検索条件の設定」を参照してください。
3. <■ 結果を Web 表示 (W)>を押します。
4. Web ブラウザが起動し、検索条件に合致するファイルとその内容が一覧で表示されます。

4.2.8.4 検索条件の設定

「検索」ダイアログでは、次の 5 種類の検索条件を設定することができます。

検索条件を設定するには、ジャンル名をクリックして設定項目を表示し、各入力欄に検索条件を設定します。

なお、複数のジャンルに検索条件を設定した場合、すべての検索条件に合致するアイコン（ファイル）が検索されます。

4.2.8.4.1 文字列 (S)

文字列を検索条件として指定します。

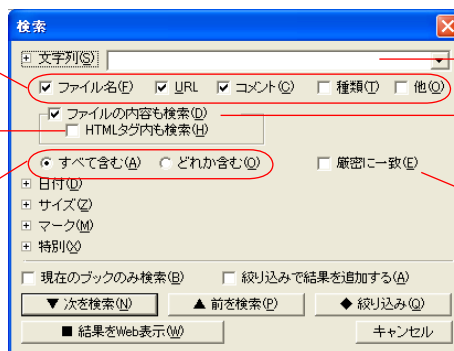
検索語の対象とするチェックマークを付けます。文字列を検索条件から外す場合は、すべてのチェックマークを外します

HTML タグ内も検索 (H)

HTML タグの一部として書かれている文字列も対象とします

すべて含む (A) / どれか含む (O)

「文字列 (S)」に空白で区切った複数の文字列を入力した際、そのすべてを含むファイルを検索する場合は <すべてを含む (A)>、どれかを含むファイルの場合は <どれか含む (O)> を選びます



文字列 (S)
検索語を入力します

ファイルの内容も検索 (D)
テキストや HTML ファイルの内容も
検索対象とします

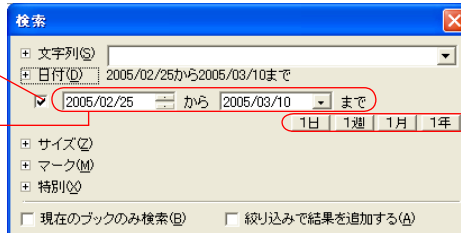
厳密に一致 (E)
文字列に入力した検索語とまったく
同じ文字列があった場合のみを合致
したと判断します

4.2.8.4.2 日付 (D)

アイコン (ファイル) の日付を検索条件として指定します。

日付を検索条件から外す場合は、このチェックマークを外します

検索する日付を期間で設定します。特定の日付のみを検索する場合は、両方に同じ日付を指定します

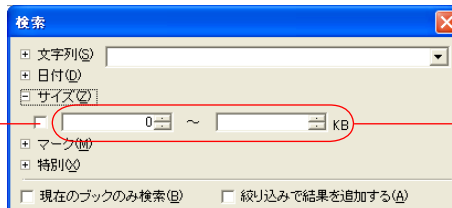


右の入力欄の日付を元にして、1日～1年の期間を自動的に設定します

4.2.8.4.3 サイズ (Z)

アイコン (ファイル) のサイズを検索条件として指定します。

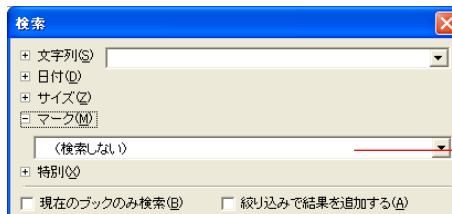
サイズを検索条件から外す場合は、このチェックマークを外します



左の入力欄には下限のファイルサイズ、右の入力欄には上限のファイルサイズを指定します。どちらかのみを指定することも可能です。特定のファイルサイズを指定する場合は、両方に同じ値を指定します

4.2.8.4.4 マーク (M)

アイコン (ファイル) に付けたマークを検索条件として指定します。



検索するマークを指定します。マークを検索条件から外す場合は、「(検索しない)」を指定します

4.2.8.4.5 特別 (X)

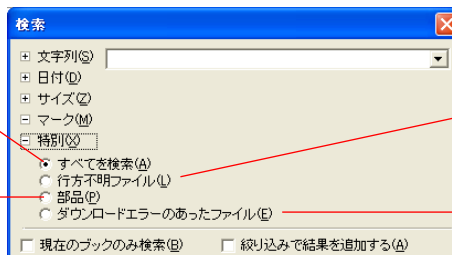
行方不明なファイルや部品、エラーのあったファイルを検索対象として指定します。

すべてを検索 (A)

すべてのファイルを対象に検索します

部品 (P)

部品を検索します



行方不明ファイル (L)

サムネイルが登録されていないが、そのファイルが見つからないファイルを検索します

ダウンロードエラーのあったファイル (E) 取り込み時に障害があり、ファイルが不完全または壊れているファイルを検索します

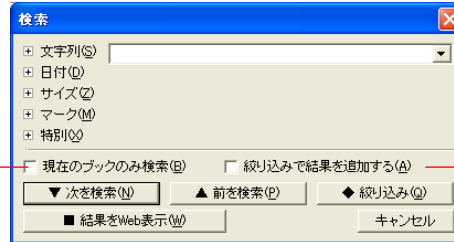
4.2.8.4.6 その他の設定項目

検索実行時に、次の2つのオプションを指定することができます。

現在のブックのみ検索 (B)

現在表示中のブックに登録されているアイコン (ファイル) のみを検索の対象とします

すべてのブックに登録されているアイコンを対象とする場合は、チェックマークを外します



絞り込みで結果を追加する (A)

絞り込み検索の際に、すでにある「Search Result」ブックの内容 (前回の検索結果) に、新しい検索結果を追加します

4.2.9 結果の反転 (I)

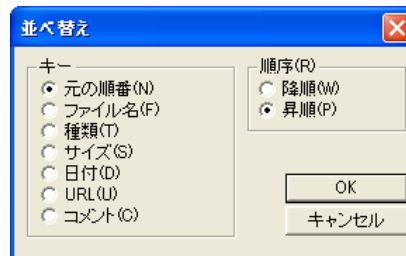
絞り込み検索の結果を逆転させることができます。

例えば、「50KB 以上の JPEG」ファイルを絞り込み検索し、その結果が「Search Result」ブックに収められているとき、<結果の逆転 (I)> を選ぶと「50KB 以上の JPEG ファイル」以外のファイルが「Search Result」ブックに収められます。

4.2.10 並べ替え (S)

取り込んだデータをファイル名やファイルのサイズなどを基準に並べ替えたい場合、もっとも簡単な方法は、レポートウィンドウの項目名をクリックすることですが、これ以外にコマンドを使って行なうことも可能です。

<編集 (E)>メニューの<並べ替え (S)>を選びます。「並べ替え」ダイアログが表示されます。



どの項目をキー (基準) として並べ替えるか、そのキーを「降順」と「昇順」のどちらで並べるかを設定します。

4.2.11 削除 (D)

選択したアイコンを削除します。

4.2.12 ブック (B)

サブメニューにブックを作成したり削除するコマンドが集められています。

4.2.12.1 ブック作成 (O)

現在開いているデータベースに、新しいブックを作成します。

4.2.12.2 子ブック作成 (I)

現在開いているブックの中に、子ブックを作成します。

4.2.12.3 ブック削除 (B)

選択されたブックを削除します。ブックの中にアイコンがある場合には、アイコンも削除されます。

4.2.13 コメント編集 (M)

現在選択されているアイコンのコメントを編集します。

「コメントの編集」ダイアログが表示されますので、コメントを入力・編集します。

4.3 表示 (V) メニュー

ダウンロード Ninja の画面各要素の表示に関するコマンドが用意されています。

4.3.1 ツールバー (T)

ツールバーの表示 / 非表示を選択します。

4.3.1.1 標準バー (1)

ツールバーのうち、標準バーの表示 / 非表示を選択します。

4.3.1.2 ダウンロードバー (2)

ツールバーのうち、ダウンロードバーの表示 / 非表示を選択します。

4.3.2 ステータスバー (U)

ステータスバーの表示 / 非表示を選択します。

4.3.3 表示バー (V)

表示バーの表示 / 非表示を選択します。

4.3.4 ダウンロードコントローラ (R)

ダウンロードコントローラの表示 / 非表示を選択します。

4.3.5 カードウィンドウ (C) / アイコンウィンドウ (I) / レポートウィンドウ (W)

カードウィンドウ、アイコンウィンドウ、レポートウィンドウの表示 / 非表示を選択します。

カードウィンドウ、アイコンウィンドウ、レポートウィンドウのすべてを非表示にすることはできません。いずれかひとつのウィンドウは必ず表示状態になります。

4.3.6 ブックツリー表示(B)/リンクツリー表示(L)/日付けツリー表示(D)

ブックツリー表示、リンクツリー表示、日付けツリー表示の表示 / 非表示を選択します。

ブックツリー表示、リンクツリー表示、日付けツリー表示のすべてを非表示にすることはできません。どれかのウィンドウは必ず表示状態になります。

4.3.7 アイコンウィンドウ表示形式 (S)

アイコンウィンドウに何を表示するのか、アイコンをどの大きさで表示するのか、といった設定が可能です。「アイコンウィンドウ表示形式」ダイアログが表示されます。



■アイコンサイズ

4つの中から選択、あるいは表示する大きさを横方向と縦方向で設定します。縦と横のサイズを自由に入力することもできます。

■フォント (F) / フォントサイズ (S)

表示するフォントとそのサイズを選択します。日本語フォント以外を選択すると、ファイル名やコメントに日本語が入っている場合には正しく表示できません。

■登録 (R)

設定した内容を登録します。

■削除 (D)

登録されている設定を削除します。

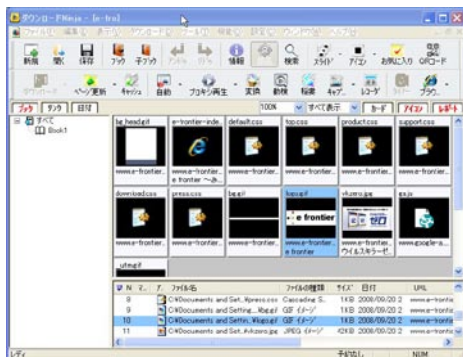
■デフォルトにする (V)

現在の設定を保存します。この設定を新しく作成したファイルにも適用したい場合に選択します。現在の設定が登録情報に記憶されて、今後の新規作成を行なったときにもこの設定が使用されます。

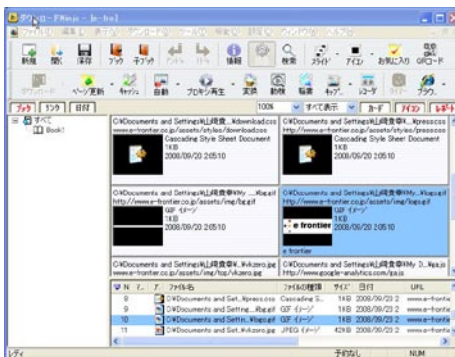
■形状 (B)

アイコンウィンドウの表示形式を選択します。ダウンロード Ninja 既定の設定が登録されていますので、お好みのタイプを選んでください。

「シンプル」または「タグ形式」のいずれかを選択し、さらに細かい設定を行なうことができます。チェックボックスが付いている項目が、アイコンウィンドウ画面に表示されます。



シンプル

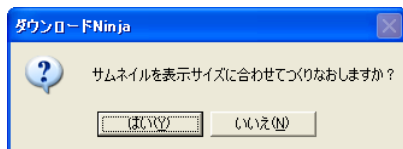


タグ形式

すべて設定したら < OK > を選択します。

タグ形式はチェックボックスがついている項目が、その位置に画面表示されます。ローカルパス名、URL、コメントは上、右、下のいずれか一カ所に表示することができます。

アイコンサイズを変更すると、「サムネイルを表示サイズに合わせてつくりなおしますか？」というダイアログが表示されます。



このとき [はい (Y)] を選ぶと変更された大きさに合わせて、サムネイルを高画質で作り直します。[いいえ (N)] を選ぶと元に表示されていたサムネイルを単純にサイズ変更します。

この場合のサムネイルの画質は落ちますが、作業時間はかかりません。

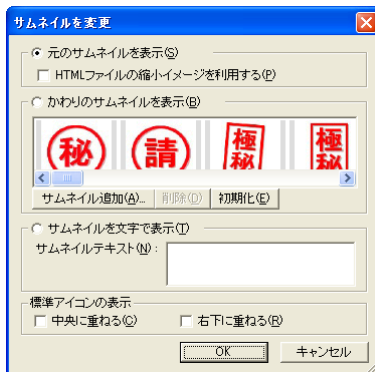
4.3.8 サムネイル変更 (X)

ダウンロード Ninja で取り扱われるファイルにはアイコンがつきます。グラフィックスファイルなどでは、その縮小イメージ (サムネイル) が自動的に貼り込まれ、ページやサウンドなどのファイルにはそのデータ種類を表わすアイコンが表示されます。このアイコンの画像を別のもの変更したり、代わりに文字列を表示したりすることもできます。実際のデータがどのようなものなのか、他人に知られたくないときに便利な機能です。

HTML ファイルの場合、その HTML ファイル自身に貼り付けられている画像も選択できます。どのような HTML ファイルかわかりやすく、便利です。

サムネイルの変更は、次の手順で行ないます。

1. サムネイルを変更したいデータを選択します。
2. < 表示 (V) > メニューから < サムネイル変更 (X) > を選択するか、マウスのショートカットメニューから < サムネイル変更 (H) > を選択します。
3. 「サムネイルを変更」ダイアログが表示されます。サムネイルを変更する場合は、ダイアログ中央のサムネイルリストから変えたい絵を選び < OK > ボタンを選択します。



選択されたデータが HTML ファイルの場合、そのアイコンに貼り付けられている画像データもかわりのサムネイル候補として表示されます。HTML ファイル以外のデータが選択された場合は、右のようなダイアログが表示されます



展開可能な AVI ファイルや MPEG ファイルの時は [展開 (X)] ボタンが表示されます。クリックするとムービーファイルが展開され、そのムービーに含まれるコマをサムネイルに使用することができます

■元のサムネイルを表示 (S)

いったん変更したアイコンを元の（オリジナルの）サムネイルに戻します。

■ HTML ファイルの縮小イメージを利用する (P)

このチェックボックスをオンにすると、表示される HTML ファイルの縮小イメージをサムネイルとして表示します。

※一部の OS のバージョンでは、正しく表示されない場合があります。

■サムネイル追加 (A)

ハードディスクなどにある画像ファイルを、サムネイルとして使う場合に選びます。

■削除 (D)

サムネイルリストから選択しているサムネイルを削除します。

■初期化 (E)

追加や削除したサムネイルを初期化し、インストール時の状態に戻します。

■サムネイルを文字で表示 (T)

サムネイルのかわりに文字を表示します。＜サムネイルテキスト (V) ＞に表示したい文字列を入力して＜ OK ＞を選択します。



■標準アイコンを中央に重ねる (C)、右下に重ねる (R)

変更したサムネイルにデータの種類を示す小さなアイコンを中央または右下に表示させることができます。



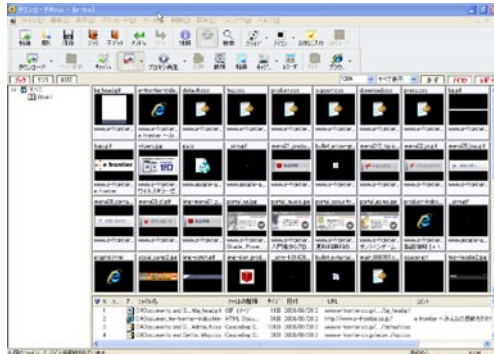
中央に重ねた場合



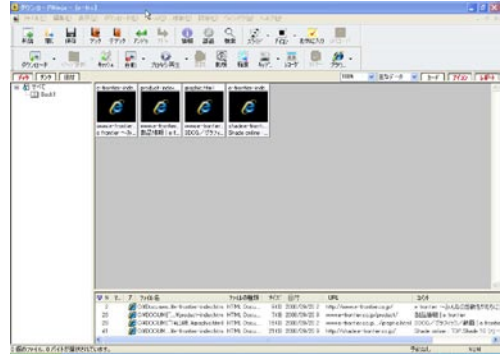
右下に重ねた場合

4.3.9 部品を表示する (P)

部品の表示 / 非表示を選択します。



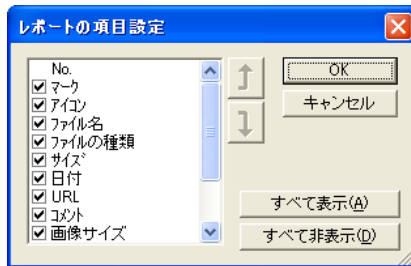
部品表示オン



部品表示オフ

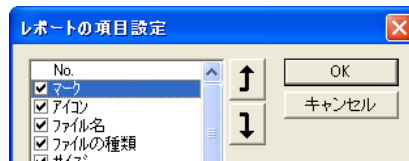
4.3.10 レポートウィンドウの表示項目編集 (H)

レポートウィンドウに表示する項目を編集します。「レポートの項目設定」ダイアログが表示されます。チェックマークが付いている項目を表示します。



■すべて表示 (A)

すべての項目を表示します。



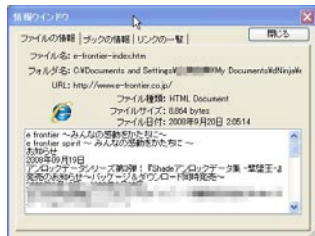
■すべて非表示 (D)

「No.」以外のすべての項目を表示しません。

項目を選択して上下矢印ボタンをクリックすると、表示する項目の順番を入れ替えることができます

4.3.11 情報ウィンドウ (F)

情報ウィンドウを表示します。ファイル、ブック、リンクの一覧を参照することができます。



ファイルの情報



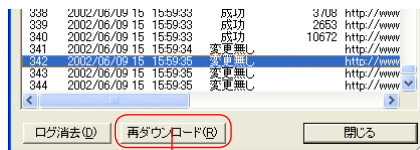
ブックの情報



リンクの一覧

4.3.12 ダウンロードログ (G)

ダウンロードの結果を記したログファイルを表示します。



ダウンロードに失敗したり、重複、変更がなかったと判断されたファイルは、ここから再ダウンロードすることができます

各項目名をクリックすると、その項目をキーに整列させることが可能です。

1回クリックすると昇順に、もう一度クリックすると降順に整列されます。

元の順番に戻したいときは、「No」の項目をクリックします。

また、取り込み作業中にこのウィンドウを表示させておくと、取り込み作業の詳細なステータスを確認することができます。

ログウィンドウに表示されるデータを消去したい場合は、<ログ消去 (D)>を選んでください。

■No.

取り込みが行なわれた順番を、番号で示します。

■開始

取り込みを開始した時間を示します。

■終了

取り込みが終了した時間を示します。

■結果

取込の結果を示します。

■再試行

再試行した回数を示します。

■サイズ

取り込んだファイルのサイズを示します。

■URL

取込先の URL を示します。

■Internet Result

Web サーバが返してきた情報やエラーの詳細を示します。

4.3.12.1 ログウィンドウから実行できる機能

ログウィンドウの「結果」に「失敗」と表示されたものは再度試みると取り込むことができるかもしれませんが。

1. ダウンロードログウィンドウの中から再試行したいものを選びます。
2. ショートカットメニューから<再取り込み (D)>を選びます。

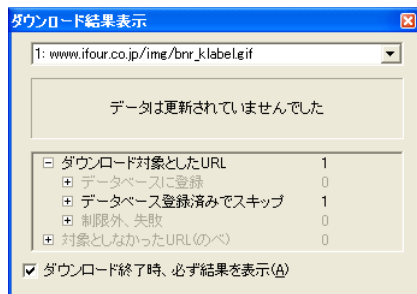
連続している範囲を指定する場合は、先頭のものを選んだ後、一番最後のものを Shift キーを押しながらかlickします。

不連続の範囲を指定する場合は、Ctrl キーを押しながらかlickします。

ログウィンドウの内容は、ダウンロード Ninja を終了すると自動的に消去されてしまいます。

4.3.13 前回のダウンロードの結果 (E)

「ダウンロード結果表示」ダイアログを表示します。



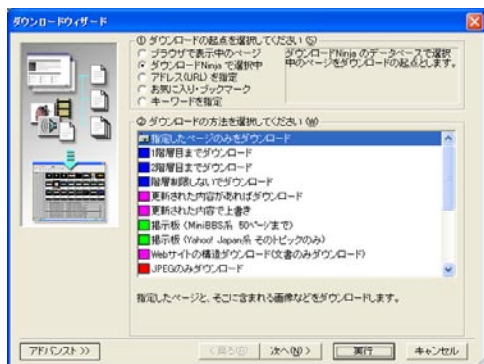
4.4 ダウンロード (D) メニュー

ファイルダウンロードに関するコマンドが用意されています。

4.4.1 ダウンロードウィザード (W)

データ取り込みにあたって、各種オプションをウィザード形式で選択することができます。

4.4.1.1 第1ページ



■ダウンロードの起点を選択してください (S)

何をダウンロードの起点にするかを選択します。

ブラウザで表示中のページ
ダウンロード Ninja で選択中
URL を直接指定
お気に入り・ブックマーク
キーワードを指定

Web ブラウザで表示中のページ
ダウンロード Ninja で選択中のファイル
次の画面で URL を入力します
Web ブラウザに登録されているページ
指定したキーワードで検索し、該当したページ

■ダウンロードの方法を選択して下さい (W)

ページの取込方法を選択します。

指定したページのみをダウンロード

指定したページと、そこに含まれる画像などを取り込みます。

1 階層目までダウンロード

指定したページから直接リンクしているページをすべて取り込みます。

2 階層目までダウンロード

指定したページのあるディレクトリ以下にあるファイルのうち、リンク 2 階層目までのファイルを取り込みます。

階層制限しないでダウンロード

指定したページのあるディレクトリ以下にあるファイルを、リンクをたどって可能な限り取り込みます。

更新された内容があればダウンロード

取込済みのデータと同じ URL に新しいデータがあった場合、別データとして取り込みます。

更新された内容で上書き

取込済みのデータと URL が同じデータがあった場合、上書きします。

掲示板 (MiniBBS 系 50 ページまで)

MiniBBS 系の掲示板を取り込みます。

掲示板 (Yahoo! Japan 系 そのトピックのみ)

Yahoo! Japan などの掲示板で、指定されたページと同じトピックの投稿を取り込みます。

Web サイトの構造ダウンロード (文書のみダウンロード)

HTML などのテキストデータのみを対象とし、Web サイトの構造のみを取り込みます。

JPEG のみダウンロード

指定したページの JPEG 画像のみを取り込みます。

JPEG のみダウンロード (1 階層目まで /15KB 以上のもの)

指定したページのディレクトリ以下を 1 階層だけ探索し、解像度の高い写真を中心に集めます。

ポッドキャストダウンロード

ポッドキャストされている音声や映像を取り込みます。

Audio/Video とその説明のみダウンロード

MP3 や Video ファイルを、そのリンク元の文章と一緒に取り込みます。

連番ダウンロード

ファイル名が連番になっているようなページや画像を取り込みます。

リンクの文字列を指定してダウンロード

リンクに含まれる文字を指定してリンクをたどります。

起点のページは検索エンジンの結果

検索エンジンの結果を取込の起点にします。

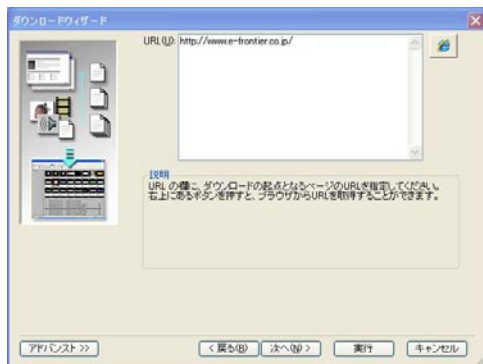
検索エンジンにキーワードを渡して検索

ダウンロード Ninja に登録されている検索エンジンにキーワードを渡し、ヒットしたページを自動的に取り込みます。

キャッシュから取込

Web ブラウザのキャッシュに残っているページを取り込みます。

4.4.1.2 第 2 ページ



■URL (U)

取り込み先の URL を指定します。通常は、ブラウザで表示されているページの URL か、アイコンウィンドウで選ばれているページの URL があらかじめセットされています。この URL を削除し、取り込みたい URL を直接記述することも可能です。

右端にブラウザアイコンのついたボタンがあります。このボタンを選び <ブックマークから (B)> のサブメニューから、お使いの Web ブラウザに登録してあるブックマーク (Firefox)、お気に入り (Internet Explorer) の URL を呼び出すことが可能です。

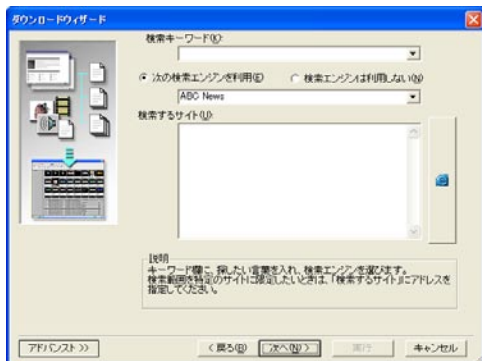
また、メニューの上方には、現在ブラウザが表示しているページの URL が表示されます。これを選んで URL を指定することもできます。Firefox をお使いの際、(1) 現在複数の Web ブラウザが起動している、(2) 現在表示中のページに複数のフレームがあるといった場合、ここにそれらの URL も表示されます。

第 1 ページで <ダウンロードの起点を選択してください (S) > に <お気に入り・ブックマーク> を指定すると、お使いの Web ブラウザのお気に入りまたはブックマークを読み込んで、そのリストが表示されます。

ここから取り込みたいページを選択してください。



第 1 ページで <ダウンロードの起点を選択してください (S) > に <キーワードを指定> を指定すると、検索キーワードを指定する画面が表示されます。検索キーワードや検索エンジン等を指定してください。



■検索キーワード (K)

探したい言葉を指定します。

■次の検索エンジンを利用 (E)

<検索キーワード (K) > で指定した検索キーワードを、検索エンジンを使って検索し、該当するページを起点としてダウンロードを行います。

この項目を選択した場合は、下のドロップダウンリストから使用する検索エンジンを指定します。

■検索エンジンは利用しない (N)

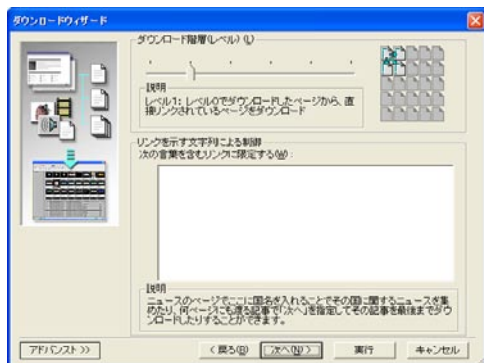
下の<検索するサイト (U)>に指定したサイト内を<検索キーワード (K)>に指定した検索キーワードで次の第3ページで指定する階層分だけ検索し、該当するページを取り込みます。

■検索するサイト (U)

特定のサイト内のみを検索する場合、そのサイトの URL を指定します。

なお、<検索エンジンは利用しない (N)>を選択した場合は、必ず指定する必要があります。

4.4.1.3 第3ページ



■ダウンロード階層 (レベル) (L)

取り込む階層のレベルを設定することができます。

- | | |
|-------|--|
| レベル 0 | 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこに埋め込まれている画像などを取り込みます。リンク先のページは取り込みません。 |
| レベル 1 | 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこから直接リンクされているページを取り込みます。 |
| レベル 2 | レベル1で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。 |
| レベル 3 | レベル2で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。 |
| レベル 4 | レベル3で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。 |
| レベル 5 | 中止するまで、際限なくリンクを追いかけて取り込みます。 |

注意！：レベル 2 以上でリンクするページを取り込む場合、そのページの数、必要なハードディスク容量、時間などが著しく増加します。使用にあたっては、十分ご注意ください。

■リンクを示す文字列による制御

ここで指定した語を含むリンクのみをたどることができます。

例えばニュースのページで国名を入れて、特定の国に関するニュースを集めたり、何ページにも渡る記事で、「次へ」を指定して、その記事を最後まで取り込んだりすることができます。

4.4.1.4 第4ページ



■場所 (P)

取り込む対象を設定することができます。

制限なし

すべての URL を取込対象とします。

そのディレクトリとサブディレクトリ

表示されている HTML (ページ) ファイルがあるディレクトリと、その下の階層のディレクトリを取込対象とします。

同一ドメインを含める

表示されている HTML ファイルがあるドメインに存在するディレクトリを取込対象とします。

異なる団体のみ

基準となる URL と違う団体にある URL のみ取り込みます。例えば e-frontier.co.jp を起点とした場合、e-frontier.jp、e-frontier.com や e-frontier.kr などのドメインは同一団体と見なし、取り込みません。

■RSS/RDF を自動的に取り込む

RSS や RDF からリンクされているページを取り込む際に、上記の「場所 (P)」の制限と、第3ページで設定した階層の数え方が変わります。

オンの場合

RSS/RDF からリンクされているページについては、場所の制限を受けません。

RSS/RDF からリンクされているページを 0 階層と数えます。

オフの場合

RSS/RDF からリンクされているページについても、場所の制限を受けません。

RSS/RDF からリンクされているページについても、通常のページと同じように数えます。

4.4.1.5 第5 ページ



取り込みたいデータの種類を選択します。

4.4.1.6 第6 ページ



■同じ URL のデータがデータベース内に存在する場合の動作

同じ URL のデータがデータベースに既に存在している場合の動作について設定します。

上書き

取込先の URL が更新されているとき、ダウンロード Ninja で取込済みの物に上書きします

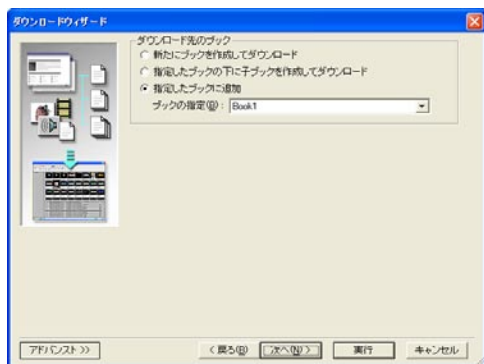
別データ

ダウンロード Ninja で取込済みのデータよりも新しかった場合はダウンロードを行ない、別のデータとして保存します

ダウンロードしない

取込済みのデータと URL が同じデータは取り込みません

4.4.1.7 第7ページ



■ダウンロード先のブック

取り込んだデータをどのブックに保存するかを設定します。

■新たにブックを作成してダウンロード

取り込むデータがすでに取り込んだものに紛れないよう、新しくブックを作成し、そこに取り込みます。この場合、一番上の層にブックが作られます。

■指定したブックの下に子ブックを作成してダウンロード

保存先ブックの下に子ブックを作成して、そこに取り込みます

■指定したブックに追加

保存したいブックを選択します。〈ブックの指定 (B)〉で選択できます

4.4.1.8 第8ページ



■予約の名前 (T)

予約取込をする場合、予約の名前を入力します。

■時間の指定 (W)

ダウンロードを開始するタイミングを設定します。

■標準タイマー時間

〈機能(O)〉-〈ダウンロード予約(D)〉-〈リスト編集(E)〉コマンドで設定してある、標準タイマー時間を使用します。標準タイマー時間とは、通常使用する予約取り込みの開始時間をいいます。

■開始時刻 (S)

標準タイマーを使用しない予約取込を行なう場合は、ここで開始時刻を設定します。

■実行間隔 (I)

取込を行なう間隔を設定します。

■曜日 (D)

取込を行なう曜日を設定します。

■時間による制限 (L)

データを取り込む時間を制限します。取り込み対象となる大量のデータの量が多く、時間がかかるときなど、このオプションをオンにし、時間を区切って作業をさせることが可能です。

■終了時、データベースを自動保存 (S)

このオプションをオンにしておくと、取込が終了したときに自動的にデータベースのファイルを保存します。

■終了時、Windows を終了する (X)

このオプションをオンにしておくと、取込が終了したときに自動的に Windows を終了します。ただし、お使いのコンピュータが自動終了に対応している必要があります。

4.4.1.9 第 9 ページ



■認証が必要なページをダウンロード (A)

認証が必要なページにアクセスする場合、ここを選択し、<ユーザー ID (I) >や<パスワード (P) >を設定します。

■ダウンロード中にはパスワードを入力しない (D)

取込中に認証の必要なページに当たり、かつそのページのユーザー ID とパスワードが登録されていない場合、ユーザー ID とパスワードを尋ねる認証ダイアログが表示されます。このチェックボックスをオンにしておくと、そのダイアログを表示しません。

■認証リストの編集 (E)

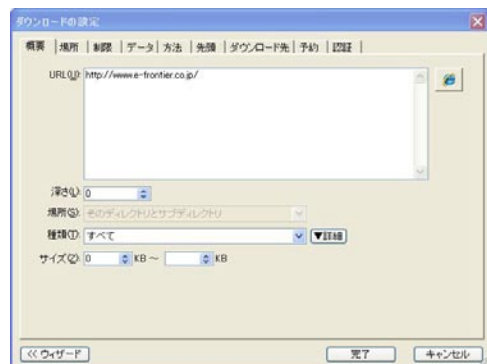
ダウンロード Ninja に登録してある ID とパスワードのリストを編集します。

4.4.2 「ダウンロードの設定」ダイアログ

「ダウンロードの設定」ダイアログでは、各種指定をダイアログ内のタブ形式で行ないます。「ダウンロードウィザード」に対し、より上級のユーザーの方向きにデザインされています。

<設定 (C) >メニュー<一般設定 (R) >の「一般」タブで<ダウンロードウィザードを使う (W) >オプションをオンにすると「ダウンロードウィザード」が、オフにすると「ダウンロードの設定」ダイアログが採用されます。また、ダウンロードウィザードで<アドバンスト>>>を選択すると、一時的に「ダウンロードの設定」ダイアログが表示されます。

4.4.2.1 「概要」タブ



「概要」タブには、他のタブに移って設定する不便を回避するため、他のタブで定義できるものの簡易機能が割り付けられています。これらは連動していますので、目的に合わせて設定してください。

また「概要」タブの「URL (U)」に何かデータを入れておかないと、別のタブを選ぶことができません。

■URL (U)

取り込み先の URL を指定します。

通常は、ブラウザで表示されているページの URL か、アイコンウィンドウで選ばれているページの URL があらかじめセットされています。この URL を削除し、取り込みたい URL を直接記述することも可能です。

右端にブラウザアイコンのついたボタンがあります。このボタンを選び<ブックマークから (B) >のサブメニューから、お使いの Web ブラウザに登録してあるブックマーク (Firefox)、お気に入り (Internet Explorer) の URL を呼び出すことが可能です。

また、メニューの上方には、現在ブラウザが表示しているページの URL が表示されます。これを選んで URL を指定することもできます。Firefox をお使いの際、(1) 現在複数の Web ブラウザが起動している、(2) 現在表示中のページに複数のフレームがある、といった場合、ここにそれらの URL も表示されます。

■深さ (L)

どの階層まで取り込むかを入力します。0 階層から 4 階層までが選択でき、5 を選ぶと無制限に取り込みます。

■場所 (S)

基準となる URL から、どの範囲までを取り込むか設定します。

■種類 (T)

取り込むデータの種類を指定します。よく使う設定がドロップダウンリストに一覧されています。この中に希望するものがある場合は、一覧から選びます。

さらに細かい設定を希望する場合は、[詳細] ボタンを選んで設定します。

すべて

すべてのデータを取り込みます

JPEGのみ

JPEG の画像データのみ、取り込む設定です

MP3のみ

MP3 ファイルのみ、取り込む設定です

文書のみ

HTML 文書のみ取り込みます。画像や音声など、その他のデータは取り込まない設定です

プログラム類を除外

実行ファイル類を取り込まない設定です

音、動画、プログラム類を除外

サウンドやムービー、実行ファイルといったサイズが大きめのファイルを取り込まない設定です

音、動画は Windows 系、プログラム類を除外

Windows 系のサウンドやムービーを取り込みます。実行ファイルは取り込みません

音、動画は Mac 系、プログラム類を除外

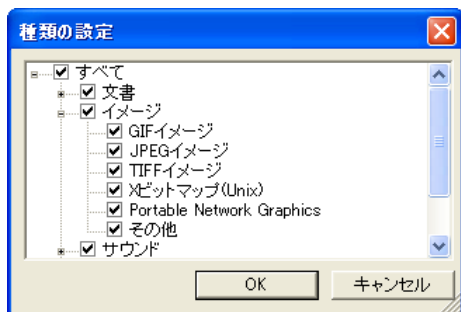
Macintosh 系のサウンドやムービーを取り込みます。実行ファイルは取り込みません

音、動画は Unix 系 / 汎用、プログラム類を除外

Unix や汎用のサウンドやムービーを取り込み、実行ファイルは取り込みません

■▼詳細

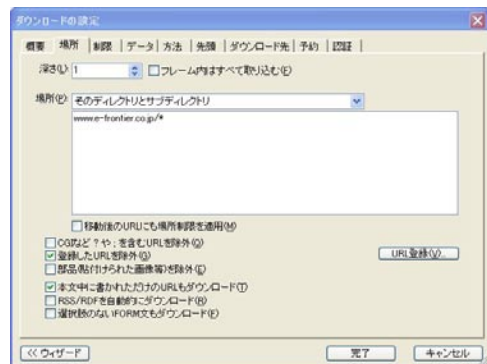
クリックすると「種類の設定」ダイアログが表示されます。ツリー内の「+」マークをクリックすると、さらに細かいデータ形式を設定することができます。取り込みたくないデータは、チェックボックスをオフにしてください。



■サイズ (Z)

取り込むデータの最小サイズ、最大サイズを設定します。

4.4.2.2 「場所」 タブ



■深さ (L)

取り込む階層のレベルを設定することができます。0 階層から 4 階層までが選択でき、5 を選ぶと無制限に取り込みます。

- 0 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこに埋め込まれている画像などを取り込みます。リンク先のページは取り込みません。
- 1 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこから直接リンクされているページを取り込みます。
- 2 深さ 1 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- 3 深さ 2 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- 4 深さ 3 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- 5 中止するまで、際限なくリンクを追いかけて取り込みます。

注意！：深さ 2 以上でリンクするページを取り込む場合、そのページの数、必要なハードディスク容量、時間などが著しく増加します。使用にあたっては、充分ご注意ください。

■フレーム内はすべて取り込む (F)

同一フレームに呼び出すデータをレベルに関係なくすべて取り込みます。

■場所 (P)

基準となる URL から、どの範囲までを取り込むか設定します。

制限なし

リンク先など、どのような URL でも取り込みます。

そのディレクトリとサブディレクトリ

基準となる URL のディレクトリ内のファイルを取り込みます（その下の階層を取り込む設定の場合は、その下のディレクトリも含みます）。

同一サーバを含める

基準 URL と同一のサーバにある URL のみ取り込みます。

同一ドメインを含める

基準となる URL と同じドメインの URL のみ取り込みます。

同一団体を含める

基準となる URL と同じ団体の URL のみ取り込みます。例えば e-frontier.co.jp を起点とした場合、e-frontier.jp、e-frontier.com や e-frontier.co.kr などのドメインを同一団体と見なし、取り込みます。

異なるサーバ

基準となる URL と異なるサーバの URL のみ取り込みます。

異なるドメイン

基準となる URL と違うドメインにある URL のみ取り込みます。

異なる団体

基準となる URL と違う団体にある URL のみ取り込みます。例えば e-frontier.co.jp を起点とした場合、e-frontier.jp、e-frontier.com や e-frontier.co.kr などのドメインは同一団体と見なし、取り込みません。

同ースクリプトから下

Yahoo! 掲示板を取り込むために用意された設定です。URL から判断して、これらの設定が使えるような場合に試してみてください。

■移動後の URL にも場所制限を適用 (M)

このチェックボックスがオンになっていると、サーバーが別の URL を参照するように応答したときにも、移動先に場所の制限を適用します。

■ CGI など? や ; を含む URL を除外 (Q)

このチェックボックスをオンにすると、CGI などで生成される、「?」や「;」を含む URL を取り込みません。広告バナーなどがこれにあたります。

ただし、掲示板サービスを行なうサーバには、CGI で生成される「?」や「;」を含む URL が見られます。このようなページを取り込みたい場合、このオプションをオフにしておいてください。

■登録した URL を除外 (G)

このチェックボックスがオンになっていると、登録してある URL を除外して取り込みます。[URL 登録 (V)] ボタンをクリックすると、取り込み除外する URL を登録することができます。

例えばホームページ上にあるバナーのリンク先を取り込みたくない場合など、任意の名前を <名前 (N) > に指定し、取り込みたくない URL を < URL パターン (P) > に設定します。<このディレクトリ以下すべて (S) > をチェックしておくこと、除外したページ以下のディレクトリにあるリンクも取り込みません。

■部品 (貼り付けられた画像等) を除外 (E)

このチェックボックスがオンになっていると、部品は一切取り込まず、本体となる HTML ファイルだけを取込みます。

■本文中に書かれただけの URL もダウンロード (T)

このチェックボックスがオンになっていると、リンクはされていないけれども、本文中に書かれている URL も取込の対象にします。

■RSS/RDF を自動的にダウンロード (R)

RSS や RDF からリンクされているページを取り込む際に、上記の「場所 (P)」の制限と、第 3 ページで設定した階層の数が変わります。

オンの場合

RSS/RDF からリンクされているページについては、場所の制限を受けません。
RSS/RDF からリンクされているページを 0 階層と数えます。

オフの場合

RSS/RDF からリンクされているページについても、場所の制限を受けます。

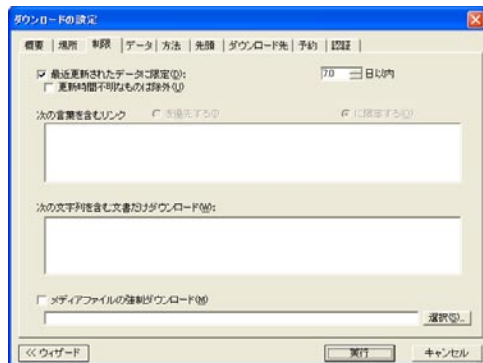
RSS/RDF からリンクされているページについても、通常のページと同じように数えます。

■選択肢のないFORM 文もダウンロード (F)

画像へのリンクに FORM 文を使った画像掲示板などで、リンク先の画像やページを取り込む場合にオンにします。取り込みの対象となるのは、入力欄や選択肢などが無い FORM 文にある「submit」や「image」でリンクされているデータです。

注意！：FORM 文の submit や image は、掲示板の「削除」ボタン等にも使用されていることがあり、意図しない動作をすることもありますのでご注意ください。

4.4.2.3 「制限」 タブ



■最近更新されたデータに限定 (D)

このチェックボックスがオンになっていると、取り込むデータを、最近になって更新されたデータに限定します。何日以内のデータを取り込むかを設定します。

■更新時間不明なものは除外 (U)

このチェックボックスがオンになっていると、更新時間が不明なデータはダウンロードしません。

■次の言葉を含むリンク

リンク文字列（リンクが設定されている部分の文字列）に、特定の言葉が含まれているリンク先のみを取り込んだり、優先して取り込んだりする場合に、その言葉を入力します。

- | | |
|-----------|---------------------|
| を優先する (I) | 該当するリンク先を、先に取り込みます。 |
| に限定する (O) | 該当するリンク先のみを取り込みます。 |

■次の文字列を含む文書だけダウンロード (W)

特定の文字列を含む文書データのみを取り込む場合は、その文字列を入力します。

■メディアファイルの強制ダウンロード (M)

このチェックボックスがオンになっていると、取り込み中のページからリンクされている特定の形式のファイルを、[場所] タブの「深さ」の設定に関係なく、強制的に取り込みます。取り込むファイル形式の指定は、[選択] ボタンをクリックして設定します。

4.4.2.4 「データ」 タブ



■種類 (K)

「概要」タブの<種類 (T)>での設定を、さらに細かく行ないたい場合に使います。

取り込むデータの種類をチェックして指定します。さらに細かい設定を希望する場合は、[詳細] ボタンを選んで設定します。

■サイズ (S)

取り込むデータの最小サイズ、最大サイズを設定します。

「方法」タブの「ダウンロードする際のアクセス方法 (A)」で「ブラウザ経由でダウンロード」を選択した場合は設定できません。

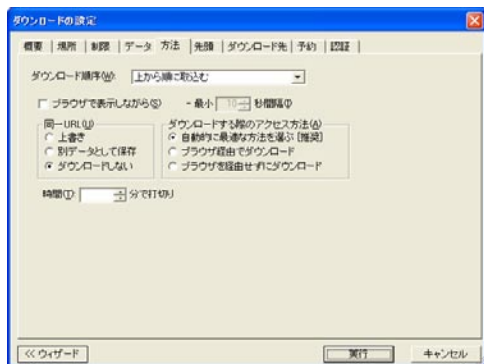
■指定サイズを超えるまでダウンロード (V)

<サイズ (S)>で最大サイズの設定があるときに、選択できるようになります。このチェックボックスがオンになっていると、指定したサイズを超えるまでデータを取り込み、そのサイズを超えると次のファイルへ移動します

■リンク元の文書だけはダウンロード (L)

<種類 (K)>で「文書」のチェックボックスがオフになっていると、選択できるようになります。チェックボックスがオンになっていると、リンク元の HTML 文書に取り込みたい種類のデータを見付けた場合、その HTML 文書を取り込みます。

4.4.2.5 「方法」 タブ



■ダウンロード順序 (W)

データの取り込みの方法を指定します。

上から順に取込む

データをページの上から順に取り込みます

下から順に取込む

データをページの下から順に取り込みます

真ん中から取込む

データをページの真ん中から取り込みます

ランダム (全くランダム)

データを順不同で取り込みます

ランダム (異なるサイトを優先)

異なるサイトのデータを優先して取り込みます

■ブラウザで表示しながら (S)

このチェックボックスがオンになっていると、データを取り込む際に、Web ブラウザに表示しながら取り込みます。

■最小〇〇秒間隔 (I)

取り込むデータを Web ブラウザに表示しながら取り込むときの次のページに移るまでの表示間隔を設定します。

■同一 URL (U)

同じ URL のデータがデータベースに既に存在している場合の動作について設定します。

上書き

取込先の URL が更新されているとき、ダウンロード Ninja で取込済みの物に上書きします

別データとして保存

ダウンロード Ninja で取込済みのデータよりも新しくなった場合はダウンロードを行ない、別のデータとして保存します

ダウンロードしない

取込済みのデータと URL が同じデータは取り込みません

■ダウンロードする際のアクセス方法 (A)

ダウンロード Ninja が取り込みを行なう際の、取り込み方法を選択します。

自動的に最適な方法を選ぶ

ダウンロード Ninja が最適と思われる取り込み方法を、自動的に判断して取り込みを行ないます。通常は、この設定をお勧めします。

ブラウザ経由でダウンロード

Web ブラウザのキャッシュからデータを取り込みます。

取り込みたいデータがかって Web ブラウザで表示させたことがあり、Web ブラウザのキャッシュファイルの中にあることがわかっている場合は、このオプションを選ぶと高速に取り込みが行なえます。

また、https などの、http 以外のプロトコルで取り込みを行なう場合、こちらの設定を選びます。

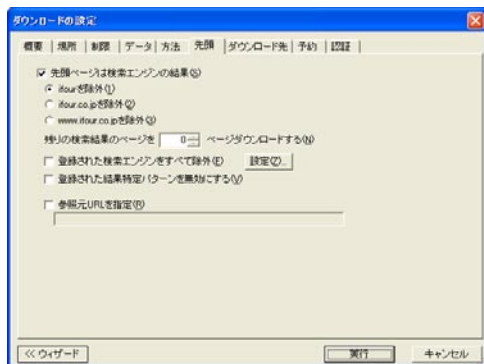
ブラウザを経由せずにダウンロード

ダウンロード Ninja で、直接データを取り込みます。

■時間 (T)

取り込みの実行に時間制限を設けます。タイマー予約で取り込む場合など、間違って膨大なデータをダウンロードしてしまうことを防止できます。

4.4.2.6 「先頭」タブ



■先頭ページは検索エンジンの結果 (S)

一般的な検索エンジン（サービスのサーバ）では、検索条件を与えると、その条件に該当するサイトの一覧ページが返ってきます。

このページの検索結果を先頭ページとして扱う場合、<先頭ページは検索エンジンの結果 (S)>をオンにしておきます。

どのレベルまで対象とするかを、三つの選択肢から選ぶことができます。

■残りの検索結果ページを○ページダウンロードする (N)

検索させた条件に該当するサイトがたくさんある場合、検索エンジンは複数にわたるページを返してきます。このようなとき、一般的には、後のページほど、検索精度が下がってきます。

精度が低いと思われるサイトを取り込みたくないときには、「残りの検索結果ページを○ページ取り込む (N)」オプションを使って、取り込み対象とするページに制限を加えると良いでしょう。

注意！:検索エンジンによっては、正しく動作しないことがあります。また、検索エンジンのページがアップデートされて、突然動作しなくなる可能性があります。

■登録された検索エンジンをすべて除外 (E)

このチェックボックスがオンになっていると、検索エンジンの結果を取り込む場合、登録されている検索エンジン自身を取り込まないようにします。

【設定 (Z)】 ボタンを選ぶと、デフォルトで設定されている検索エンジンの名前の確認や、新たな検索エンジンの登録が可能です。

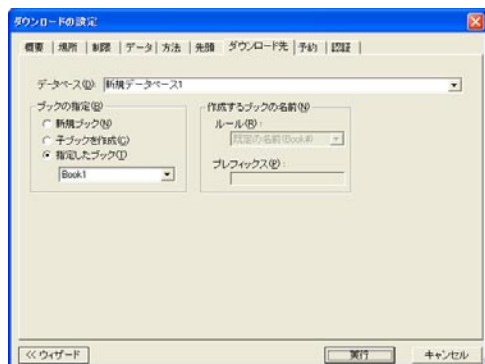
■登録された結果特定パターンを無効にする (V)

ダウンロード Ninja は、いくつかの検索エンジンに対して特別な対応情報を持っています。検索エンジンのページがアップデートされた時、これが災いして、突然動作しなくなる可能性があります。そのような時は、このチェックをオンにして試してみてください。

■参照元 URL を指定 (R)

参照元 (リファラ、Referer) の URL を指定しないと取り込めない場合に、必要な参照元 URL を指定します。

4.4.2.7 「ダウンロード先」 タブ



取り込むデータがすでに取り込んだものに紛れないよう、取り込み時にどのブックに登録するか、設定することができます。

■データベース (D)

ダウンロード Ninja のどのデータベースファイルに登録するかを設定します。

■ブックの指定 (B)

データベースファイルのどのブックに登録するかを設定します。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 新規ブック (N) | 新しいブックを作成して、データを登録します |
| 子ブックを作成 (C) | 新しい子ブックを作成して、データを登録します |
| 指定したブック (T) | 指定したブックに、データを登録します |

■作成するブックの名前 (N)

ブックを作成するときに、ブックの名前をどのようにするかを設定します。

既定の名前 (Book#)

「Book# (# は数字)」という名前のブックを作成します。

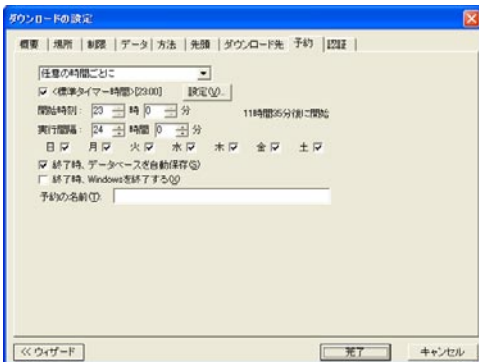
日付を名前に

日付を名前にしたブックを作成します。「プレフィックス (P)」に文字列を入力し、特定の文字列で始まるブック名にすることもできます。

日時を名前に

日時を名前にしたブックを作成します。「プレフィックス (P)」に文字列を入力し、特定の文字列で始まるブック名にすることもできます。

4.4.2.8 「予約」 タブ



予約取り込みを行なう際の設定が、まとめられています。

今すぐダウンロード
あとでダウンロード予約実行
タイマー予約で 1 回だけ
1 日 1 回
○時間ごとに
任意の時間ごとに
ダウンロード予約実行ごとに

[実行] ボタンを選ぶと、すぐに取り込みを開始します
予約実行取込予約のリストに加えます
タイマーで設定した時間に、1 回だけ取り込みます
毎日、決められた時間に取込を実行します
決められた時間ごとに、定期的に取り込みます
任意の時間ごとに、定期的に取り込みます
<機能 (O) > - <ダウンロード予約 (D) > - <予約実行 (X) >
を実行するごとに取り込みます

■標準タイマー時間

標準タイマー時間を使用する場合、チェックします。

標準タイマー時間とは、通常使用する標準的な予約取り込み開始時間をいいます。テレホーダイを利用している場合は、23 時から 8 時までの時間に取込みを行なう場合が多いでしょうから、この時間帯を「標準タイマー時間」に指定しておくとう便利です。

[設定 (V)] ボタンを選んで、標準タイマー時間を設定することができます。<機能 (O) >メニューの <ダウンロード予約 (D) > - <リスト編集 (E) > コマンドでも、標準タイマー時間を設定できます。

標準タイマーを使用しない予約取込を行なう場合は、「標準タイマー時間」チェックボックスをオフにし、「開始時刻」で取り込む時間を設定します。

■実行間隔

取込を行なう間隔を設定します。

■曜日

複数回、曜日を指定して取り込みを行ないたい場合、取り込む曜日を指定します。

■終了時、データベースを自動保存 (S)

このチェックボックスをオンにしておくと、取り込みが終了後、自動的にデータベースファイルを保存します。大量の取り込み作業を行なう際に、使うとう便利です。

■終了時、Windowsを終了する (X)

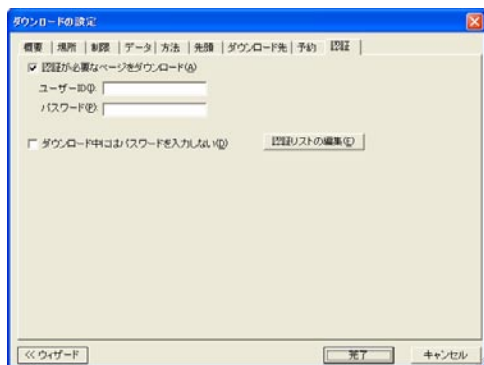
予約取り込みが終了すると、Windowsを自動的に終了します。お使いのコンピュータが自動終了に対応している必要があります。

自動終了の際、他のアプリケーションで行なわれている処理などに影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■予約の名前 (T)

設定した予約取り込みに名前を付けます。

4.4.2.9 「認証」 タブ



各種有料サービスのページは、ログインする際に ID やパスワードの入力を求められます。このタブに、これらを設定しておくこと、取り込み時に自動的に ID やパスワードが入力されます。

■認証が必要なページをダウンロード (A)

このチェックボックスをオンにし、<ユーザー ID (I) >と<パスワード (P) >を設定しておくこと、認証が必要なページにアクセスし、データを取り込むことができます。

■ダウンロード中にはパスワードを入力しない (D)

取込中に認証の必要なページに当たり、かつそのページのユーザー ID とパスワードが登録されていない場合、ユーザー ID とパスワードを尋ねる認証ダイアログが表示されます。このチェックボックスをオンにしておくと、そのダイアログを表示しません。

■認証リストの編集 (E)

ダウンロード Ninja に登録してある ID とパスワードのリストを編集します。

4.4.3 ブラウザが表示中のページをダウンロード (B)

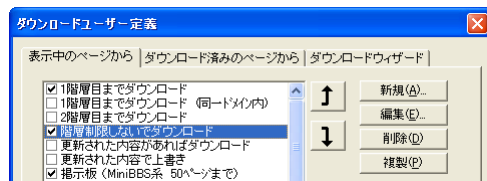
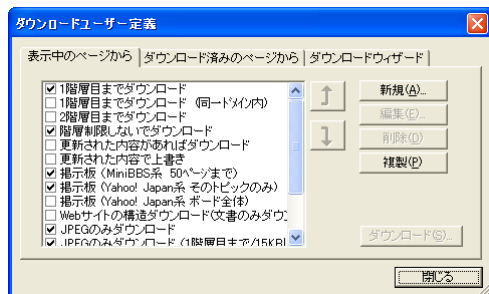
現在、Web ブラウザで表示中のページを起点として、ダウンロードします。
ダウンロードするレベルやデータの種類をサブメニューで指定できます。

4.4.4 選択中ページとリンク先をダウンロード (L)

現在、ダウンロード Ninja で選択中のページを起点として、ダウンロードします。
ダウンロードするレベルやデータの種類のサブメニューで指定できます。

4.4.5 ユーザー定義の編集 (E)

「ダウンロードユーザー定義」ダイアログを表示します。「4.4.3 ブラウザが表示中のページをダウンロード (B)」、「4.4.4 選択中ページとリンク先をダウンロード (L)」のサブメニューやダウンロードウィザードの第 1 ページで表示されるダウンロードするレベルやファイルの種類などの条件を選択したり、編集・新規作成することができます。自分だけの定義を作って、ダウンロードすることができます。



項目を選択して上下矢印キーをクリックすると、
順番を入れ替えることができます。

■新規 (A)

新しい定義を作成します。

■編集 (E)

既存の定義を編集します。

■削除 (D)

選択した定義を削除します。

■複製 (P)

既存のダウンロード定義を複製します。既存のダウンロード定義を元にして、新たな定義を作成する際に便利です。

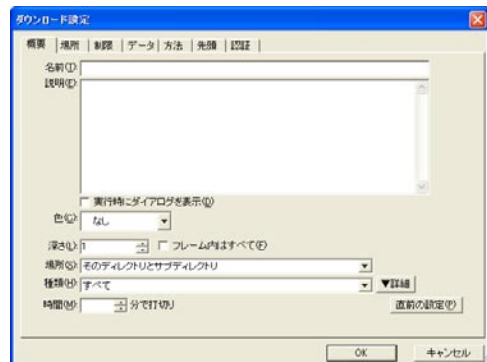
■ダウンロード (S)

選択したダウンロード定義に従って、ダウンロードを実行します。

4.4.5.1 ユーザー定義の設定

[新規 (A)]、[編集 (E)]、[複製 (P)] を選ぶと「ダウンロード設定」ダイアログが表示され、定義を設定することができます。これは「4.4.2「ダウンロードの設定」ダイアログ」で説明したダイアログの一部を拡張した物です。設定方法については「4.4.2「ダウンロードの設定」ダイアログ」を参照してください。

ここではユーザー定義時に拡張される設定項目についてのみ、解説します。



■名前 (T)

ユーザー定義する一連の設定に付ける名前を入力します。この名前は、コマンドメニュー、ユーザー定義一覧ダイアログで使われます。

■説明 (E)

定義した取り込みについての説明を記入します。

■実行時にダイアログを表示 (D)

設定の一部を、取り込みを実行させることに変更したい、といった場合、このオプションを使います。オンにすると、ユーザー定義したコマンドを選ぶと、「ダウンロード設定」ダイアログが表示されます。

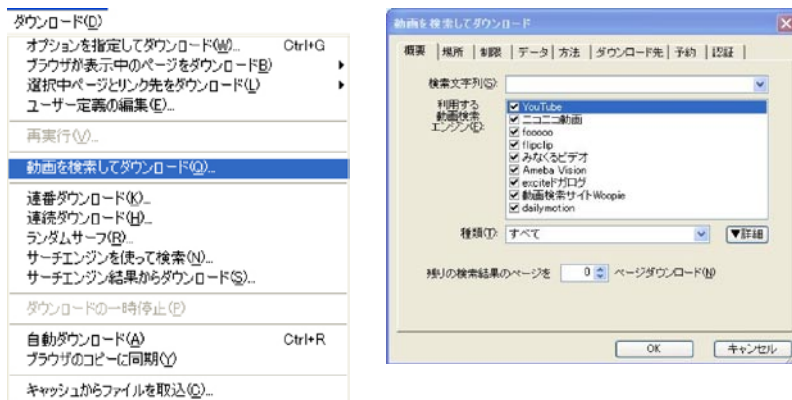
■色 (C)

ダウンロードウィザードのダウンロード方法のリスト表示に使う色を設定します。

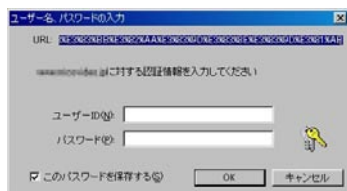
4.4.6 動画を検索してダウンロード (Q)

様々な動画サイトから、動画をキーワード検索をし、キーワードを含む動画を自動的に取り込んでいきます。

1. ダウンロード Ninja の<ダウンロード (D)>メニューから<動画を検索してダウンロード (Q)>を選びます。
2. 「動画を検索してダウンロード」ダイアログが表示されます。

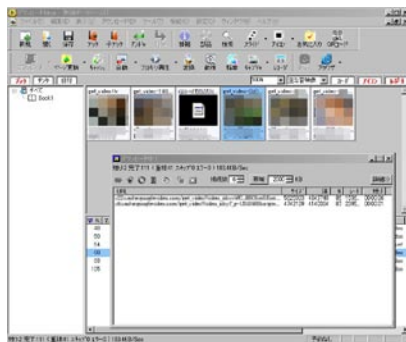


3. 検索したいキーワードを入力し、動画サイトにチェックを入れてOKを押します。ダウンロード Ninja に、キーワードを含む動画が自動的に取り込まれていきます。



※動画サイトによっては、ログインするための ID とパスワードを要求されることがあります。

※取り込まれた動画は表示バーの「主な音映像」で絞り込んで表示させることができます。また、動画の拡張子、「.flv」や「.mp4」、「.wmv」、「.mpg」などで判断することができます。

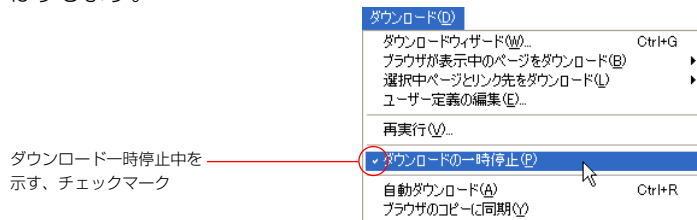


4.4.7 再実行 (V)

直前に行なったダウンロードを、同じ設定で再実行します。

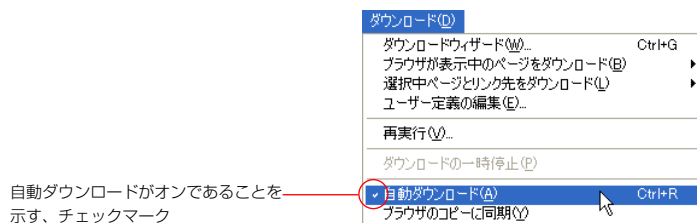
4.4.8 ダウンロードの一時停止 (P)

新規のダウンロードやブラウザ表示を一時停止します。ダウンロードの一時停止中は、チェックが付いた状態になっています。ダウンロードを再開するには、もう一度このコマンドを選択して、チェックをはずします。



4.4.9 自動ダウンロード (A)

自動ダウンロードをオンにすると、Web ブラウザで閲覧中のページを自動的に取り込んでいきます。自動ダウンロードをオフにするには、もう一度このコマンドを選択して、チェックをはずします。



4.4.10 ブラウザのコピーに同期 (Y)

ダウンロード Ninja が対応しているすべての Web ブラウザで、画像を右クリックしたときに表示されるメニューの<画像の場所をコピー>、<コピー>コマンドと同期させて、データを取り込むことができます。

1. ダウンロード Ninja の<ダウンロード (D)>メニューから<ブラウザのコピーに同期 (Y)>を選びます (チェックマークが表示され、この機能がオンになります)。
2. Web ブラウザに切り替え、画像を右クリックするか、テキストを範囲指定し右クリックします。
3. ショートカットメニューから、以下のコマンドを選びます。

Internet Explorer の場合：<コピー>



Internet Explorer 6 の場合

4. ダウンロード Ninja に、データが取り込まれます。

4.4.11 連番ダウンロード

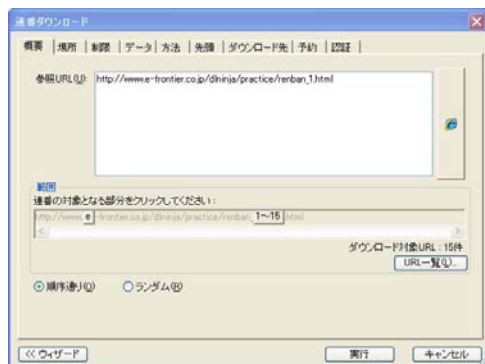
このコマンドは、<設定 (C)>—<一般設定 (R)>で表示される「一般設定」ダイアログの「一般」タブで「ダウンロードウィザードを使う (W)」をオフにしているときに表示されます。

写真を掲載しているようなホームページでは、画像ファイルが「image00.jpg」というような名前で、00、01、02、03……という風に連番が付けられていることが多いようです。連番の付いたファイルをいちいち指定して取り込むのは、大変な作業です。

こんな連番の付いたファイルを一気に取り込むのが連番ダウンロード機能です。画像ファイル自身にリンクなどが張られていなくても、順番に取り込みます。連番取込は 1000 個までの取込が可能です。

また数字の連番だけではなくアルファベットの連番 (index_a.html、index_b.html…など) や、複数部分の連番にも対応しています。

1. 取り込みたい連番ファイルの基準となるファイルがあれば、それを選択します。
2. <ダウンロード (D)>—<連番ダウンロード (K)>を選択します。
3. 「連番ダウンロード」ダイアログが表示されます。



■参照 URL (U)

連番ダウンロードの元となる URL を入力します。例えば、

<http://www.e-frontier.co.jp/image1/photo01.jpg>

から

<http://www.e-frontier.co.jp/image12/photo31b.jpg>

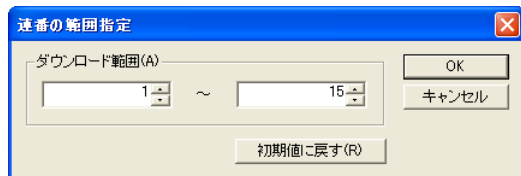
までを取り込むという場合は、通常は、一番最初のファイルの photo01.jpg を指定しますが、ここでは photo01a や photo01b にも対応するため、

<http://www.e-frontier.co.jp/image1/photo01a.jpg>

と入力すれば良いでしょう。フォルダ image1 から image12 までの数字は可変の 2 桁数字、photo01.jpg から photo31b.jpg までは固定の 2 桁数字とアルファベットが含まれています。ダウンロード Ninja では、このような連番もインテリジェントに判断します。indexa.html の「a」の部分で連番にしたい場合などは、連番部分と通常部分の間に、半角スペースを入力してください。

■範囲

何番から何番までを取り込むかを指定します。URL 中の連番となる部分をクリックして、範囲を指定します。



■URL 一覧 (L)

ファイル名のサンプルが表示されます。

■順序通り (O)

連番の順番通りにダウンロードします。

■ランダム (R)

対象となる URL が膨大になったとき、その中からランダムにダウンロードします。

4.4.12 連続ダウンロード

このコマンドは、<設定 (C)>—<一般設定 (R)>で表示される「一般設定」ダイアログの「一般」タブで「ダウンロードウィザードを使う (W)」をオフにしているときに表示されます。

複数のページにまたがっているホームページでは、「次へ」や「Next」という文字列をクリックすると、次のページに移動することがよくあります。これをいちいちクリックして取り込むのは、大変な作業です。

こんな「次へ」や「Next」という文字列が含まれたページを一気に取り込むのが連続ダウンロード機能です。

1. 取り込みたい連続ページの基準となるページを選択します。
2. <ダウンロード (D)>—<連続ダウンロード (H)>を選択します。
3. 「連続ダウンロード」ダイアログが表示されます。



■URL (U)

連続ダウンロードの元となる URL を入力します。

■次の言葉を含むリンク

「を優先する (I)」または「に限定する (O)」を選びます。入力欄に対象となる言葉を入力します。

■深さ (L)

取り込む階層のレベルを設定することができます。

- レベル 0 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこに埋め込まれている画像などを取り込みます。リンク先のページは取り込みません。
- レベル 1 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこから直接リンクされているページを取り込みます。
- レベル 2 レベル 1 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- レベル 3 レベル 2 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- レベル 4 レベル 3 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- レベル 5 中止するまで、際限なくリンクを追いかけて取り込みます。

注意！:レベル 2 以上でリンクするページを取り込む場合、そのページの数、必要なハードディスク容量、時間などが著しく増加します。使用にあたっては、十分ご注意ください。

■場所 (S)

基準となる URL から、どの範囲までを取り込むか設定します。

■種類 (T)

取り込むデータの種類を指定します。よく使う設定がドロップダウンリストに一覧されています。この中に希望するものがある場合は、一覧から選びます。

さらに細かい設定を希望する場合は、[詳細] ボタンを選んで設定します。

すべて

すべてのデータを取り込みます

JPEG のみ

JPEG の画像データのみ、取り込む設定です

MP3 のみ

MP3 ファイルのみ、取り込む設定です

文書のみ

HTML 文書のみ取り込みます。画像や音声など、その他のデータは取り込まない設定です

プログラム類を除外

実行ファイル類を取り込まない設定です

音、動画、プログラム類を除外

サウンドやムービー、実行ファイルといったサイズが大きめのファイルを取り込まない設定です

音、動画は Windows 系、プログラム類を除外

Windows 系のサウンドやムービーを取り込みます。実行ファイルは取り込みません

音、動画は Mac 系、プログラム類を除外

Macintosh 系のサウンドやムービーを取り込みます。実行ファイルは取り込みません

音、動画は Unix 系 / 汎用、プログラム類を除外

Unix や汎用のサウンドやムービーを取り込み、実行ファイルは取り込みません

■▼詳細

クリックすると「種類の設定」ダイアログが表示されます。ツリー内の「+」マークをクリックすると、さらに細かいデータ形式を設定することができます。取り込みたくないデータは、チェックボックスをオフにしてください。

■時間 (T)

取り込みの実行に時間制限を設けます。タイマー予約で取り込む場合など、間違っ膨大なデータをダウンロードしてしまうことを防止できます。

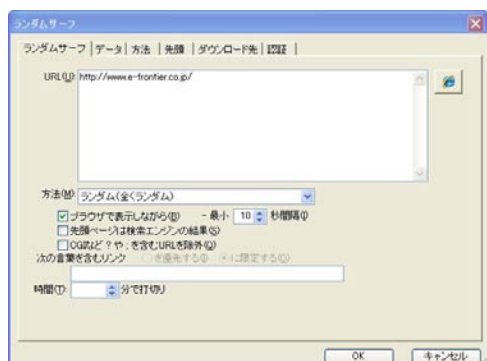
4.4.13 ランダムサーフ

このコマンドは、<設定 (C)>—<一般設定 (R)>で表示される「一般設定」ダイアログの「一般」タブで「ダウンロードウィザードを使う (W)」をオフにしているときに表示されます。

階層を無視して、次に取り込むページを乱数を使って選び、取り込んだページからブラウザで表示していくという、取込方法です。検索エンジンの検索結果などをスタートページにしてランダムサーフを始めれば、ある程度傾向が現れます。

インターネットは通常はインタラクティブに見たい物だけを見ていけるのですが、これに反して、一方通行の従来メディアのように楽しんでしまおうという機能です。思わぬものを見つける可能性があります。

1. Web ブラウザでランダムサーフを始めるページを表示します。
2. <ダウンロード (D)>メニューの<ランダムサーフ (R)>コマンドを選びます。
3. 「ランダムサーフ」ダイアログが表示されます。ここで取り込む際の条件を設定します。設定終了後<OK>を選択すると、データの取り込みが始まります。



■URL (U)

ランダムサーフを始める先の URL を指定します。

右端にブラウザアイコンのついたボタンがあります。このボタンを選び<ブックマークから (B)>のサブメニューから、お使いの Web ブラウザに登録してあるブックマーク (Firefox)、お気に入り (Internet Explorer) の URL を呼び出すことが可能です。

また、メニューの上方には、現在ブラウザが表示しているページの URL が表示されます。これを選んで URL を指定することもできます。

■方法 (M)

飛び先の選び方を選択します。

ランダム (全くランダム)

基準なく飛び先が選ばれます

ランダム (異なるサイトを優先)

できるだけ意外なサイトへジャンプさせたいときに選びます

■ブラウザで表示しながら (B)

データを取り込む際に、Web ブラウザに表示しながら取り込みます。

■最小〇〇秒間隔 (I)

取り込むデータを Web ブラウザに表示しながら取り込むときの、表示間隔を設定します。

■先頭ページは検索エンジンの結果 (S)

ランダムサーフを始める最初のページが、検索エンジンが作成したサイトの一覧ページである場合、このページを無視して、該当するサイトそのものからランダムサーフを行ないたい場合、<先頭ページは検索エンジンの結果 (S)>をオンしておきます。

■ CGI など?や;を含む URL を除外 (Q)

このチェックボックスをオンにすると、CGI などで生成される、「?」や「;」を含む URL を取り込みません。広告バナーなどがこれにあたります。

ただし、掲示板サービスを行なうサーバには、CGI で生成される「?」や「;」を含む URL が見られます。このようなページを取り込みたい場合、このオプションをオフにしておいてください。

■次の言葉を含むリンク

ここに入力した言葉を含むリンクを <を優先する (I)> か <に限定する (O)> かを選択します。

■時間 (T)

取り込みの実行に時間制限を設けます。タイマー予約で取り込む場合など、間違って膨大なデータをダウンロードしてしまうことを防止できます。

4.4.14 サーチエンジンを使って検索

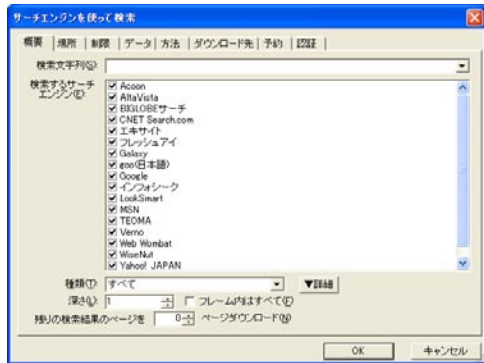
このコマンドは、<設定 (C)>—<一般設定 (R)>で表示される「一般設定」ダイアログの「一般」タブで「ダウンロードウィザードを使う (W)」をオフにしているときに表示されます。

この取り込み機能は、ダウンロード Ninja で検索したい条件を設定し、複数の検索エンジンを使って条件に該当するサイトを探し出し、それらを自動的に取り込んでしまうというものです。

A という検索エンジンで検索し、次に B で、といった苦痛な作業の繰り返しを、自動化することができます。

また、検索条件に取り込むファイルの種類、大きさなどを設定できますので、「月面」という条件に該当する JPEG ファイルで、50KB 以上の大きさのもの、といった複雑な検索取り込みを行なうことも可能です。

1. <ダウンロード (D)>—<サーチエンジンを使って検索 (N)>を選択します。
2. 「サーチエンジンを使って検索」ダイアログが表示されます。
3. 設定終了後< OK >を選択すると、データの取り込みが始まります。



注意！：検索エンジンによっては、対応していないものもあります。

■検索文字列 (S)

インターネットで検索する条件を設定します。
半角スペースを使って、複数の条件 (and) を設定することができます。

■検索するサーチエンジン (E)

どの検索エンジンサービスを利用するか、一覧から選びます。チェックボックスをクリックしてオン／オフを選びます。

■種類 (T)

取り込むデータの種類を指定します。よく使う設定がドロップダウンリストに一覧されています。この中に希望するものがある場合は、一覧から選びます。
さらに細かい設定を希望する場合は、[詳細] ボタンを選んで設定します。

すべて

すべてのデータを取り込みます

JPEGのみ

JPEG の画像データのみ、取り込む設定です

MP3のみ

MP3 ファイルのみ、取り込む設定です

文書のみ

HTML 文書のみ取り込みます。画像や音声など、その他のデータは取り込まない設定です

プログラム類を除外

実行ファイル類を取り込まない設定です

音、動画、プログラム類を除外

サウンドやムービー、実行ファイルといったサイズが大きめのファイルを取り込まない設定です

音、動画は Windows 系、プログラム類を除外

Windows 系のサウンドやムービーを取り込みます。実行ファイルは取り込みません

音、動画は Mac 系、プログラム類を除外

Macintosh 系のサウンドやムービーを取り込みます。実行ファイルは取り込みません

音、動画は Unix 系 / 汎用、プログラム類を除外

Unix や汎用のサウンドやムービーを取り込み、実行ファイルは取り込みません

■▼詳細

クリックすると「種類の設定」ダイアログが表示されます。ツリー内の「+」マークをクリックすると、さらに細かいデータ形式を設定することができます。取り込みたくないデータは、チェックボックスをオフにしてください。

■深さ (L)

取り込む階層のレベルを設定することができます。

- | | |
|-------|--|
| レベル 0 | 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこに埋め込まれている画像などを取り込みます。リンク先のページは取り込みません。 |
| レベル 1 | 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこから直接リンクされているページを取り込みます。 |
| レベル 2 | レベル 1 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。 |
| レベル 3 | レベル 2 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。 |
| レベル 4 | レベル 3 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。 |
| レベル 5 | 中止するまで、際限なくリンクを追いかけて取り込みます。 |

注意！:レベル 2 以上でリンクするページを取り込む場合、そのページの数、必要なハードディスク容量、時間などが著しく増加します。使用にあたっては、十分ご注意ください。

■フレーム内はすべて (F)

同一のフレームに呼び出すデータをレベルに関係なくすべて取り込みます。

■残りの検索結果ページを○ページダウンロード (N)

検索させた条件に該当するサイトがたくさんある場合、検索エンジンは複数にわたるページを返してきます。このようなとき、一般的には、後のページほど、検索精度が下がってきます。精度が低いと思われるサイトを取り込みたくないときには、<残りの検索結果ページを○ページダウンロード (N)>オプションを使って、取り込み対象とするページに制限を加えると良いでしょう。

注意！:検索エンジンによっては、正しく動作しないことがあります。また、検索エンジンのページがアップデートされて、突然動作しなくなる可能性があります。

4.4.15 サーチエンジン結果からダウンロード (S)

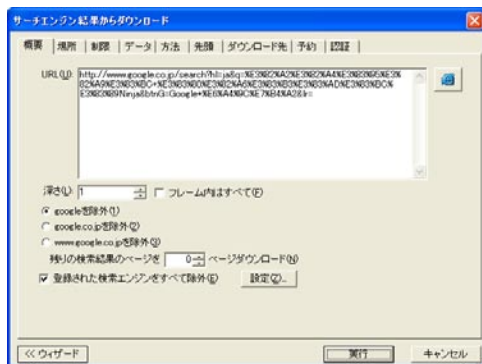
このコマンドは、<設定 (C)>—<一般設定 (R)>で表示される「一般設定」ダイアログの「一般」タブで「ダウンロードウィザードを使う (W)」をオフにしているときに表示されます。

検索エンジンの検索結果のページから、検索に該当した各ページを取り込むには、「サーチエンジンの結果からのダウンロード」機能を使うと良いでしょう。

1. Web ブラウザで検索エンジンサービスのサイト呼びだし、検索を実行します。



2. ツールバーの<ダウンロード>をクリックして、検索結果のページを取り込みます。
3. アイコンウィンドウから、取り込んだ検索結果ページをクリックして選択します。
4. <ダウンロード (D)>—<サーチエンジン結果からダウンロード (S)>を選択します。
5. 「サーチエンジン結果からダウンロード」ダイアログが表示されます。各種設定を行いません。



6. 設定終了後、「実行」を選択するとデータの取り込みが始まります。

■ URL (U)

取り込み先の URL を指定します。現在 Web ブラウザに表示されている、検索結果のページの URL があらかじめセットされています。うまくセットできていない場合は、横にあるブラウザのアイコンが描かれたボタンを選択してください。

■深さ (L)

取り込む階層のレベルを設定することができます。

- レベル 0 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこに埋め込まれている画像などを取り込みます。リンク先のページは取り込みません。
- レベル 1 現在、Web ブラウザで表示されているページと、そこから直接リンクされているページを取り込みます。
- レベル 2 レベル 1 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- レベル 3 レベル 2 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- レベル 4 レベル 3 で取り込んだページにリンクされているページや画像を取り込みます。
- レベル 5 中止するまで、際限なくリンクを追いかけて取り込みます。

注意！:レベル 2 以上でリンクするページを取り込む場合、そのページの数、必要なハードディスク容量、時間などが著しく増加します。使用にあたっては、十分ご注意ください。

■フレーム内はすべて (F)

同一のフレームに呼び出すデータをレベルに関係なくすべて取り込みます。

■○を除外

どのレベルまで除外するかを、三つの選択肢から選ぶことができます。

■残りの検索結果ページを○ページダウンロード (N)

検索させた条件に該当するサイトがたくさんある場合、検索エンジンは複数にわたるページを返してきます。このようなとき、一般的には、後のページほど、検索精度が下がってきます。精度が低いと思われるサイトを取り込みたくないときには、「残りの検索結果ページを○ページダウンロード (N)」オプションを使って、取り込み対象とするページに制限を加えると良いでしょう。

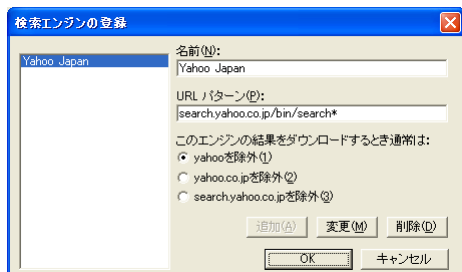
注意！:検索エンジンによっては、正しく動作しないことがあります。また、検索エンジンのページがアップデートされて、突然動作しなくなる可能性があります。

■登録された検索エンジンをすべて除外 (E)

このチェックボックスがオンになっていると、検索エンジンの結果を取り込む場合、登録されている検索エンジン自身を取り込まないようにします。

■設定 (Z)

検索エンジンと、その検索パターンを登録・設定します。



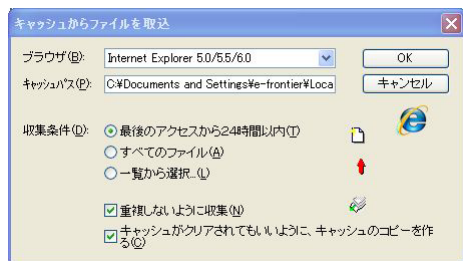
4.4.16 キャッシュからファイルを取込

このコマンドは、<設定 (C)>—<一般設定 (R)>で表示される「一般設定」ダイアログの「一般」タブで「ダウンロードウィザードを使う (W)」をオフにしているときに表示されます。Web ブラウザで何気なくネットサーフィンをしていて、後で「さっき見たページのデータを保存しておきたい」と思った経験はありませんか？ 該当ページにアクセスしてみても、情報が更新されていたり……そんな場合はキャッシュファイルからファイルを取込むと良いでしょう。Web ブラウザがハードディスクに作成しているキャッシュファイルを解析し、ページに再構成してくれます。

Web ブラウザはインターネットへのアクセス時間の短縮のために、取り込んだファイルをいったん「キャッシュファイル」として保存しています。しかし通常は、このキャッシュファイルをユーザーが直接見ることはできません。

ダウンロード Ninja はこのキャッシュファイルを再構築し、オリジナルのページと同じように見ることができる形式に変換して収集することができます。

1. <ダウンロード (D)>—<キャッシュからファイルを取込 (C)>を選択します。
2. 「キャッシュからファイルを取込」ダイアログが表示されます。
3. <ブラウザ (B)>にお使いの Web ブラウザの名前が表示されているかどうか確認してください。お使いの Web ブラウザに設定されていないときは、お使いの Web ブラウザを選択してください。



<キャッシュパス (P)>は選択されている Web ブラウザの登録情報を元に、ダウンロード Ninja が自動的に設定しますので、上級者以外の方は変更しないようにしてください。

■最後のアクセスから 24 時間以内 (T)

お使いのブラウザを最後に終了した時点からさかのぼって、24 時間以内に更新されたファイルだけを収集します。< OK >を選択すると、すぐに取り込みを始めます。

■すべてのファイル (A)

Web ブラウザのキャッシュとして存在するすべてのファイルを取り込みます。Web ブラウザの設定にもよりますが、数百から数千個のファイルが一気に取り込まれることがあるため、かなり時間がかかる可能性があります。ご注意ください。[実行] を選択すると、すぐに取り込みを始めます。

■一覧から選択 (N)

細かく取り込む条件を設定することができます。「4.4.15.1 一覧から選択について」で解説します。

■重複しないように収集 (N)

このオプションをオンにしておくと同じデータが複数の URL で使われているような場合など、データを重複して収集しないようにします。

■キャッシュがクリアされてもいいように、キャッシュのコピーを作る (C)

Web ブラウザのキャッシュは Web ブラウザを使用するたびに更新されて、古いファイルから順になくなってしまいます。このオプションをオンにしておくと、キャッシュが消去されても大丈夫なように、キャッシュのコピーを作っておきます。ただし、それだけディスク容量を必要とし、時間もかかります。

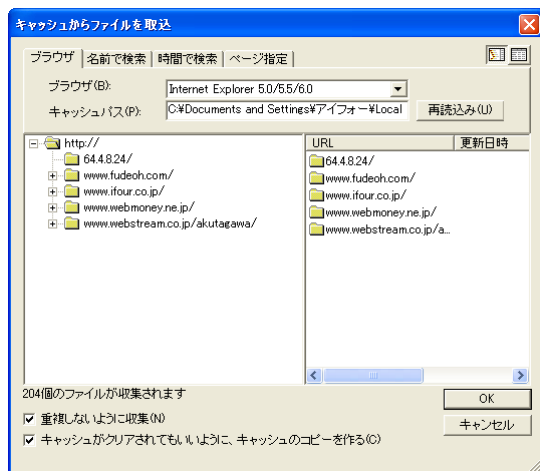
4.4.16.1 一覧から選択について

「キャッシュからファイルを取込」の詳細ダイアログが表示されます。ここでは特定の URL を指定してキャッシュからファイルを取り込むことができます。

このダイアログの上部のタブでは URL を検索する条件を指定することができ、必要な URL やファイルだけを取り込むことができます。

■「ブラウザ」タブ

複数の Web ブラウザをお使いの場合、それぞれのブラウザのキャッシュがハードディスクに残っています。ここでは、取り込み対象とするブラウザを変更できます。



<ブラウザ (B)>からキャッシュを収集したい Web ブラウザを選択します。それに合わせて<キャッシュパス (P)>が自動的に変更されます。

<再読み込み (U)>を選択すると、キャッシュの状況に合わせて、ダイアログの表示内容を更新します。

■「名前で検索」タブ

URLの中に特定の文字列を含むものを検索することができます。

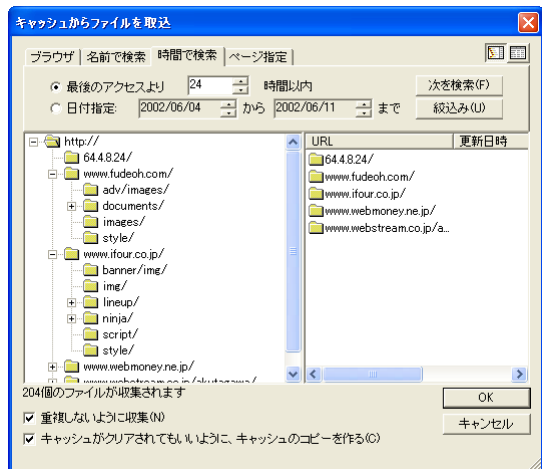


<次を検索 (F)>を選択すると特定の文字列を含むURLを検索します。

<絞り込み (U)>を選択すると条件に合うものだけが表示されます。

■「時間で検索」タブ

URLにアクセスした時間を指定して検索することができます。



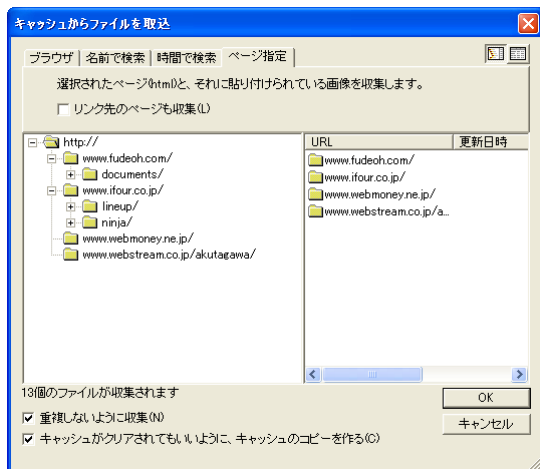
<最後のアクセスより>で最後のアクセスからの時間で、<日付指定>で特定の期間のキャッシュを検索できます。

<次を検索 (F)>を選択すると条件に合わせて検索します。

<絞り込み (U)>を選択すると条件に合うものだけが表示されます。

■ 「ページ指定」タブ

ページのタイトルが表示されるので、その中から目的のページを選択することができます。



<飛び先のページも収集 (L) >を選択すると、そのページからのリンク先のキャッシュも収集します。

それぞれの条件が選択されると画面中央の左側に条件に合致するファイルのURLがツリー構造で表示されます。画面中央の右側には収集対象となるファイルがリスト表示されます。このツリーかリストのどちらかから、収集したいURLかページを選択して< OK >ボタンを選択すると、キャッシュファイルが取り込まれます。

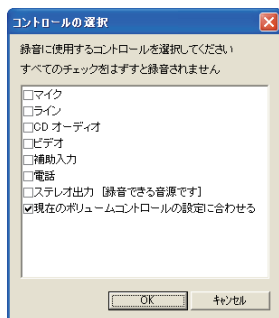
なお、Webブラウザのキャッシュはブラウザを使用するたびに更新されて、古いファイルから順になくなってしまいます。また、インターネットに接続したWebブラウザがすべてのファイルをキャッシュに取り込まないうちに別のページに移動したような場合には、取り込み途中のファイルはキャッシュには残りません。そのため、ページを構成する一部のファイルがすでに失われていたり、もともとなかったりする場合があります。その様な場合は画像の一部は見ることができません。もう一度インターネットに接続し、必要なファイルをダウンロードNinjaに取り込んでください。

4.5 ツール (T) メニュー

4.5.1 ムービーレコーダ (V)

ダウンロード Ninja ではファイルになっている音楽や動画以外にも、Windows Media Player や RealPlayer 等で再生されるストリーミング形式の音楽や動画の取り込みにも対応しています。ムービーレコーダを使えば、ストリーミング形式の音楽や動画を取り込むことができます。ストリーミング形式でなくても、ドラッグ・アンド・ドロップで取り込めない音楽や動画も、ムービーレコーダを使うと良いでしょう。

ダウンロード Ninja で <ツール (T) > <ムービーレコーダ (V) > を選択すると、お使いのコンピュータのハードウェアをチェックし、「コントロールの選択」ダイアログが表示されます。ここから、録音するソースを選択します。通常は選択肢の中から「ステレオ」、「Wave」、「出力」などの言葉が含まれている物を選択すると、うまく取り込みできます。

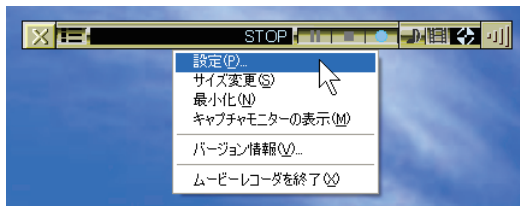


ムービーレコーダで音楽や映像を取り込むときに取り込まれる音声は、お使いのコンピュータで再生される音の全てです。例えば音楽や映像を取り込み中に、Windows の操作をして何らかの警告音が再生されると、その警告音も一緒に取り込まれてしまいます。音楽や映像の取り込み中は、他の操作をされないことをお勧めします。

ムービーレコーダはすべての環境での動作を保証するものではありません。お使いのサウンドカードやドライバによっては、動作しないこともありますので、ご了承ください。

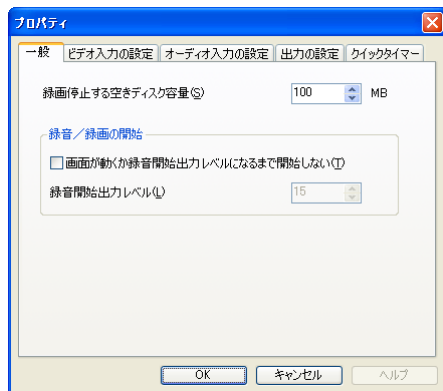
4.5.1.1 ムービーレコーダの設定

[設定] ボタンをクリックするか、ムービーレコーダを右クリックするとショートカットメニューが表示されます。



[設定] を選択すると、ムービーレコーダの設定画面が表示されます。

4.5.1.1.1 「一般」タブ



■録画停止する空きディスク容量 (S)

ハードディスクの空き容量が指定した容量以下になると、録音 / 録画を停止します。

■画面が動くか録音開始出力レベルになるまで録音を開始しない (T)

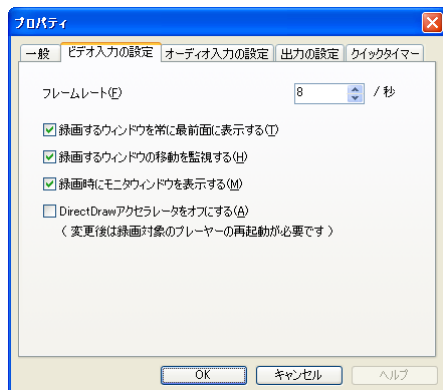
このチェックボックスをオンにすると、無駄な録音 / 録画を防ぐことができます。

■録音開始出力レベル (L)

録音 / 録画を始める音の出力レベルを設定します。

ここで設定したレベル以上の出力になると、録音 / 録画を開始します。

4.5.1.1.2 「ビデオ入力の設定」タブ



■フレームレート (F)

記録する動画のフレームレートを 1 秒あたりのコマ数で設定します。

■録画するウィンドウを常に最前面に表示する (T)

録画の対象となるウィンドウを常に最前面に表示するようにします。

■録画するウィンドウの移動を監視する (H)

録画の対象となるウィンドウを監視します。ウィンドウが閉じると自動的に録画が停止します。

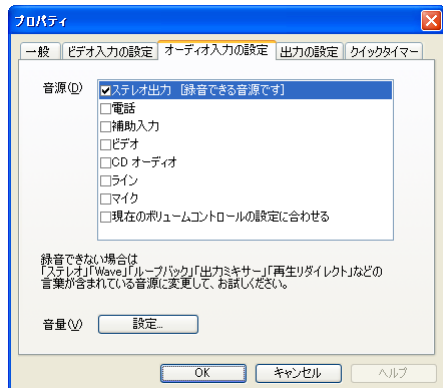
■録画時にモニタウィンドウを表示する (M)

録画を開始すると自動的にモニタウィンドウを開くようにします。

■ DirectDraw アクセラレータをオフにする (A)

画面が黒くなり正しく録画できない場合に選択すると、正しく録画できる場合があります。

4.5.1.1.3 「オーディオ入力の設定」タブ



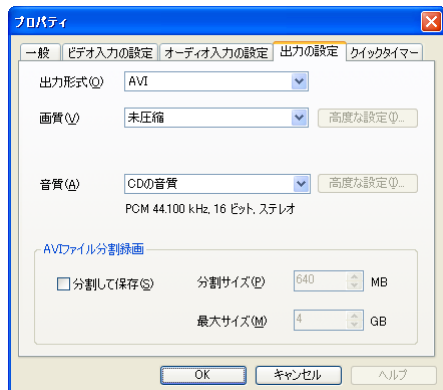
■音源 (D)

録音に使う音源を選択します。

■音量 (V)

選択されている機器の音量調節を行ないます。

4.5.1.1.4 「出力の設定」タブ



■出力形式 (O)

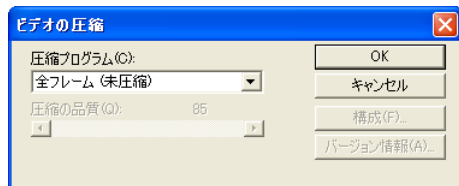
取り込んだ音楽や動画を保存する形式を選択します。

■画質 (V)

動画を記録する画質を選択します。

■高度な設定（画質）(I)

コーデックなどの詳細設定を行ないます。「ビデオの圧縮」ダイアログが表示されます。



◎圧縮プログラム (C)

ビデオ圧縮のコーデックを選択します。

◎圧縮の品質 (Q)

ビデオを圧縮する際の品質を設定します。

◎構成 (F)

各コーデックの詳細な設定を行ないます。

◎バージョン情報 (A)

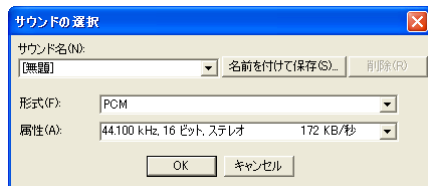
各コーデックのバージョン情報を表示します。

■音質（A）

録音する音質を選択します。

■高度な設定（音質）(I)

録音の詳細設定を行ないます。「サウンドの選択」ダイアログが表示されます。



◎サウンド名 (N)

録音の設定に名前を付けます。

◎形式 (F)

サウンドの圧縮方法等、形式を選択します。

◎属性 (A)

サウンドのサンプリング周波数等、属性選択します。

◎名前を付けて保存 (S)

録音の設定を保存します。

◎削除 (R)

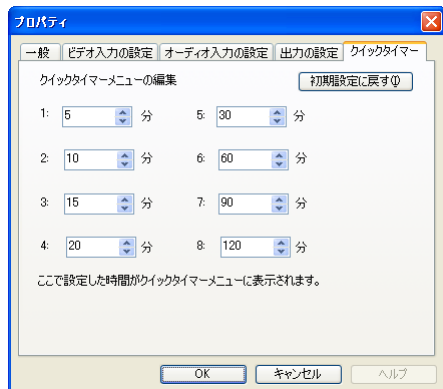
現在の設定を削除します。

■AVI ファイル分割録画

AVI ファイルを指定サイズに分割して保存できます。長時間の動画でも AVI ファイルのサイズ制限を気にすることなく保存することができます。

分割録画をオンにするには<分割して保存 (S)>のチェックをオンにし、分割サイズと最大サイズを指定します。

4.5.1.1.5 「クイックタイマー」タブ



クイックタイマーの時間を設定します。

録音・録画中にレコーディングボタンを押すと、クイックタイマータブで設定した時間が表示されます。リストの中から選択した時間が経つと、録音 / 録画が終了します。

■初期設定に戻す (I)

設定したクイックタイマーの時間を、初期設定の時間に戻します。

4.5.2 稲妻サーチ (I)

膨大なインターネット上のデータから、条件に該当するサイトを探し出してくれる検索エンジンサービスは、大変重宝します。しかし、条件に該当したサイトが多数あった場合は、いちいち各サイトを Web ブラウザに表示させて、目的の物かどうかをチェックするにはうんざりさせられます。また、ダイヤルアップ接続の場合、無益なサイトを見る作業は、通信費と時間の無駄使い以外の何物でもありません。

ダウンロード Ninja では、検索エンジンから条件に該当するデータを自動的に取り込む機能を用意することで、このような作業を手助けすることができます。

いったんダウンロード Ninja に取り込んでしまえば、サムネイル表示機能やリンクウィンドウ、検索機能を使って、通信費を気にせず効率的に、目的のデータを探すことが可能です。

稲妻サーチ機能は初心者の方でも簡単に検索ができるように設計されていますので、こちらを使うことをお勧めします。

4.5.2.1 Web 上の検索エンジンから

Yahoo! Japan、Google、インフォシーク、エキサイト、goo など、主要検索エンジンへ自動的にキーワードを送り、一気に検索をかけることができます。また、キーワード前後の文章が表示されるので、そのページの概要を知ることができ、本当に必要な情報が含まれているページを素早く見付けることができます。

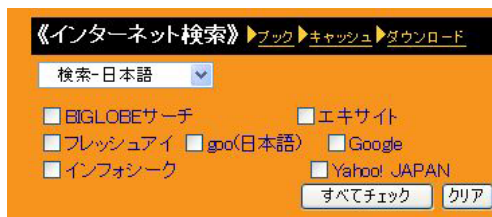
1. ダウンロード Ninja のツールバーから [稲妻サーチ] ボタンをクリックします。<ツール (T) >メニューから<稲妻サーチ (I) >を選択しても構いません。お使いの Web ブラウザに稲妻サーチのキーワード入力画面が表示されます。Web ブラウザが他のアプリケーションで隠れている場合は、Web ブラウザに切り替えてください。



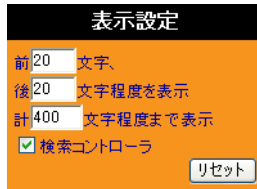
2. 「検索する文字列」に検索したいキーワードを入力します。複数のキーワードを使った検索をした場合は、キーワードの間をスペースで区切ります。



3. 「インターネット検索」で、どの検索エンジンを利用するかを選択します。「すべてチェック」をクリックすると表示されたすべての検索エンジンでキーワードを使った検索を行ないます。「クリア」をクリックすると、検索エンジンのチェックをすべてはずします。一度に多くの検索エンジンを指定すると、検索やデータのダウンロードに時間がかかる場合がありますので、ご注意下さい。



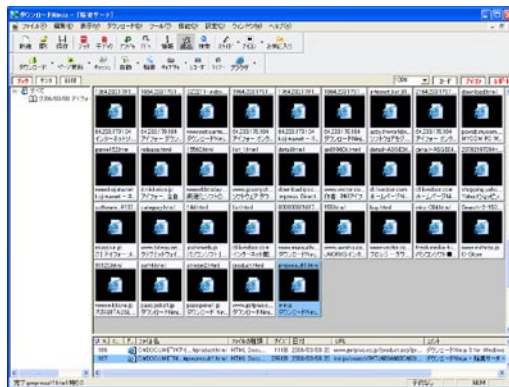
4. 「表示設定」でキーワードの前後、何文字程度を表示するか、また全体で何文字程度の概略を表示するかを指定します。



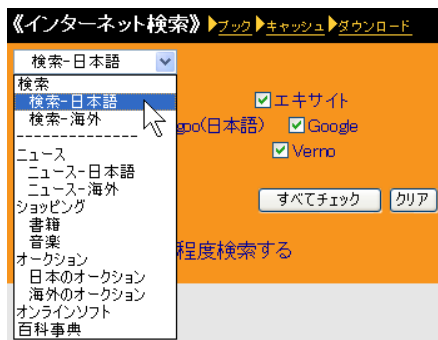
- 「検索する文字列」の右にある[検索開始]ボタンをクリックします。インターネットに接続して、キーワードの検索を開始します。進行状況が Web ブラウザに表示されます。



- ダウンロード Ninja に、関連のページがダウンロードされます。検索が終了したら、お使いの Web ブラウザ、またはダウンロード Ninja から検索結果を見ることができます。検索結果はお使いの Web ブラウザに表示されます。この時、検索結果はすべてローカルのハードディスクにダウンロードされています。ダイヤルアップでインターネットに接続されている場合は、接続を切断しても大丈夫です。



検索には通常の検索エンジンの他、ニュース、ショッピング、オークション等、日本はもとより世界の主要サイトを選択することができます。



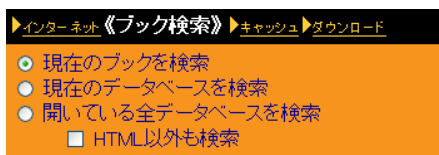
4.5.2.2 取り込んだブックから

現在開いているデータベースを対象にして、検索を行ないます。自分がダウンロードしたファイルのどこに目的のデータがあるかを探すのに便利です。

1. ダウンロード Ninja のツールバーから [稲妻サーチ] ボタンをクリックします。<ツール (T) > メニューから<稲妻サーチ (I) > を選択しても構いません。お使いの Web ブラウザに稲妻サーチのキーワード入力画面が表示されます。Web ブラウザが他のアプリケーションで隠れている場合は、Web ブラウザに切り替えてください。
2. ブックを対象に検索をかけるので、「ブック」をクリックします。



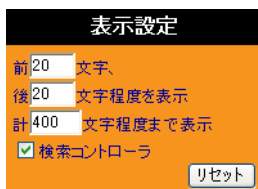
3. 何を対象に検索をかけるかを選択します。HTML ファイル以外にも検索をかける場合は「HTML 以外も検索」のチェックをオンにします。



4. 「検索する文字列」に検索したいキーワードを入力します。複数のキーワードを使った検索をした場合は、キーワードの間をスペースで区切ります。



5. 「表示設定」でキーワードの前後、何文字程度を表示するか、また全体で何文字程度の概略を表示するかを指定します。



6. 「検索する文字列」の右にある [検索開始] ボタンをクリックします。ローカルにダウンロードされたファイルから検索を開始します。進行状況が Web ブラウザに表示されます。検索が終了したら、データはダウンロード Ninja に登録されていて、お使いの Web ブラウザから検索結果を見ることができます。



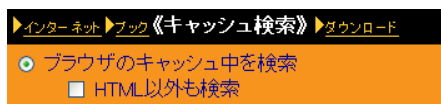
4.5.2.3 キャッシュから

Web ブラウザのキャッシュを対象に検索を行ないます。

1. ダウンロードNinjaのツールバーから [稲妻サーチ] ボタンをクリックします。<ツール (T) >メニューから<稲妻サーチ (I) >を選択しても構いません。お使いの Web ブラウザに稲妻サーチのキーワード入力画面が表示されます。Web ブラウザが他のアプリケーションで隠れている場合は、Web ブラウザに切り替えてください。
2. キャッシュを対象に検索をかけるので、「キャッシュ」をクリックします。



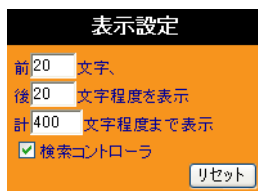
3. 何を対象に検索をかけるかを選択します。HTML ファイル以外にも検索をかける場合は「HTML 以外も検索」のチェックをオンにします。



4. 「検索する文字列」に検索したいキーワードを入力します。複数のキーワードを使った検索をした場合は、キーワードの間をスペースで区切ります。



5. 「表示設定」でキーワードの前後、何文字程度を表示するか、また全体で何文字程度の概略を表示するかを指定します。



6. 「検索する文字列」の右にある [検索開始] ボタンをクリックします。Web ブラウザのキャッシュから検索を開始します。進行状況が Web ブラウザに表示されます。検索が終了したら、データは、お使いの Web ブラウザから検索結果を見ることができます。



4.5.2.4 ダウンロードしながら

特定のサイト・ページの中をダウンロードしながら検索をかけます。

例えばあるサイトの中に自分の求める情報があるかどうかを見ながら検索を実行することができます。

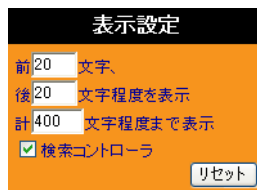
1. ダウンロード Ninja のツールバーから [稲妻サーチ] ボタンをクリックします。<ツール (T) >メニューから<稲妻サーチ (I) >を選択しても構いません。お使いの Web ブラウザに稲妻サーチのキーワード入力画面が表示されます。Web ブラウザが他のアプリケーションで隠れている場合は、Web ブラウザに切り替えてください。
2. ダウンロードしながら検索をかけるので、「ダウンロード」をクリックします。



3. 「検索する文字列」に検索したいキーワードを入力します。複数のキーワードを使った検索をした場合は、キーワードの間をスペースで区切ります。
4. ダウンロードする URL を入力します。場所と階層に制限をかける場合は、それも設定します。



5. 「表示設定」でキーワードの前後、何文字程度を表示するか、また全体で何文字程度の概略を表示するかを指定します。



6. 「検索する文字列」の右にある [検索開始] ボタンをクリックします。ファイルをダウンロードしながら検索を開始します。進行状況が Web ブラウザに表示されます。検索が終了したら、データはダウンロード Ninja に登録されていて、お使いの Web ブラウザから検索結果を見ることができます。



4.5.2.5 検索コントローラ

検索結果の表示時に、いちばん上に表示されるのが「検索コントローラ」です。検索コントローラはキャッシュに保存した検索結果をもとに次の機能を利用できます。



1. 検索内容の表示変更
2. 検索内容の絞り込み
3. URL による絞り込み
4. 検索速報の表示 / 非表示
5. 検索内容の並べ替え

すべてキャッシュされた検索結果をもとに再表示されますので、インターネットには接続しません。検索結果の並べ替え以外は、条件を指定した上で [表示変更] ボタンをクリックします。

「一致する文字列はありません」の表示 表示変更 読込中止

■ 「一致する文字列はありません」の表示

このチェックボックスをオンにすると、検索結果を表示し直す時に検索速報を表示します。

■ 表示変更

指定した条件にしたがって、キャッシュに保存した内容を表示し直します。

■ 読込中止

検索結果の表示を途中で中止します。

4.5.2.5.1 表示設定

検索結果のページが最初に表示された時は、検索するキーワードを元に、その前後の文章を表示しますが、検索コントローラで強調表示するキーワードと文章表示の量を変更することができます。検索時と同様に検索結果に表示される Web ページの内容を指定します。

表示設定 ▶ 強調する語句 イーフロンティア 前20 後20 計400 文字程度

■ 強調する語句

検索直後は、検索時のキーワードが強調表示され、その前後の文章が表示されています。強調表示するキーワードを変更して、結果を表示しなおします。

■ 表示前後の文字数と表示合計文字数

表示する前後の文字数と表示するトータルの文字数の目安を指定します。

4.5.2.5.2 内容で絞込

最初の検索ではキーワードの含まれる Web サイトが結果として表示されます。その中から、さらにキーワードを指定して結果を絞り込むことができます。

内容で絞込 ▶ を 全て含む 1つでも含む ページ

■ 絞込文字列

絞り込むための文字列（キーワード）を指定します。

■ 絞込条件

キーワードが含まれる条件を指定します。

全て含む

キーワードに含まれる単語がすべて含まれる結果のみを表示します。

「キーワード1 キーワード2」とキーワードの間にスペースを入れて入力すると、検索結果の中から「キーワード1」および「キーワード2」の両方が含まれるページのみを表示します。

1 つでも含む

キーワードに含まれる単語のいずれかが含まれる結果のみを表示します。

「キーワード 1 キーワード 2」とキーワードの間にスペースを入れて入力すると、検索結果の中から「キーワード 1」または「キーワード 2」のいずれかが含まれるページを表示します。

4.5.2.5.3 URL で絞込

最初に検索した結果の中から URL を指定して絞り込むことができます。



■絞込 URL

絞り込むための URL（アドレス）を指定します。

■絞込条件

URL が含まれる条件を指定します。

含む

URL に絞込 URL で入力したものを含んでいる結果のみを表示します。

「e-frontier.co.jp」と入力すると、検索結果の中から「e-frontier.co.jp」を含む Web サイトのページを表示します。

含まない

URL に絞込 URL で入力したものを含まない結果のみを表示します。

「e-frontier.co.jp」と入力すると、検索結果の中から「e-frontier.co.jp」を含まない Web サイトのページを表示します。

4.5.2.5.4 検索内容の並べ替え

検索結果を並べ替えます。各ボタンを一度クリックすると昇順に並べ替えられ、もう一度クリックすると降順に並べ替えられます。さらにクリックすると「標準」の並べ替えに戻ります。



■標準

ダウンロード Ninja の検索結果優先順位にしたがって表示します。

■URL

Web ページの実際の URL のアルファベットの順に表示します。

■日付

Web ページの更新時間のより新しい順に表示します。

■サイズ

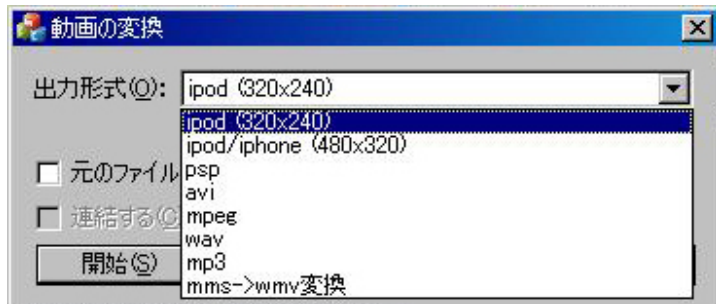
Web ページのサイズのより小さい順に表示します。

■タイトル

Web ページのタイトルのアルファベットの順に表示します。

4.5.3 動画を変換 (X)

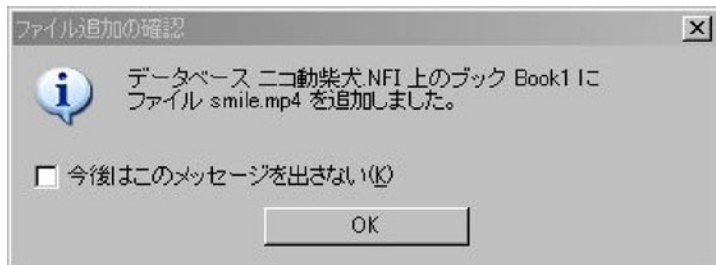
選択した flv 動画を変換します。iPod、iPhone、PSP の再生用に変換することができます。変換できる動画は flv、wmv、avi のみです。他のファイル形式には対応していません。



変換したい形式を選び、開始ボタンをクリックします。

※ iPod、iPhone、PSP 用の変換は mp4 形式に変換されます。

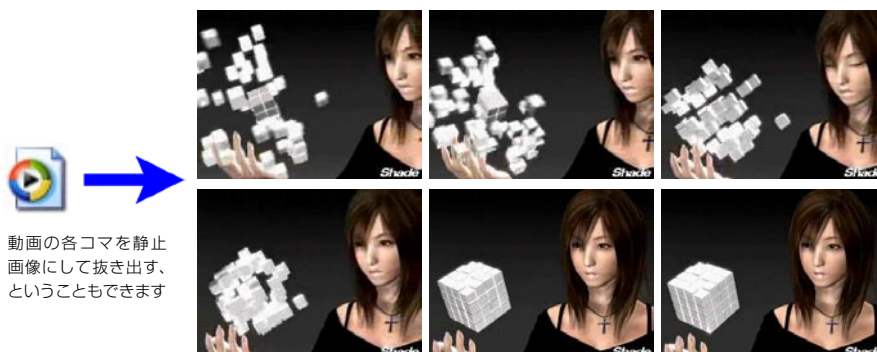
変換が終了すると、以下のようなメッセージが表示されます。選択した変換形式の動画ファイルがアイコンウィンドウに追加されます。



4.5.4 動画の展開 (X)

ダウンロード Ninja で取り込んだファイルの中から、その中身を取り出して、サムネイルに登録することができます。この機能のことを「展開」と呼びます。

この機能を使って、MPEG ファイルや AVI ファイルの各コマを分解し、ダウンロード Ninja に登録することが可能です。



展開できるデータは、次の 2 種類に分類されます。

■ダウンロード Ninja が自分で展開できるもの

ダウンロード Ninja が使用している独自形式の展開フィルタを使います。

AVI、MPEG-1、QuickTime、WMV 形式に対応しています。

■ Susie 形式のプラグインで展開できるもの

ダウンロード Ninja では、画像管理ソフト Susie 用のプラグインを使うことができます。

ダウンロード Ninja で Susie 用プラグインを使う場合は、次のように準備します。

1) Susie を現在お使いの場合

Susie をインストールしたディレクトリにプラグインのファイルがあれば、特に準備は必要ありません。ダウンロード Ninja はそのファイルを使用して展開を行いません。

2) Susie をお使いでない場合

Susie 用のプラグインファイルを入手のうえ、ダウンロード Ninja をインストールしたフォルダにコピーします。デフォルトの設定でインストールした場合は、「C:¥Program Files¥Download Ninja5」です。

Susie 及び Susie プラグインは、フリーウェアまたはシェアウェアです。ご使用を希望される場合は、著作権者の権利を侵害したり、モラルに反することのないよう十分ご注意ください。またダウンロード Ninja の CD-ROM 内には、Susie および Susie のプラグインは入っておりません。別途入手ください。

弊社では Susie プラグインに起因する障害、Susie 及び Susie プラグインの著作権者とお客様の間に生じたトラブルについては、責任を負いかねます。

本製品を利用するに際し、データ・情報等を取り込んで利用する場合においては、当該データ・情報等の作成者・提供者等、著作権者の使用許諾の範囲内で利用し、著作権等の権利を侵害することのないよう十分に注意してください。なお、情報等のデータ・作成者・提供者とお客様との間に生じたトラブルについては、当社は責任を負いかねますので、お客様自身でご処理ください。

4.5.4.1 展開作業について

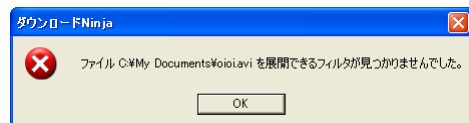
ファイル内のデータを展開する手順は、以下のとおりです。

1. ダウンロードNinjaで展開したいファイルを選び、<ツール (T) >メニューの<動画の展開 (X) >を選びます。
2. 「ファイルの展開」ダイアログが表示されます。各設定を必要に応じて変更後< OK >を選びと展開作業が始まります。



このとき、ダイアログが表示されず、「ファイル…を展開できるフィルタが見つかりませんでした」といったメッセージが表示されるときは、次のような理由が考えられます。

ファイル形式に対応するフィルタ・プラグインがない
ファイル形式に対応するフィルタ・プラグインがオフになっている



■サムネイルのみ展開 (T)、ファイルのみ展開 (F)、サムネイルとファイルを展開 (B)

何を展開するかを選びます。ファイルに収められた画像などのデータそのものを、ファイルから取り出すことなくサムネイルのみ作成 (展開) するか、サムネイルを作成せずデータそのものを展開するか、そのいずれをも行なうかを選べます。

展開しようとするデータの形式、収められたデータの量などによって、展開作業にはかなりの時間を必要とするものがあります。とりあえず、どのようなデータが収められているのかを見たい、といった場合は、サムネイルのみを展開すると良いでしょう。

■サムネイルの展開先 (H)

サムネイルをどこに作るかを設定します。サムネイルのみ展開を選択したときには、設定する必要はありません。

すでに作成されているブックに展開するときは、<既存のブック (E) >を選び、ブックを選びます。

既存ブック内に、任意の名前を付けた子ブックを作成し、そこに展開したいときは、<子ブックを作成 (C) >を選び、<ブック名 (N) >で名前を付けます。デフォルトでは、展開する元のファイル名が設定されています。

ブックを新しく作り、そこに展開するときは、<ブックを作成 (M) >を選びます。この場合、<ブック名 (N) >で名前を付けることができます。デフォルトでは、展開する元のファイル名が設定されています。新規にデータベースファイルを作成し、そこに展開する場合は<新規データベースを作成 (D) >を選びます。

■ファイルの展開先 (I)

展開したファイルをどこに作るかを設定します。サムネイルのみ展開を選択したときには、設定する必要はありません。

◎元ファイルと同じ場所 (S)

展開元のファイルが置かれている場所と同一の位置に保存されます。

◎指定の場所に展開 (P)

任意の位置に展開したファイルを保存することができます。

◎元のファイル名でサブフォルダを作成 (S)

<元ファイルと同じ場所 (O) >、<指定の場所に展開 (P) >で指定したフォルダの下に、元のファイルと同じ名前のサブフォルダを作り、そこに保存します。

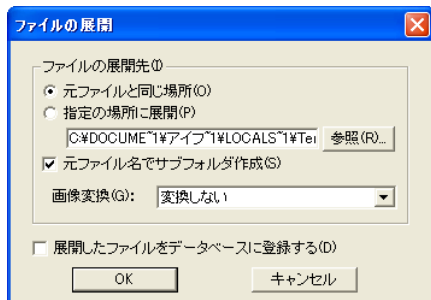
プラグインを利用して読み込むグラフィックファイル形式は、標準的なものではないことが多いため、そのままでは Windows 上での取り扱いが大変面倒です。このようなとき、<画像変換 (G) >から<JPEG に変換>、<PNG に変換>、<WindowsBitmap に変換>を選ぶと、展開時に該当フォーマットに自動的に変換されます。

4.5.4.2 サムネイルだけ展開したデータについて

展開元のデータからサムネイルだけを展開した場合、その実体であるファイルはまだ展開元のファイルの中にあります。従って、せっかくダウンロード Ninja に登録してあっても、そのファイルを使った壁紙にするといたことができません。

ダウンロード Ninja に登録したサムネイルから、実体のファイルを取り出すには次の手順で行ないます。

1. アイコンウィンドウで登録したサムネイルを選びます。
2. <ツール (T) >メニューから<動画の展開 (X) >を選ぶか、ショートカットメニューから<動画の展開 (X) >を選びます。「ファイルの展開」ダイアログが表示されます。



■元ファイルと同じ場所 (S)

展開元のファイルが置かれている場所と同一の位置に保存されます。

■指定の場所に展開 (P)

任意の位置に展開したファイルを保存することができます。

■元のファイル名でサブフォルダを作成 (S)

<元ファイルと同じ場所 (S)>、<指定の場所に展開 (P)>で指定したフォルダの下に、元のファイルと同じ名前前のサブフォルダを作り、そこに保存します。

プラグインを利用して読み込むグラフィックファイル形式は、標準的なものではないことが多いため、そのままでは Windows 上での取り扱いが大変面倒です。このようなとき、<画像変換 (G)>から<JPEG に変換>、<PNG に変換>、<WindowsBitmap に変換>を選ぶと、展開時に該当フォーマットに自動的に変換されます。

■展開したファイルをデータベースに登録する (D)

展開したファイルはダウンロード Ninja のデータベースファイルに自動的に登録されます。

4.5.5 mpeg ファイルの結合 (C)

複数の MPEG ファイルを 1 つの MPEG ファイルに結合します。

結合できるのは画面サイズ、ビットレートが同一の MPEG ファイルに限ります。

1. 結合したい MPEG ファイルを複数選択します。
2. <ツール (T)>メニューから<mpeg ファイルの結合 (C)>を選択します。
3. 新しい MPEG ファイルが作成されます。

4.5.6 スクリーンキャプチャ (M)

表示されている画面の状態を画像ファイルとして保存します。Web ブラウザに表示されているオンライン決済の明細や ID 発行画面など、確実に保存しておきたい画面の保存に便利です。HTML 内のテキストをコメントとして保存しますので、検索も容易です。

1. 画面をキャプチャしたいアプリケーションに切り替えます。
2. ダウンロード Ninja に切り替えて、<ツール (T)>メニューから<スクリーンキャプチャ (M)>を選択します。
3. 画面がキャプチャされ、その画像がダウンロード Ninja のアイコンウィンドウに追加されます。



4.5.7 連結して表示 (A)

Web ページに含まれるテキスト、画像などの要素をすべて活かし、ひとつのページに連結します。JavaScript などは活かされません。また、フレームを使っているページは連結できません。

1. 連結したいHTML ファイルや画像を選択します
2. <ツール (T)> - <連結して表示 (A)> を選択します。
3. HTML ファイルや画像が連結して表示されます

4.5.8 連結してテキストで表示 (T)

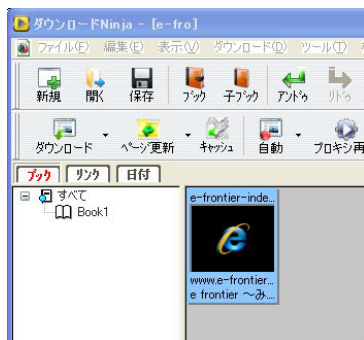
Web ページに含まれるテキストのみを抜き出し、ひとつのページに連結します。

1. 連結したいWeb ページのHTML ファイルを選択します
2. <ツール (T)> - <連結してテキストで表示 (T)> を選択します。
3. Web ページが連結して表示されます

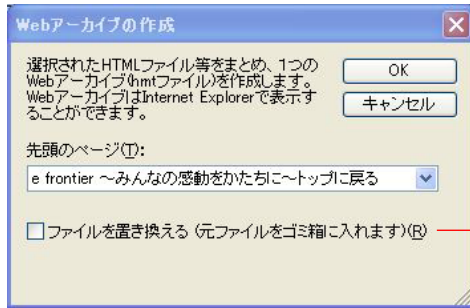
4.5.9 Web アーカイブを作成 (W)

ダウンロードした Web ページと部品から、Internet Explorer のアーカイブファイル (hmt ファイル) を作成します。

1. Web アーカイブを作成したいWeb ページのHTML を選択します。



2. <ツール (T)> - <Web アーカイブを作成 (W)> を選択します。
3. 「Web アーカイブの作成」ダイアログが表示されます。先頭のページを指定して、< OK > を選択します。



このチェックボックスをオンにすると、アーカイブ後にアーカイブ元のファイルを削除 (ゴミ箱に移動) します

◎オリジナルの HTML ファイルのページ

選択したページをトップページとして、アーカイブを作成します。

◎ (一覧を作成)

1. で選択されているページの一覧をトップページとして、アーカイブを作成します。

4. アーカイブファイルが作成されます。

4.5.10 Web アーカイブを展開 (E)

Internet Explorer のアーカイブファイル (hmt ファイル) を展開して、HTML ファイルやグラフィックなどの部品を取り出します。

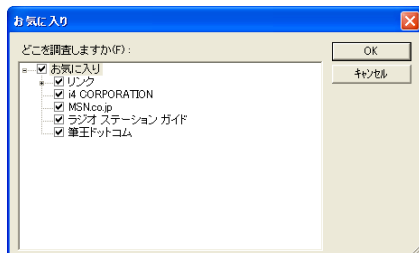
1. 展開したいアーカイブファイルを選択します
2. <ツール (T) > - < Web アーカイブを展開 (E) > を選択します。
3. アーカイブファイルが展開されます。

4.5.11 お気に入りのチェック (J)

ダウンロード Ninja を使って、Web ブラウザのお気に入りやブックマークに登録してある Web ページが有効かどうか、チェックすることができます。

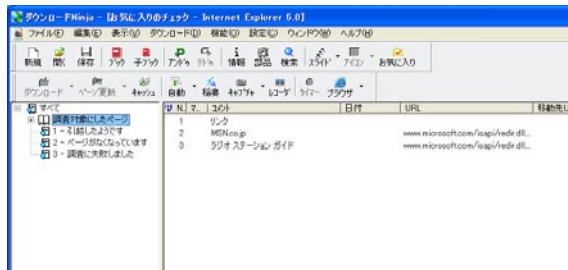
お気に入りやブックマークのチェックは、次のように行ないます。

1. <ツール (T) > - <お気に入りのチェック (J) > を選択します。
2. 「お気に入り」ダイアログが表示され、お使いの Web ブラウザに登録されているお気に入りやブックマークが表示されます。どの URL をチェックするかを選択します。



3. < OK > を選択すると、調査を開始します。

4. 調査結果がダウンロード Ninja に表示されます。



Web ページが引越した、なくなったなどを調査し、その結果を元に、お気に入りの情報を最新の物に更新することもできます。

項目は、それぞれ次のような意味を持っています。

■調査対象にしたページ

お気に入りやブックマークが、オリジナルの階層を保ったまま表示されます。

■1 - 引越したようです

Web ページが登録されている物とは別の URL に引越したと思われるページです。

■2 - ページがなくなっています

Web ページが登録されている URL に見付からず、どこかに引越した様子もないページです。

■3 - 調査に失敗しました

何らかの理由で調査に失敗したページです。ID やパスワードなどの認証が必要なページは、ここに登録されます。

4.5.12 お気に入りの整理 (K)

お気に入りのチェックで得られた結果を元に、お気に入りの整理をすることができます。

4.5.12.1 お気に入りの削除 (D)

■2 - ページがなくなっています、に登録されたページ

とりあえず、Web お気に入りやブックマークから削除してしまいましょう。

このページを選んで、<機能 (O)>—<お気に入りの整理 (K)>—<お気に入りの削除 (D)>を選択します。

お気に入りやブックマークに登録されている URL が削除されます。

4.5.12.2 お気に入りの移動

■2 - ページがなくなっています、に登録されたページ

このページを選んで、<機能 (O)>—<お気に入りの整理 (K)>—<お気に入りの移動 ...>を選択して、お気に入りを別の場所に移動させます。

4.5.12.3 リンク先の変更 (C)

お気に入りのリンク先を変更することができます。

■ 1 - 引っ越したようです、に登録されたページ

このページを選んで、<機能(O)>—<お気に入りの整理(K)>—<リンク先の変更(C)>を選択します。お気に入りやブックマークに登録されている URL が、ダウンロード Ninja が調査した引っ越し先の URL に変更されます。

4.5.13 ブラウザの履歴の一覧 (H)

Internet Explorer の履歴を表示します。

項目名をクリックすると、ソート（並べ替え）することができます。



■ ブラウザで開く (B)

履歴リストで選択した URL をブラウザで表示します。

■ ダウンロード (D)

履歴リストで選択した URL をダウンロード Ninja でダウンロードします。

4.6 機能 (O) メニュー

ダウンロード Ninja の各種コマンドが集められています。

4.6.1 表示 (V)

選択しているアイコンファイルをできるだけ適切な形で表示します。一般的な画像ファイルや音声・動画ファイルはダウンロード Ninja で表示します。

HTML ファイルはお使いの Web ブラウザで表示されます。

4.6.2 アプリケーションで開く (O)

選択しているアイコンファイルを関連づけられているアプリケーションで開きます。

4.6.3 URL に接続 (U)

取り込んだファイルの URL を Web ブラウザに渡して、ネット上の最新の内容を表示します。

Web ブラウザが起動し、指定された URL に接続します。このとき、画像ファイルを選択していると、その画像ファイルのみが表示されます。ページにアクセスしたいときは、HTML ファイルを選択して接続してください。

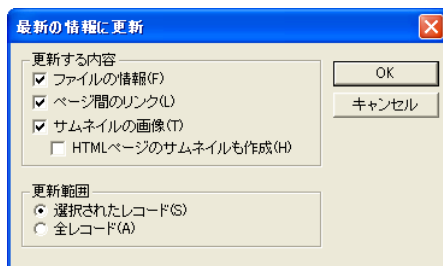
4.6.4 ブラウザの起動 (B)

ダウンロード Ninja で設定されている Web ブラウザを起動します。

4.6.5 最新の情報に更新 (F)

登録されているデータを最新のものに更新します。

1. 更新が必要なサムネイルを選び、<機能 (O) > ← <最新の情報に更新 (F) > を選びます。
2. 「最新の情報に更新」ダイアログが表示されます。



■ファイルの情報 (F)

ファイルに関する情報を更新したいときに選びます。

■ページ間のリンク (L)

あるホームページを取り込み、後日、このページにリンクが設定されている別のページを取り込んだとき、両者の間のリンクはつながっていません。

このオプションをオンにして更新すると、両者のリンクをつなげます。

■サムネイルの画像 (T)

サムネイルの画像を、現在の大きさに合わせて作り直します。<アイコンウィンドウの表示形式 (S) > コマンドを使ってサムネイルの大きさを作り直したときや、登録してあるグラフィックスファイルを別のソフトを使って編集したため、ダウンロード Ninja に登録されているサムネイル画像とずれが生じてしまったときなどに選びます。

■ HTML ページのサムネイルも作成 (H)

HTML ページの縮小イメージを作成し、それをサムネイルとします。

※ WindowsVista など一部の Windows のバージョンでは、正しく表示できない場合があります。

■選択されたレコード (S)

アイコンウィンドウで選択されたデータだけを対象に更新を行ないます。

■全レコード (A)

アイコンウィンドウで選択されたデータと関係なく、現在作業対象としているファイルの全データに対して、更新を行ないます。

4.6.6 ファイルを取込 (G)

既存のファイルをダウンロード Ninja に取り込みます。複数のファイルを取り込むときは、エクスプローラからドラッグ・アンド・ドロップで取り込むこともできます。

1. <機能 (O) >メニューの<ファイルを取込 (G) >コマンドを選択します。
2. 「ファイルを取込」ダイアログが表示されるので、取り込みたいファイルを選択します。

4.6.7 ファイルを移動 (M)

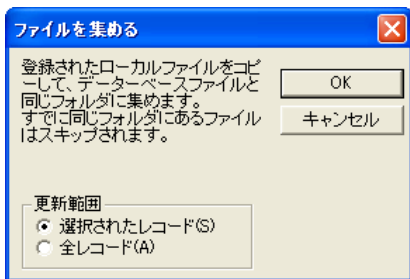
ダウンロード Ninja に登録したデータの保存先を変更する際には、注意が必要です。ホームページのファイルを取り込むと、そのページに設定されているリンク関係をダウンロード Ninja は自動的に書き換え、ローカルディスク内でも矛盾なく表示できるように調整を行ないます。もし、このリンク先のファイルをエクスプローラなどを使って別のフォルダに移動してしまうと、この作業をダウンロード Ninja は知るすべがないため、先に行なった変更との間に矛盾が生じてしまいます。この矛盾を回避するために、ダウンロード Ninja に取り込んだデータファイルを別のフォルダに移動するときは、<機能 (O) >メニューの<ファイルを移動 (M) >コマンドを使って作業を行なってください。

1. 移動したいデータをダウンロード Ninja で選択します。
2. <機能 (O) > - <ファイルを移動 (M) > を選びます。
3. 「移動先のフォルダを選択」ダイアログが表示されますので、移動する先のフォルダを選んで、< OK > を選びます。

4.6.8 ファイルを集める (C)

ダウンロード Ninja に登録したデータが、いろいろなフォルダにまたがっているとき、これらをダウンロード Ninja のデータベースファイルを保存しているフォルダに集めることができます。<ファイル (F) > - <上書き保存 (S) > や <ファイル (F) > - <名前を付けて保存 (A) > の <登録したすべてのローカルファイルをコピーして集める (A) > と似ていますが、このコマンドを使うと、希望するファイルだけを集めることができます。

1. 集めたいデータをダウンロード Ninja で指定します。
2. <機能 (O)> - <ファイルを集める (C)> を選びます。
3. 「ファイルを集める」ダイアログが表示されます。



■選択されたレコード (S)

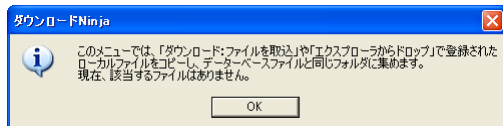
選択しているデータだけを集めます。

■全レコード (A)

選択していないデータでも、データベースファイルと異なるフォルダにあるファイルはすべて集めたい場合に選びます。

4. < OK > を選択してファイルを集めます。

該当するファイルがないときは、次のようなダイアログが表示されます。



4.6.9 登録されていないファイルを検出 (K)

ダウンロード Ninja に登録したデータを削除するとき、<サムネイル削除する (D)> だけを選ぶと、そのファイルはハードディスクの中に残ってしまいます。

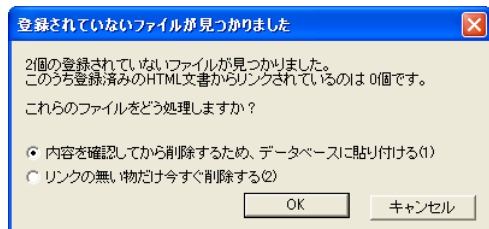
また、次のような作業を行なうとどこからもリンクされていないファイルがハードディスクに残ります。

1. ホームページ (A) をダウンロード Ninja で取り込む
2. ホームページ (A) が更新されホームページ (B) となる
3. ホームページ (B) をダウンロード Ninja で上書きして取り込む
4. ホームページ (A) で設定されていたが、ホームページ (B) では設定されていないリンクファイルが発生する

このようなファイルを整理したいときは、次のように行ないます。

1. <機能 (O)> - <登録されていないファイルを検出 (K)> を選びます。

2. ディスクの内容を調査し、該当するデータがあるときは、次のダイアログが表示されます。



リンクを解析するのに時間がかかりそうなときは、その旨を伝えるダイアログが表示されます

■内容を確認してから削除するため、データベースに貼り付ける (1)

どのようなデータなのかを確認できるよう、新たにデータベースに「{検出} リンクなし」というブックを作り登録します。内容を確認後不要なら削除してください。

■リンクの無い物だけ今すぐ削除する (2)

前に説明したケースのように、登録されているどのページからもリンクされていないファイルだけを削除します。データベースへの登録は行われません。

4.6.10 ショートカットに変換 (S)

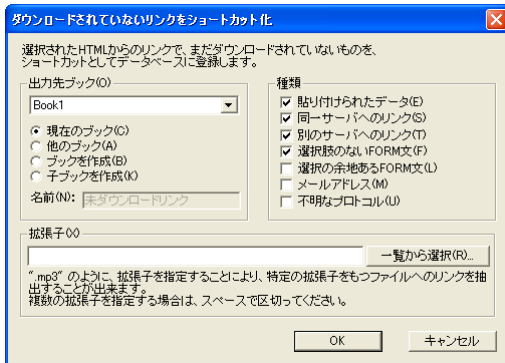
ダウンロード Ninja に取り込んだホームページのデータを、インターネットショートカットに変換することができます。いったん変換してしまうと、取り込み済みの別のページとのリンク関係は失われる点にご注意ください。

1. ショートカットに変換したいホームページデータを選び、<機能(O)>メニューから<ショートカットへ変換(S)>を選びます。
2. 確認ダイアログが表示されます。アイコンウィンドウで選んだページをショートカットに変換する場合は<選択されたレコード(S)>を、アイコンウィンドウで選択されたデータと関係なく、現在作業対象としているファイルの全データに対してショートカット変換を行ないたい場合は<全レコード(A)>を選びます。

4.6.11 ダウンロードされていないリンクをショートカット化 (L)

ダウンロード Ninja に取り込んだ HTML ファイルに設定されているリンクのうち、まだダウンロードが済んでいないものをショートカットにして登録します。

1. 対象とするホームページ (HTML) のサムネイルを選びます。
2. <機能(O)>メニューから<ダウンロードされていないリンクをショートカット化(L)>を選びます。
3. 「ダウンロードされていないリンクをショートカット化」ダイアログが表示されます。



■出力先のブック (O)

出力先のブックを選択します。

現在のブック (C)

現在開いているブックに登録します

他のブック (A)

<出力先ブック (O) >で選んだブックに登録します

ブックを作成 (B)

<名前 (N) >に指定した名前のブックを作成し登録します

子ブックを作成 (K)

<出力先ブック (O) >で選んだブックに<名前 (N) >に指定した名前の子ブックを作成し登録します

■種類

ショートカット化するデータの種類を選ぶことができます。

貼り付けられたデータ (E)

対象としたページに貼られたデータをショートカット化します

同一サーバへのリンク (S)

対象としたページと同一サーバへのリンクだけをショートカット化します

別のサーバへのリンク (T)

対象としたページと別のサーバへのリンクだけをショートカット化します

選択肢のない FORM 文 (F)

ラジオボタンや入力フィールドといった選択肢のないリンク先だけをショートカット化します

選択の余地のある FORM 文 (L)

ラジオボタンや入力フィールドといった選択肢のあるリンク先だけをショートカット化します

メールアドレス (M)

メールアドレスだけをショートカット化します

不明なプロトコル (U)

上記以外のものをショートカット化します

■拡張子 (X)

拡張子を指定して、特定の種類へのファイルへのリンクを抽出することができます。

■一覧から選択 (R)

「種類の設定」ダイアログが表示されます。一覧からファイルの種類と拡張子を選択することができます。



4.6.12 ダイヤルアップ接続 (I)

ダイヤルアップ接続を確立します。

4.6.13 ダウンロード予約 (D)

ダウンロードの予約を設定します。

4.6.13.1 タイマー予約 (T)

タイマー予約をオンにします。予約してあるダウンロードを実行可能な状態にします。タイマー予約がオンになっているときには、チェックマークが付いています。

タイマー予約をオフにするには、もう一度このコマンドを選択します。

4.6.13.2 予約ウィザード (W)

ウィザード形式でタイマー予約の設定が行なえます。

ウィザードでの操作方法はダウンロードウィザードと同様です。



4.6.13.3 リスト編集 (E)

「ダウンロード予約リスト編集」ダイアログで、予約リストの編集を行ないます。

4.6.13.3 予約実行 (X)

予約リストの中から、設定がオンになっている予約ダウンロードを今すぐ実行します。

4.6.14 壁紙に設定 (W)

ダウンロード Ninja に登録した画像データは、Windows の壁紙にすることができます。

1. 壁紙にしたいグラフィックデータをカードウィンドウで選び、<機能 (O)> - <壁紙に設定 (W)> を選びます。
2. サブメニューから<中央に表示 (C)>、<並べて表示 (T)>、<引き伸ばして表示 (E)> のいずれかを選びます。

4.6.14.1 中央に表示 (C)

選択した画像データを画面の中央に表示します。サイズの調整などは行ないません。

4.6.14.2 並べて表示 (T)

選択した画像データを画面いっぱいに並べて表示します。

4.6.14.3 引き伸ばして表示 (E)

選択した画像データを画面いっぱいに拡大 (または縮小) して表示します。

4.6.15 スライドショー開始 (N)

ダウンロード Ninja に取り込んだデータを、Web ブラウザに次々と表示させる機能を「スライドショー」と呼びます。以下の手順で操作します。

1. サムネイルを、スライドショーさせたい順番に並べます。
2. スライドショーを開始したい位置のサムネイルを選びます。
3. <機能 (O)>メニューの<スライドショー開始 (N)>を選びます。
4. スライドショーが始まります。

スライドショーコントローラを使って、再生、一時停止、再生方向をコントロールします。



スライドショーコントローラの「設定」ボタンでは、再生間隔や最後のデータまで表示し終わると自動的に最初に戻る「オートリピート」、画像サイズを制限して表示させる設定などが可能になります。



ショートカットメニューで<サイズ切り替え (S) >を選択すると、スライドショーコントローラのサイズが大・小に切り替わります。お使いの画面解像度に合わせて、使いやすい方を選んでください。



スライドショーコントローラをダブルクリックすると、画面の左端に収納されます。その状態でクリックすると、スライドショーコントローラが元に戻ります。



スライドショー中に shift キーを押しているとき、スライドショーを一時的に中止することができます。

4.6.16 ブラウザで前を表示 (R) / ブラウザで次を表示 (E)

選択しているデータの前のデータ / 次のデータを Web ブラウザに表示します。

4.7 設定 (C) メニュー

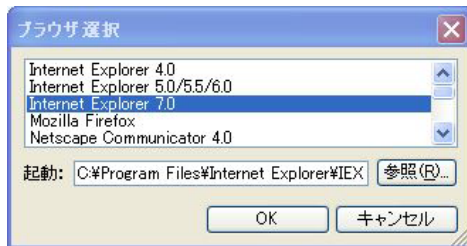
各種設定コマンドが集められています。

4.7.1 ブラウザ選択 (W)

ダウンロード Ninja と一緒に使う Web ブラウザを設定します。

ダウンロード Ninja は、Web ブラウザと連携して働きます。このため、この設定が正しく行なわれていない場合、正常に動作しないことがあります。

1. <設定 (C)>メニューから<ブラウザ選択 (W)>を選びます。
2. 「ブラウザ選択」ダイアログが表示されますので、お使いになっている Web ブラウザを選択し、<OK>を選びます。

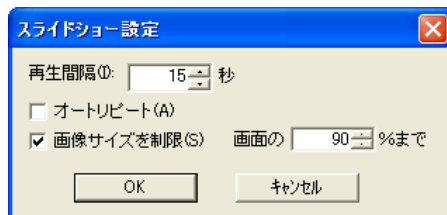


3. 複数の Web ブラウザがインストールされている場合は、使用中のものに切り替えてお使いください。

Internet Explorer コンポーネントを利用した Web ブラウザの場合は、「その他のブラウザ (IE コンポーネント使用)」を選び、「参照」ボタンをクリックして、使用する Web ブラウザのプログラムを指定します。

4.7.2 スライドショー設定 (S)

スライドショーの設定を行ないます。



■再生間隔 (I)

スライドショーの画面を切り替える間隔を設定します。

■オートリピート (A)

このチェックボックスをオンにすると、スライドショーの最後まで再生し終わった後に、また最初から再生を始めます。

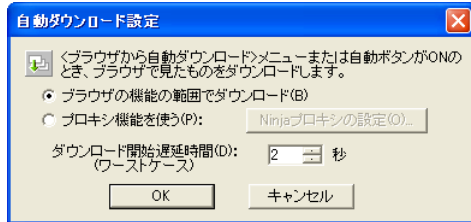
■画像サイズを制限 (S)

このチェックボックスをオンにすると、スライドショーで表示される画像サイズを制限します。

4.7.3 自動ダウンロード設定 (A)

<ダウンロード (D)>メニューの<自動ダウンロード (A)>で使用する、自動ダウンロード機能に関する設定を行ないます。

<設定 (C)>メニューから<自動ダウンロード (A)>を選択します。「自動ダウンロード設定」ダイアログが表示されます。



■ブラウザの機能の範囲でダウンロード (B)

インターネットから取り込む際、Web ブラウザを介して行ないます。

従って、取り込みを行なえるデータは、Web ブラウザの機能の制限を受けます。

VBScript、JavaScript、Java Applet といったデータを取り込むことができません。

■プロキシ機能を使う (P)

Ninja プロキシを使って取り込みを行ないます。

「ブラウザの機能の範囲で取込む (B)」と違って、VBScript、JavaScript、Java Applet などのデータを取り込むことができます。

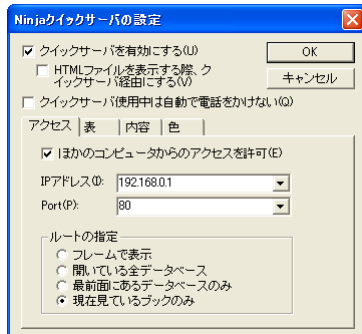
「Ninja プロキシの設定 (O)」ボタンを選ぶと、Ninja プロキシの設定ダイアログを呼び出すことができます。

■ダウンロード開始遅延時間 (D)

お使いのコンピュータの速度が遅いときなど、取り込みを開始するタイミングを遅らせなければならない場合などに使用します。秒数も指定できます。

4.7.4 クイックサーバ設定 (H)

クイックサーバに関する設定を行ないます。



■クイックサーバを有効にする (U)

クイックサーバ機能を有効にします。

このときお使いの Web ブラウザによっては、自動的にダイヤルしてしまうものがあります。

Internet Explorer の場合は、<ツール (T)> - <インターネットオプション (O)> - 「接続」タブで<ダイヤルしない (C)>をオンにして、自動的にダイヤルしないよう設定を変更ください。

■HTML ファイルを表示する際、クイックサーバ経由にする (V)

クイックサーバを経由して、HTML ファイルを閲覧します。

■クイックサーバ使用中は自動で電話をかけない (Q)

クイックサーバを使用中に、外部の URL に接続するときに、自動で電話をかけて接続しないようにします。

設定を完了しく OK >を選択すると、Web ブラウザで見るときの URL の指定方法が表示されます。その URL を指定すれば、外部(他のコンピュータ)や内部(ダウンロード Ninja が起動しているコンピュータ)から、Web ブラウザを通して公開された情報を見ることができます。

お使いの環境によって、表示される内容は違います。画面の指示に従って、Web ブラウザを設定してください。

注意：ダウンロード Ninja の起動時やクイックサーバ使用中に次のようなメッセージが表示される場合があります。

◎サーバーの初期化中にエラーが発生しました。 コード：0x2740 そのアドレスは使用中です

または、

◎既に同一アドレス／ポートを使っているプログラムがあるためクイックサーバの機能は使えません

これらの現象は、Web サービス (IIS や Personal Web Server) をご利用になられていて、そのポート番号などが競合しているため発生します。

以下にご案内する方法をお試しください。

<方法 1 >

ダウンロード Ninja 内の「クイックサーバー機能」を無効にする

1. ダウンロード Ninja を起動し、「設定」メニュー「クイックサーバ設定」を開きます。
2. 「クイックサーバーを有効にする」のチェックを外して< OK >ボタンを押します。

<方法 2 >

「クイックサーバー機能」のポート番号を競合しない番号に変更する

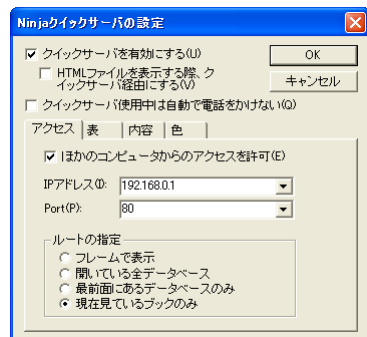
1. ダウンロード Ninja を起動し、「設定」メニュー「クイックサーバ設定」を開きます。
2. 「Port(P)」で設定されている番号を「8080」など他のサービスで使用されていない番号に変更する方法

<方法 3 >

すでに利用中の Web サービスを「停止」する

4.7.4.1 「アクセス」タブ

コンピュータへのアクセスに関する設定を行ないます。



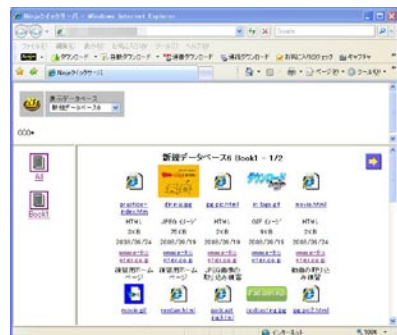
■ほかのコンピュータからのアクセスを許可 (E)

他のコンピュータから、ダウンロード Ninja が起動しているコンピュータへのアクセスを許可します。IP アドレスと Port 番号を指定してください。通常は設定を変更する必要はありませんが、他のソフトウェアなどと重なっていて変更する必要がある場合には変更してください。この機能を使うためには、お使いのコンピュータの IP アドレスが設定されている必要があります。

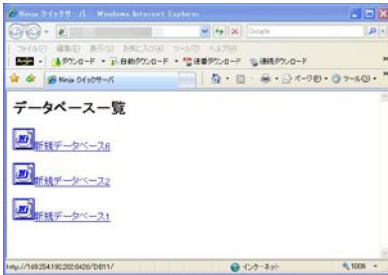
■ルートの指定

データを公開する範囲や方法を設定できます。

フレームで表示 データベース一覧、ブック一覧、サムネイルがひとつになったフレーム表示をします



開いている全データベース データベース一覧が表示されます



最前面にあるデータベースのみ ブック一覧が表示されます

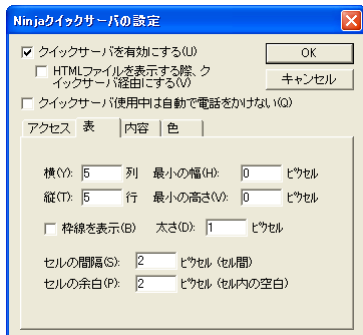


現在見ているブックのみ サムネイル一覧が表示されます

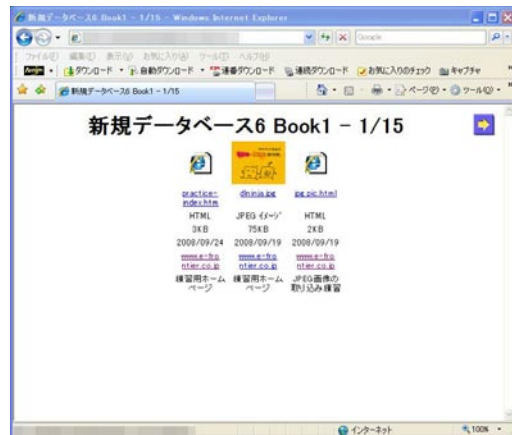


4.7.4.2 「表」 タブ

サムネイル表示で使用する表 (Table) の状態を設定します。
HTML の < table > タグに対するオプションです。



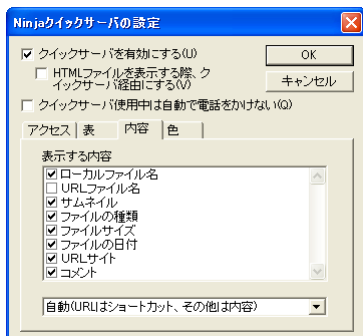
横 4 列、縦 2 行で表示



横 3 列、縦 1 行で表示

4.7.4.3 「内容」 タブ

どのデータをクイックサーバで公開するかを設定します。



■表示する内容

データの種別は「アイコンウィンドウ表示形式」ダイアログの設定が反映されます。

自動（URL はショートカット、その他は内容）

URL、ファイル名をクリックするとインターネットに接続し、サムネイルをクリックすると、収集したデータをそのまま出力します。

収集したファイルの内容のみ出力

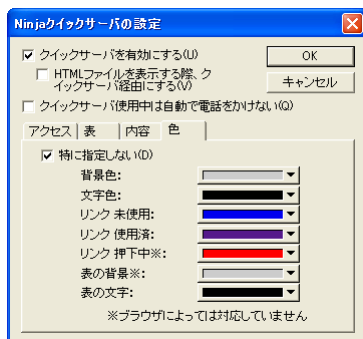
登録されたデータを常に出力します。

インターネットショートカットとして動作

その URL へ接続するリンクを出力します。

4.7.4.4 「色」 タブ

クイックサーバで公開する際の画面の色について設定します。ここで設定した色の配色に対応しない Web ブラウザもあります。



■特に指定しない

配色は Web ブラウザのデフォルトの色になります。

4.7.5 フィルタの設定 (F)

ダウンロード Ninja で利用できるプラグイン・フィルタを一覧表示して、「同じデータ形式のファイルを展開するプラグインが、ダウンロード Ninja に複数登録されている」、「動作が不安定になるので登録したプラグインを一時的に使用しない設定にしたい」といった場合は、以下の手順で行ないます。

1. <設定 (C)>メニューの<フィルタの設定 (F)>を選びます。
2. 「フィルタ管理」ダイアログが表示されます。使用可能なプラグイン・フィルタが一覧表示されています。



画面には、ダウンロード Ninja が現在使用できるプラグイン・フィルタが一覧表示されています。画面下部には、一覧で現在選ばれているプラグイン・フィルタの< A: 使用する>、< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>という 2 つの設定が表示されます。

一覧表の項目で、A と表示されているものは< A: 使用する>がオン、C と表示されているものは< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>がオンになっていることを示します。

これらを変更したいときは、そのプラグイン・フィルタを一覧から選び、< A: 使用する>、< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>のチェックボックスで設定します。

< A: 使用する>をオフにすると、そのプラグイン・フィルタは展開の際に使用されません。

< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>をオンにすると、展開しようとするファイルに拡張子がないためファイル形式が不明なデータを展開するときに使用されます。

「Type」が「Susie Filters」を選び、[オプション (O)] ボタンを選ぶと、次の図の「Susie フィルタのオプション」設定画面が現れます。



画面下部には、一覧で現在選ばれているプラグインの< A: 使用する>、< B: データアクセスを最適化して使用>、< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>の 3 つの設定が表示されます。

一覧表の項目で、A と表示されているものは< A: 使用する>がオン、B と表示されているものは< B: データアクセスを最適化して使用>がオン、C と表示されているものは< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>がオンになっていることを示します。

これらを変更したいときは、そのプラグインを一覧から選び、< A: 使用する>、< B: データアクセスを最適化して使用>、< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>のチェックボックスで設定します。

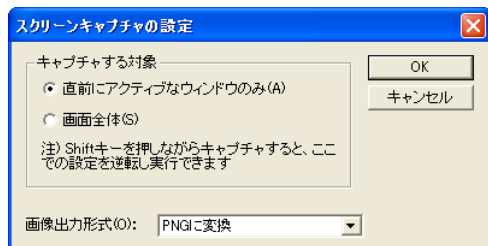
< A: 使用する>をオフにすると、そのプラグインは展開の際に使用されません。

< B: データアクセスを最適化して使用>をオンにすると、処理速度は速くなりますが、プラグインの安定性は低くなります。プラグインがうまく動作しない場合、これをオフにして試してください。

< C: 拡張子不明なデータの確認に使う>をオンにすると、展開しようとするファイルに拡張子がないためファイル形式が不明なデータを展開するときに使用されます。

4.7.6 スクリーンキャプチャの設定 (P)

「スクリーンキャプチャの設定」ダイアログが表示されます。



■直前にアクティブなウィンドウのみ (A)

直前にアクティブだったアプリケーションのウィンドウ全体をキャプチャします。

■画面全体 (S)

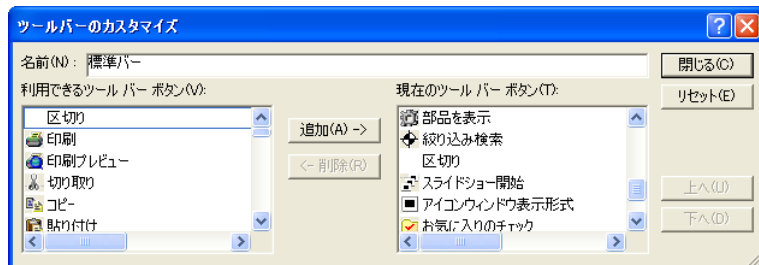
直前にアクティブだったアプリケーションを含めて、画面全体をキャプチャします。

■画像出力形式 (O)

保存する画像のフォーマットを Windows の Bitmap 形式、JPEG、PNG の中から選択します。

4.7.7 ツールバーのカスタマイズ(T) / 標準バー(1) / ダウンロードバー(2)

ツールバーに並んでいるボタンをカスタマイズできます。<設定 (C) >メニューの<ツールバーのカスタマイズ (T) >を選び、サブメニューから<標準バー (1) >または<ダウンロードバー (2) >を選びます。



■利用できるツールバーボタン (V)

ツールバーで利用できるボタンのリストです。

■追加 (A)

<利用できるツールバーボタン (V) >で選択したボタンを、<現在のツールバーのボタン (T) >に追加します。

■削除 (R)

<現在のツールバーのボタン (T) >で選択したボタンを削除します。

■現在のツールバーボタン (T)

現在、ツールバーに表示されているボタンです。

■閉じる (C)

ツールバーのカスタマイズを終え、「ツールバーのカスタマイズ」ダイアログを閉じます。

■リセット (E)

ツールバーの設定を、初期状態に戻します。

■上へ (U)、下へ (D)

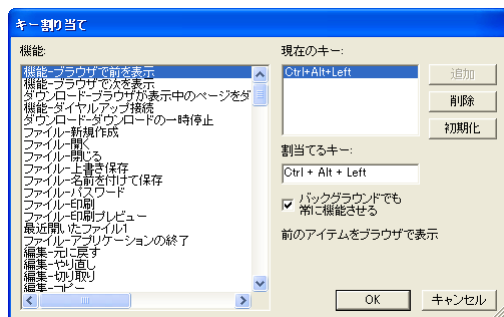
選択したボタンを、上や下に移動させます。

ツールバー上で Alt キーを押しながらボタンをドラッグ・アンド・ドロップするとボタンの順番や区切りを変更することができます。その際、ボタンをボタン半分だけ右側へずらすと、区切りが作られます。左側にずらすと、その前の区切りが消えます。

ツールバーに置くアイコンを変更したとき、正しく変更されない場合があります。このようなときは、ツールバーの左端（または上端）にある二重線をダブルクリックして、ツールバーをフロートさせた後、そのタイトルバー部分をダブルクリックして、元の位置に戻してみてください。これで変更が正しく反映されます。

4.7.8 キー割り当て (K)

「キー割り当て」ダイアログで、いろいろなコマンドにショートカットを割り当てることができます。



■機能

ショートカットを割り当てたい機能を選択します。

■現在のキー

選択されている機能に、割り当てられているショートカットが表示されます。

■追加

ショートカットを追加します。

■削除

ショートカットを削除します。

■初期化

ショートカットの設定を初期状態に戻します。

■割り当てるキー

ショートカットとして割り当てるキーを入力します。

入力したショートカットが、他の機能で使われている場合は、その旨が表示されます。

■バックグラウンドでも常に機能させる

機能によっては、ダウンロード Ninja がバックグラウンドにいても機能させた方が便利なキーもあります。そのときは、このチェックボックスを ON にすると便利です。機能によっては、選択できません。

すでにコマンドに割り付けられているキーの組み合わせを、新たなコマンドに割り付けようとする時「○○を、すでに使用している「○○○」から削除しますか？」というダイアログが表示されます。新たなコマンドにのみ割り付ける場合は <はい (Y) > を選びます。モードによって使い分けができるコマンドのため、重複して割り付けたい場合は <いいえ (N) > を選びます。

4.7.9 画面の配色 (C)

「画面の配色」ダイアログで、画面の配色の設定をします。



■ Windows の設定を使用

Windows の <画面のプロパティ> と同じ画面配色にします。

■登録

オリジナルの配色を設定し、登録します。

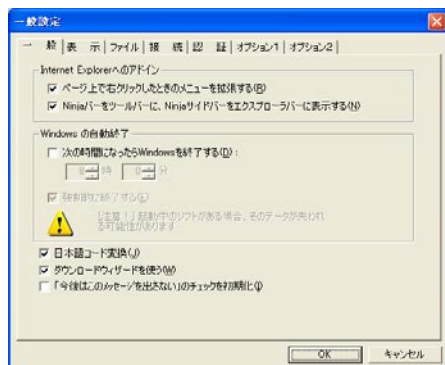
■削除

登録されている配色を削除します。

4.7.10 一般設定 (R)

ダウンロード Ninja の各種の設定を行ったり、現在開いているデータベースファイルの設定を変更したりします。「一般設定」ダイアログが表示されます。

4.7.10.1 「一般」タブ



ダウンロード Ninja のファイルに関する設定を行ないます。

■ページ上で右クリックしたときのメニューを拡張する (R)

このチェックボックスをオンにすると、Internet Explorer のページ上で右クリックしたときのショートカットメニューに拡張コマンドを追加します。

■Ninja バーをツールバーに表示する (N)

このチェックボックスをオンにすると、Ninja バーを Internet Explorer のツールバーとして表示します。

■次の時間になったら Windows を終了する (D)

Windows を自動的に終了させる時間を設定します。コンピュータが自動終了に対応している必要があります。

■強制的に終了する (E)

時間になったら、すべてのアプリケーションを終了して、Windows を終了します。他に起動中のアプリケーションがあった場合、データが失われる可能性がありますので、ご注意ください。

■日本語コード変換 (J)

チェックボックスをオフにすると、Web ブラウザからページを収集したときにページの文字列に日本語が含まれていても無視して処理を行ないます。例えばフランス語など英語以外のページなどには、日本語のコードと重複したコードが含まれますが、そのようなページの場合にはこのチェックははずします。

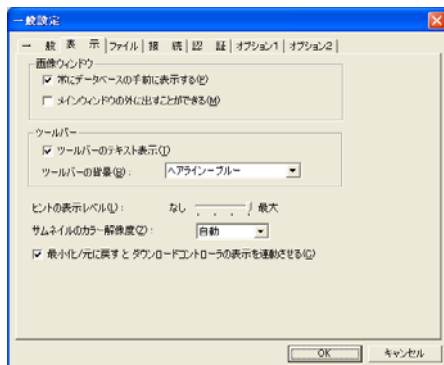
■ダウンロードウィザードを使う (W)

このチェックボックスをオンにすると、データの取り込みにウィザード形式のダウンロードウィザードを使います。オフにすると、タブ形式の「ダウンロード設定」ダイアログが使われます。

■「今後はこのメッセージを出さない」のチェックを初期化 (I)

ダイアログで表示される「今後はこのメッセージを出さない」のチェックを初期化し、すべて表示します。

4.7.10.2「表示」タブ



■常にデータベースの手前に表示する (P)

画像ウィンドウを、見やすいように常にデータベースの最前面に表示します。

■メインウィンドウの外に出せる (M)

画像ウィンドウをメインウィンドウの外に出せるように設定するオプションです。

■ツールバーのテキスト表示 (T)

ツールバーのアイコンにその機能をテキストで表示するかどうかを設定します。

■ツールバーの背景 (B)

ツールバーの背景を選択することができます。

■ヒントの表示レベル (L)

ヒントの表示レベルを指定します。

なし	ヒントを表示しません
↑	ツールバーのみヒント表示します
↓	ファイル名や URL 上で短縮しない情報を表示します
最大	ファイルの内容やブック情報を表示します

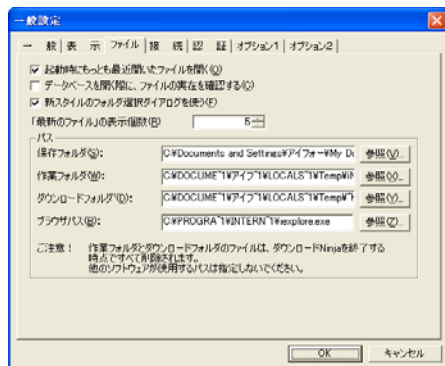
■サムネイルのカラー解像度 (Z)

サムネイルの色数を選択します。

■最小化 / 元に戻すとダウンロードコントローラの表示を連動させる (C)

このチェックボックスがオンになっていると、ダウンロード Ninja の「最小化」でダウンロードコントローラが表示され、「元に戻す」で非表示になります。

4.7.10.3 「ファイル」 タブ



■起動時にもっとも最近開いたファイルを開く (O)

前回ダウンロード Ninja を終了したときに開いていたファイルを、ダウンロード Ninja を起動したときにいつも自動的に開く設定にするオプションです。

■データベースを開く際に、ファイルの存在を確認する (C)

データベースを開く際に、ファイルが存在するかどうか確認します。

■新スタイルのフォルダ選択ダイアログを使う (F)

<機能 (O) >メニューの<ファイルを移動 (M) >コマンドで表示されるダイアログを、ツリー表示が視覚的にわかる、新しいスタイルの選択ダイアログにします。

■「最新のファイル」の表示個数 (R)

<ファイル>メニューの<最新のファイル>に表示するファイルの個数を指定します。

<パス>ではダウンロード Ninja が使用する各種のフォルダを設定します。通常はこの設定は変更する必要はありません。特に<作業フォルダ (W) >と<ダウンロードフォルダ (D) >は、ダウンロード Ninja が終了するとき内部をクリアするので、ダウンロード Ninja と関係ないファイルが存在するようなフォルダは絶対に指定しないようにしてください。ダウンロード Ninja はこの2つのフォルダ内に作業用の暫定ファイルを作成します。

<保存フォルダ (S) >には、ダウンロード Ninja のデータベースファイルをデフォルトでどの位置に置くかを指定します。<ブラウザパス (B) >は、ダウンロード Ninja から Netscape Navigator や Internet Explorer などの Web ブラウザを起動するときのパスを指定します。

これらのパスは、初心者の方は変更なさらないでください。ダウンロード Ninja が正常に動作しなくなる場合があります。

4.7.10.4「接続」タブ



■社内 LAN など常時接続 (L)

インターネットに常時接続されている場合はこれを選択します。

■次の接続先にダイヤルアップする (D)

ダイヤルアップ接続環境の場合はこちらを選択し、<ダイヤルアップ設定>に必要な事項を入力します。

■接続先 (I)

Windows の「ダイヤルアップネットワーク」で作成した接続先を選択します。

■ユーザー ID (U)、パスワード (P)、パスワードの保存 (A)

通常は<接続先>に合わせて、自動で入力されます。指定した接続先へのユーザー名、パスワードを入力します。パスワードを保存するときは<パスワードの保存>も選択します。

■リダイヤルの回数 (K)、リダイヤルの間隔 (T)

リダイヤルの回数と間隔を設定します。

■ダウンロード予約の実行が完了したら切断する (E)

ダウンロード予約で設定されているデータの収集が完了したら、回線を切断します。

■ダウンロード予約の実行中に、切断されたら再接続する (R)

ダウンロード予約を実行中に、何らかの理由で回線が切断された場合、再接続をしてデータの収集を続けます。

■次の時間になったら強制切断する (F)

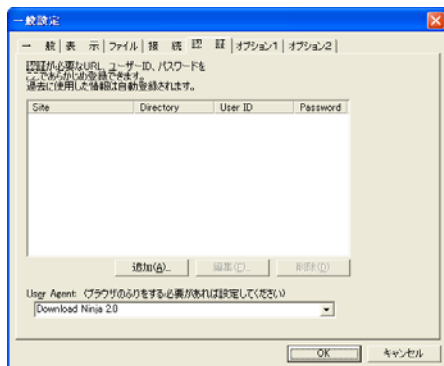
ここで設定された時間になったら、ダウンロード Ninja の動作に関わらず回線を切断します。

■プロキシサーバ経由で接続 (P)

プロキシサーバ経由で Internet に接続するとき、このチェックボックスをオンにします。<設定 (S)>をクリックして、プロキシサーバの設定を行ないます。LAN 接続の場合や一部のプロバイダでは、このダイアログの<HTTP>や<ポート>、<例外 (E)>を設定する必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者が各プロバイダにおたずねください。

また<ブラウザと同じ設定 (C)>を選ぶと、ブラウザで行なっている設定が反映されます。

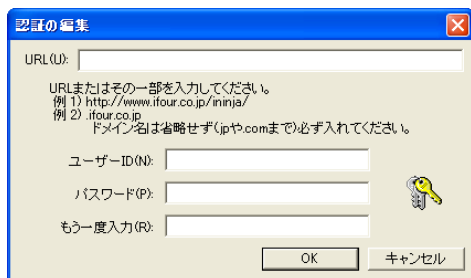
4.7.10.5 「認証」 タブ



ダウンロード Ninja を使って、ユーザー認証が必要なページにアクセスする場合、ここで認証の設定を登録しておくことができます。

[追加 (A)] で認証設定を追加し、[編集 (E)] で登録済みの認証設定を編集、[削除 (D)] で認証設定を削除します。

[追加 (A)] を選択すると「認証の編集」ダイアログが表示されます。



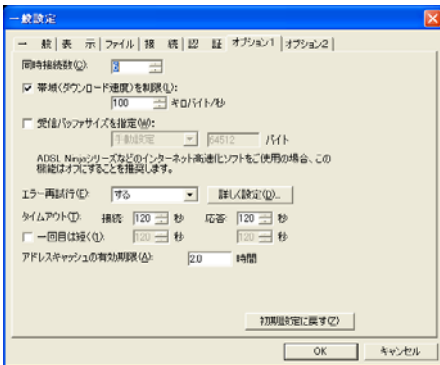
ここで認証に必要なユーザー名やパスワードの設定を行ないます。

■ User Agent

取り込み予約の際に、接続先から問い合わせられるブラウザ情報を設定します。ページによっては、閲覧するブラウザを変更したり、ダウンロード Ninja で取り込みを行なうたびに ID とパスワードの入力が必要となる場合があります。このようなときにご使用のブラウザを設定しておくことで、パスワードなどの入力を省くことができます。

User Agent に使用するブラウザを追加するためには、一度、クイックサーバ機能を使用する必要があります。

4.7.10.6 「オプション1」タブ



取り込み時の高度な設定を行います。デフォルトで一般的に最善と思われる設定になっています。初心者の方は、変更しないようお勧めいたします。

■同時接続数 (C)

ダウンロード Ninja が取り込みを行なう際、同時に何ヶ所の接続を行うかを設定します。

接続数を減らすと、全体のスピードは落ちますが、大きなファイルだけを連続して取り込むときは成功率が高くなります。

また、タイムアウトが短いサーバから取り込みを行なう場合、同時に多数の接続を行なうと、接続を切られてしまう場合があります。このようなときは、接続数を減らします。

■帯域 (ダウンロード速度) を制限する (L)

このチェックボックスをオンにすると、ダウンロード Ninja が使用する帯域 (ダウンロード速度) を制限します。

「キロバイト / 秒 (Kbps)」で指定してください。

Web ブラウズをしながら大きなファイルをダウンロードしているときなど、ブラウザのネットワーク速度に影響を与えないようにすることができます。

■受信バッファサイズを指定 (W)

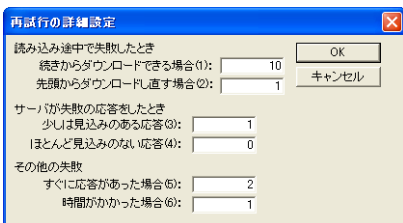
このチェックボックスをオンにすると、ダウンロード Ninja を利用するときの、受信バッファサイズ (RWIN 値) を指定することができます。

利用する回線にあわせて、選択してください。「手動設定」を選択すると、値をバイト単位で指定することができます。

■エラー再試行 (E)

エラー時の再試行を設定します。しない / する / 多めに再試行 / カスタムから選択することができます。

<詳しく設定 (D) > ボタンを選ぶと次のダイアログが表示されます。



ケースごとに再試行の回数を細かく設定することができます。

◎読み込み途中で失敗したとき

- 続きから取込める場合 (1)
- 先頭から取込直す場合 (2)

CGI スクリプトで出力される掲示板のデータや、検索結果のデータなど、必ず先頭から取り込みなおす必要があるデータ、続きから取り込めるデータ、に分けて回数を指定します。

◎サーバーが失敗の応答をしたとき

- 少しは見込みのある応答 (3)
- ほとんど見込みのない応答 (4)

サーバがビジーの時に返すエラーなど、取り込める見込みがある回答をサーバが返した場合、「Not Found」や認証が必要といった取り込める見込みのない回答をサーバが返した場合、に分けて回数を指定します。

◎その他の失敗

- すぐに応答があった場合 (5)
- 時間がかかった場合 (6)

サーバがリクエストに対して最初のデータを返す時間が短い場合 (すぐに応答があった場合) と、時間がかかった場合に分けて回数を指定します。

■タイムアウト (T)

「接続」(つなぎに行ってからサーバから最初の応答があるまでの時間)、「応答」(サーバからの応答があったから次の応答があるまでの時間) をどれだけ待ってタイムアウトとするかを指定します。

■一回目は短く (1)

1 回目のタイムアウトをわざと短く設定してやると反応が遅いサーバがわかります。これらのサーバからの取り込みを優先させたくない場合は、ここで「接続」「応答」時間を調整します。

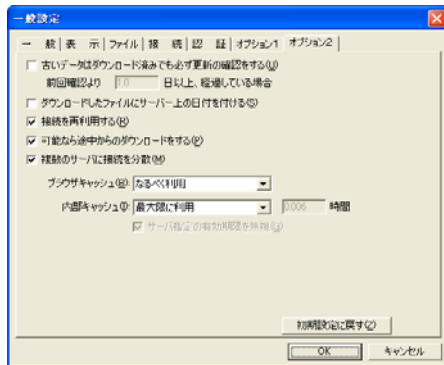
■アドレスキャッシュの有効期限 (A)

接続を高速化するために、ダウンロード Ninja ではアドレスをキャッシュしています。これをどの期間有効にするかを設定します。

■初期設定に戻す (Z)

タブ内の設定をすべて初期設定に戻します。

4.7.10.7 「オプション2」 タブ



■古いデータはダウンロード済みでも必ず更新の確認する (U)

このチェックボックスがオンになっていると、すでにダウンロード済みのデータでも、更新確認をします。前回確認からの経過日数を指定します。

■ダウンロードしたファイルにサーバー上の日付を付ける (S)

取り込んだファイルの日付をオリジナルの日付ではなく、取り込んだ日時にします。

■接続を再利用する (R)

一回成功した接続を再利用する場合に選びます。この設定をオンにすると、取り込みが遅くなる場合やデータが化けてしまう場合、また接続を再利用することができないことがわかっている場合はオフにしてください。

■可能なら途中からのダウンロードをする (P)

一度途中で取りこみに失敗したデータを、失敗した時点から再取り込みする機能を使用するかどうかを設定します。

■複数のサーバに接続を分散 (M)

1つのURLに複数のIPアドレスが設定されている場合、これを分散して使用するかどうかを設定します。

■ブラウザキャッシュ (B)

「なるべく利用」は、ブラウザのキャッシュをかなり高い確度で利用します。

「特定の場合のみ利用」は、ブラウザが表示中のデータの取り込みや自動取込機能のような、明らかにブラウザが表示中のデータを取り込むときだけブラウザのキャッシュを使用します。

■内部キャッシュ (I)

Ninja プロキシの中のキャッシュの利用方法についての設定です。

利用しない

内部キャッシュを利用しません。

最大限に利用

内部キャッシュをかなり高い確度で利用します。

一定時間で更新確認

右の入力フィールドに設定された時間ごとに、キャッシュの内容が更新されているかどうかを確認してから利用します。

必ず更新確認

時間と関係なく、キャッシュの内容が更新されているかどうかを確認してから利用します。

■サーバ指定の有効期限を無視

「一定時間で更新確認」のオプションです。

取り込むファイルの中にはサーバが有効期限を通知するものがあります。期限が0といってくるファイル（広告など）を取り込む場合、サーバに従って更新確認するか、有効期限を無視するかを選びます。

■ SWF 再生取り込みを有効にする (E)

■ Windows Media Player の RTSP プロトコルをオフにする (W)

■初期設定に戻す (Z)

タブ内の設定をすべて出荷時の初期設定に戻します。

4.8 ウィンドウ (W) メニュー

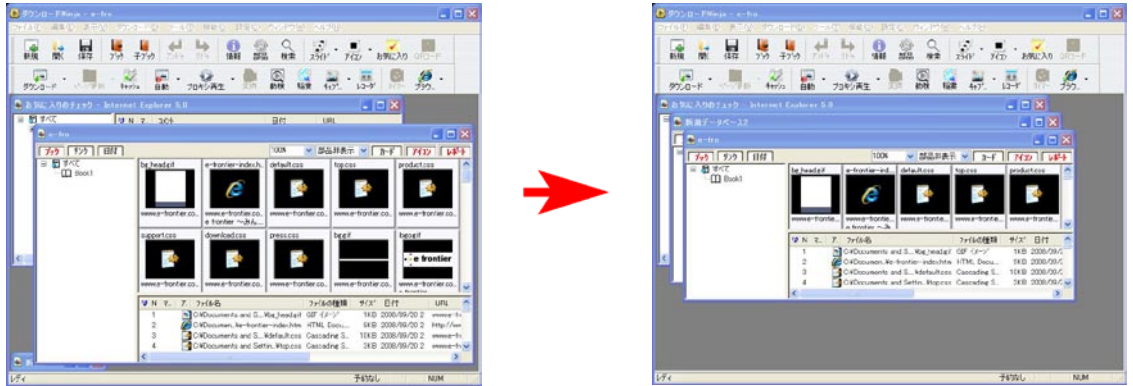
ダウンロード Ninja のウィンドウに関するコマンドが用意されています。

4.8.1 もう 1 つウィンドウを開く (N)

現在開いているウィンドウを、複製して表示します。同じ内容のウィンドウがもう 1 つ表示されることとなります。

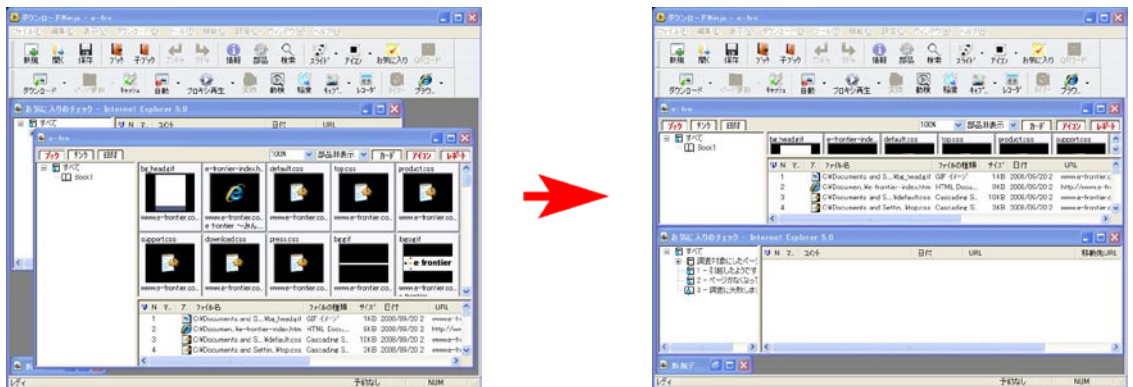
4.8.2 重ねて表示 (C)

現在開いているウィンドウを重ねる形で表示します。



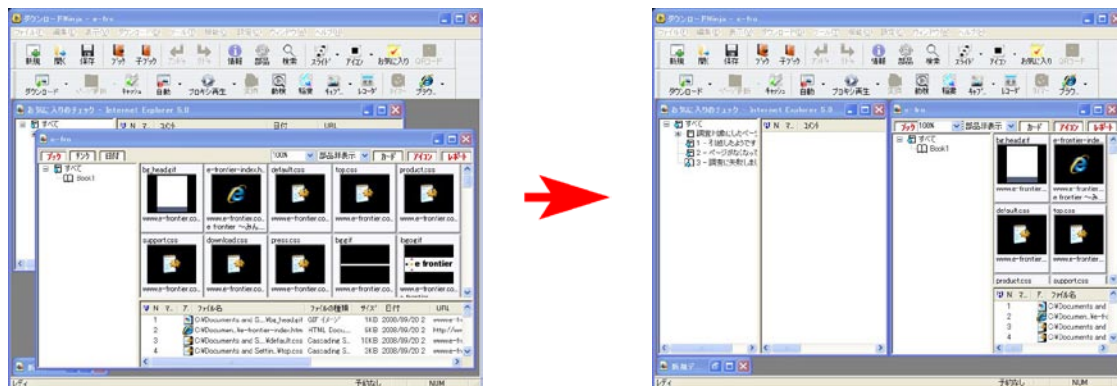
4.8.3 上下に並べて表示 (T)

現在開いているウィンドウを、上下に並べて表示します。ダウンロード Ninja のウィンドウいっぱい、ウィンドウが並べて表示されます。



4.8.4 左右に並べて表示 (V)

現在開いているウィンドウを、左右に並べて表示します。ダウンロード Ninja のウィンドウいっぱい、ウィンドウが並べて表示されます。



4.8.5 現在開いているウィンドウ

<ウィンドウ (W)>メニューの一番下には、現在開いているウィンドウの一覧が表示されます。ここから作業をするウィンドウを選択することもできます。

ウィンドウ(W)

もう1つウィンドウを開く(N)

重ねて表示(O)

上下に並べて表示(T)

左右に並べて表示(V)

1 新規データベース1 Alt+1

2 新規データベース2 Alt+2

3 practiceページ.NFI Alt+3

4.9 ヘルプ (H) メニュー

ダウンロード Ninja のヘルプやバージョン情報等が用意されています。

4.9.1 バージョン情報 (A)

ダウンロード Ninja のバージョン情報を表示します。

4.9.2 使用許諾 (C)

ダウンロード Ninja の使用許諾を表示します。

4.9.3 イーフロンティアホームページへ (I)

弊社サイトにアクセスします。

インターネットにアクセスできる環境が必要です。

4.9.4 ダウンロード Ninja オンラインユーザー登録 (U)

弊社サイト内にある、イーフロンティアユーザー登録ページにアクセスします。

インターネットに接続されている必要があります。

5. ヒント

ここでは、機能的なご注意と使用時のヒントを記載します。最新の情報は、製品ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.e-frontier.co.jp/dlninja/7/>

5.1 機能的なご注意と使用時のヒント

5.1.1 デフォルト時に定義されているダウンロード機能

ダウンロード Ninja には、ダウンロード方法を細かく登録し、いつでも呼び出すことができる「ユーザー定義」機能があります。出荷時には、<ダウンロード (D)> - <ブラウザが表示中のページをダウンロード (B)>、<ダウンロード (D)> - <選択中のページとリンク先をダウンロード (L)> に、以下のコマンドの一部がこのユーザー定義機能を使って割り付けられています。

- <1 階層目までダウンロード >
- <1 階層目までダウンロード (同一ドメイン内)>
- <2 階層目までダウンロード >
- <階層制限しないでダウンロード >
- <更新された内容があればダウンロード >
- <更新された内容で上書き >
- <掲示板 (MiniBBS 系 50 ページまで)>
- <掲示板 (Yahoo! Japan 系 そのトピックのみ)>
- <Web サイトの構造ダウンロード >
- <JPEG のみダウンロード >
- <JPEG のみダウンロード (1 階層目まで /15KB 以上のもの) >
- <ポッドキャストダウンロード >
- <Audio/Video とその説明のみダウンロード >
- <広告・バナーを排除してダウンロード >
- <選択されたデータのみ再ダウンロード >

本項では、これらがどのような設定になっているのかについて解説します。また、これらはユーザー定義機能を使って登録してあるので、不要の場合削除していただくことが可能です。ただし一度削除してしまうと、ダウンロード Ninja を再度インストールしない限り、復活させられない点にご注意ください。

- <1 階層目までダウンロード >
- <1 階層目までダウンロード (同一ドメイン内)>
- <2 階層目までダウンロード >
- <階層制限しないでダウンロード >

- <JPEG のみダウンロード >
- <JPEG のみダウンロード (1 階層目まで /15KB 以上のもの) >

● <更新された内容があればダウンロード>

現在 Web ブラウザで表示・選択されているページよりも、新しい内容に変更されているページがあれば、それらのダウンロードを行います。ダウンロードする階層は、ダウンロード時に指定する事ができます。

● <更新された内容で上書き>

データベース内のページを常に最新のもので管理する場合に使用します。現在 Web ブラウザで表示 / 選択されているページに更新分があれば、それらのダウンロードを行います。それまでにダウンロードしたページに上書きされます。

● <掲示板 (MiniBBS 系 50 ページまで)>

掲示板として広く普及している MiniBBS 系掲示板の投稿内容を最新の投稿から 50 件ダウンロードします。

● <掲示板 (Yahoo! Japan 系 そのトピックのみ)>

現在表示されているトピックのメッセージを取り込みます。例えば、ホーム > コンピュータとインターネット > ソフトウェア > インターネット 内の「ダウンロード Ninja について」のトピックを表示している場合、「ダウンロード Ninja について」内の全てのメッセージをダウンロードします。

● <広告・バナーを排除してダウンロード>

ページ内に含まれているバナー広告などをできるだけダウンロードしない設定です。現在 Web ブラウザで表示・選択されているページからリンクされているページのダウンロードを行います。そのページに含まれている広告・バナーなどをできるだけダウンロードしないようにしますので、ダウンロード速度がアップします。ダウンロードする階層は、ダウンロード実行時に指定する事ができます。

● <Audio/Video とその説明のみダウンロード>

mp3 や video ファイルをそのリンク元の文書といっしょにダウンロードします。Audio/Video へリンクしていない文書はダウンロードされません。

● <Web サイトの構造ダウンロード>

現在 Web ブラウザで表示・選択されているページから指定された階層まで、Web サイトがどのような構造になっているのかを調べ、その構造を ダウンロード Ninja に登録します。「表示 (V)」メニューから「リンクツリー表示 (L)」に切り替えて、ツリー図で構造を確認ください。

● <選択されたデータのみ再ダウンロード>

指定されたデータだけ更新確認してダウンロードします。部品やリンクは一切ダウンロードしません。

● <ポッドキャストダウンロード>

ポッドキャストに対応した xml ファイルのリンク先を参照して、配信されている音声ファイルや画像ファイルを一括してダウンロードします。

5.1.2 ダウンロード Ninja で作ったデータベースファイルを削除

エクスプローラを使って、削除したいデータベースファイルの名前がついたフォルダを削除してください。データベースファイルが保存される場所は、標準の設定では、<設定 (C)> - <一般設定 (R)> の <ファイル> タブ内の「パス」- 「保存フォルダ (S)」で指定してあります。このフォルダを削除すると、データベースファイルとそのデータベースにダウンロードしたデータがともに削除されます。

5.1.3 稲妻サーチの注意

●検索結果のページの内容

稲妻サーチで検索を行うと、条件に該当したページが以下の例のように表示されます。

- [1]---> e frontier ～みんなの感動をかたちに～別ウィンドウ表示 .
- [2]---> http://www.e-frontier.co.jp/
- [3]---> [マーク : 重要] 更新日付 : . . . [Google]
- [4]---> ...イーフロンティア ネットコンテンツをまるごと保存『ダウンロードNinja』発売のお知らせ
20XX年XX月

[1] のリンクをクリックすると、ダウンロード Ninja にダウンロードした該当ページが表示されます。

[2] のリンクをクリックすると、条件に該当したオリジナルのページが表示されます。

[3] の [マーク : 重要] をクリックすると、該当ページをブラウザで表示せずに、ダウンロード Ninja にダウンロードした該当ページに「重要」のマークを設定します。

また、行末には [Google] のように、出展の検索サービスの名前が表示されます。

これをクリックすると、検索サービスの同ページが表示されます。

検索サービスが複数の該当分を返したときは、[Google][BIGLOBE サーチ] のように、複数個並ぶ場合があります。

[4] は、条件に該当する文字列の行を表示しています。

●稲妻サーチの結果ページ

稲妻サーチの検索結果ページは、自動的に ダウンロード Ninja の「稲妻サーチ」という名前のデータベースに登録されます。

アイコンウィンドウの中の「コメント」が「稲妻サーチ (インターネット) . . . 」で始まるアイコンをダブルクリックすると、検索結果のページが Web ブラウザに表示されます。

●稲妻サーチの中止

稲妻サーチを中止したい場合は、以下の操作を行ってください。

- a) Web ブラウザの「中止」「前に戻る」「次へ進む」を選ぶ
- b) Web ブラウザで別のホームページを表示させる
- c) ダウンロード Ninja の「ダウンロード中！」ダイアログで中止する
- d) 稲妻サーチの検索コントローラで「読込中止」ボタンを押す

●ブック検索に関するご注意

ダウンロード Ninja でデータベースファイルが開かれていない状態で稲妻サーチのブック検索を実行すると、エラーとなります。ブック検索を行う際は、検索対象とするデータベースファイルを開いた状態で実行してください。

●Ninja バーを使用している場合のご注意

Ninja バーの「スクリプトの禁止」を有効にしている状態では、稲妻サーチは動作いたしません。「スクリプトの禁止」を無効にしてお使いください。

5.1.4 Ninja バーの注意

● Ninja バーの表示メニューに関するご注意

お使いの Internet Explorer のバージョン (*) によっては、Ninja バーを追加すると、<表示 (V)> - <ツールバー (T)> の中に <Ninja バー (J)> が正しく表示されず、<ラジオ (R)> が2つ並んで表示されてしまう場合があります。

●旧バージョンのダウンロード Ninja に搭載されていた Ninja バーをご利用時の注意

旧バージョンのダウンロード Ninja をアンインストールせずに本バージョンのインストールを行った場合、本バージョンから Ninja バーの登録を行っても古い Ninja バーが表示される場合があります。このような場合は、一度、<設定>-<一般設定> で設定ダイアログを開き、<一般> タブの「Ninja バーをツールバーに、Ninja サイドバーをエクスプローラバーに表示する」オプションをオフにして設定を登録させた後、再度、設定ダイアログを開き、同オプションをオンにしてください。

● Ninja バーから [リンクの一覧を表示] を実行する際のご注意

ダウンロード Ninja の <設定 (C)>-<一般設定 (R)> で「一般タブ」の「ページ上で右クリックしたときのメニューを拡張する」のチェックがオフの場合、Ninja バーから [リンクの一覧を表示] を実行すると、「ブラウザ拡張がインストールされていません。」というメッセージが表示されます。リンクの一覧表示をご利用になる際は、「ページ上で右クリックしたときのメニューを拡張する」のチェックをオンにご利用ください。

5.1.5 MPEG-1 ムービーファイルの展開について

動画の展開コマンドを使って各コマのサムネイルを作成する際、ムービーファイルによってはサムネイルの一部にノイズが入る場合があります。

5.1.6 mpeg ファイルの結合に関する制限

<ツール (T)>-<mpeg ファイルの結合 (C)> コマンドを使って結合ができるファイルは、同一画面サイズ、同一ビットレートの MPEG ファイル同士に限ります。ご了承ください。

5.1.7 Web ブラウザがどのページにもアクセスできなくなった

Web ブラウザがどのページにもアクセスできなくなった (画面が白いまま何の情報も表示しない) 場合、以下の問題が起こっている可能性があります。

<設定 (C)> - <自動ダウンロード設定 (P)> の「プロキシ機能を使う (P)」の設定で、<自動ダウンロード (A)> コマンドを使ってデータのダウンロードを行うとき、ダウンロード Ninja は、Web ブラウザのプロキシの設定を自動的に調整します。通常は、何の支障もなく自動調整されますが、他の先読みソフトの不都合な操作や、ソフトウェアのロックなどの事情によって、この設定が復元されないことがあります。この場合、Web ブラウザが正しくインターネットに接続できなくなり、画面に何の情報も表示されなくなります。このような症状がおこったときは、次の方法で復帰させてください。

- 1) Web ブラウザ、ダウンロード Ninja 両方を終了する
- 2) ダウンロード Ninja を立ちあげる
- 3) <設定 (C)> - <自動ダウンロード設定 (P)> を選ぶ
- 4a) 「プロキシ機能を使う (P)」が選ばれているときは、「ブラウザの機能の範囲でダウンロード (B)」に変更し、[OK] を選んでダイアログを閉じてから、ダウンロード Ninja を終了する

- 4b) 「ブラウザの機能の範囲でダウンロード (B)」が選ばれているときは、そのまま [OK] を選び、ダウンロード Ninja を終了する
- 5) Web ブラウザの接続方法を確認します。

< Internet Explorer の場合 >

- i) コントロールパネルの「インターネット オプション」を開きます
- ii) 「接続」タブをクリックします。
- iii) a) ダイアルアップ接続で、インターネットに接続されている場合は、「ダイアルアップの設定」から接続先を選び、「設定」ボタンを押して、「プロキシサーバーを使用する」の設定および、「詳細」ボタンを押して設定が変更されている場合は、普段インターネットにアクセスする設定に書き換えを行ってください。
- iii) b) LAN 経由で、インターネットに接続されている場合は、「LAN の設定」ボタンを押して、「プロキシサーバーを使用する」の設定および、「詳細」ボタンを押して設定が変更されている場合は、普段インターネットにアクセスする設定に書き換えを行ってください。

5.1.8 ツールバーの変更が正しく反映されない

< ツールバーのカスタマイズ (T) > コマンドを使って、ツールバーに置くアイコンを変更したとき、正しく変更されない場合があります。このようなときは、ツールバーの左端 (または上端) にある二重線をダブルクリックして、ツールバーをフロートさせた後、そのタイトルバー部分をダブルクリックして元の位置に戻してみてください。これで変更が正しく反映されます。

5.1.9 フロート状態のツールバーの表示異常

ツールバーをフロート状態にしているとき、画面からはみ出てしまい、表示されなくなった場合は、< 設定 (C) > - < 一般設定 (R) > - 「表示」タブの「ツールバーのテキスト表示 (T)」を ON または OFF (現在の設定をどちらかに変更する) にしてください。ツールバーが復帰します。

5.1.10 印刷プレビュー機能に関する注意

一部のプリンタドライバでは、印刷プレビューを実行した際に、プレビュー画面が表示されるまで時間がかかったり、プレビュー画面に切り替わらない場合があります。

5.1.11 「連結して表示」を行う際の注意

言語や文字コードが違う HTML ファイル選択して < ツール > - < 連結して表示 > を行った場合、ブラウザにはそれぞれの正しい文字コードでは表示されません。特に、日本語 (シフト JIS) 日本語 (EUC) の混在には、ご注意ください。そのような場合は < ツール > - < 連結してテキストで表示 > をお使い下さい。

5.1.12 Windows XP で CD レコーダ機能をご利用になる際の注意点

CD レコーダ機能を使用して CD-R/RW にバックアップを行う際に、特定の文字がファイル名やフォルダ名に含まれていると、バックアップ後に CD-R/RW 内のデータが消去されるという現象が報告されています。これは、ダウンロード Ninja のバックアップ機能が原因ではなく、Windows XP の動作に起因するものです。Microsoft 社様から以下のページで本件に関する情報が公開されています。

5.1.13 ダウンロード Ninja の再生機能を用いて動画を再生する場合の注意

動画ファイルのファイルサイズや Codec によっては、ダウンロード Ninja の再生機能を用いて再生を行うと、正しく再生されない場合があります。このような場合は、右クリックメニューで表示されるメニューから <アプリケーションで開く (O)> を使用して再生を行ってください。

5.1.14 HTML ファイルの縮小イメージの作成に関する注意

一部の OS のバージョンでは本機能は動作しない場合があります。

5.1.15 テキストファイルやメールに書かれた URL のページ取り込みについて

テキストファイルやメールに書かれた URL のページ取り込みを行うには、以下の手順で行います。

- 1) URL の含まれたテキストやメールをダウンロード Ninja の <編集> - <貼り付け> や、テキストファイルをデータベース上にドラッグ&ドロップなどの方法を用いて、ダウンロード Ninja のデータベースに取り込みます。
- 2) 取り込まれたサムネイルを選択し、<表示> - <情報ウィンドウ> で情報ウィンドウを開きます。
- 3) 情報ウィンドウの「リンクの一覧」タブをクリックし、ダウンロードを行いたいリンクを選択し、右クリックメニューから <リンク先をダウンロード> を選択し、希望のダウンロード方法を選択します。

5.1.16 MMS ファイルとしてダウンロードされたストリームデータの再生について

MMS ファイルとしてダウンロードされたストリームデータを再生するには以下の注意点がございませう。

MMS ファイルを再生するためにはダウンロード Ninja のデータベース内から、サムネイルをダブルクリックして再生する必要があります。または、動画を選択し、<ツール (T)> - <動画の変換 (X)> から、「mms → wmv」を選択して変換します。

5.1.17 Web アーカイブ機能に関する注意

・ Web アーカイブ作成時に、先頭のページを任意のページに設定した場合、アーカイブ内でリンク構造が正しく再現できない場合があります。このような場合は、先頭ページを「(一覧を作成)」にして Web アーカイブの作成を行ってください。

・ フラッシュ (SWF) や PDF などがページ中に含まれている場合、これらのファイルは正しく Web アーカイブには含まれません。

5.1.18 タイマー予約時に表示されるアカウント名に関するご注意

Windows XP でご利用の場合、コントロールパネルのユーザーアカウントでアカウント名を変更を行っていた場合、ダウンロード Ninja のタイマー予約設定時に表示される「アカウント情報の設定」ダイアログ中の「実行するアカウント名の入力」欄に表示されるアカウント名に変更前のアカウントが表示されます。この変更前のアカウントを使用して予約の設定を行ってください。

5.1.19 「その他のブラウザ (IE コンポーネント使用)」をご使用の際のご注意

その他のブラウザ (IE コンポーネント使用) を使用して、ダウンロード Ninja をご使用になる際は、現在表示中のページをダウンロードする際に制限があります。この場合は、ブラウザのアドレスバーからアドレスのアイコンをダウンロード Ninja にドラッグ&ドロップして、現在表示中のページをダウンロードして下さい。

